

1. 件名：「日本原燃(株)の設工認申請に係るヒアリング(再処理施設(2-148)、
廃棄物管理施設(123)、MOX燃料加工施設(2-100))」

2. 日時：令和6年2月8日(木) 10時00分～11時50分
13時30分～17時30分

3. 場所：原子力規制庁 10階会議室(TV会議により実施)

4. 出席者

原子力規制庁

原子力規制部

核燃料施設審査部門

(原子力規制部新基準適合性審査チーム)

長谷川安全規制管理官、古作企画調査官、大岡主任安全審査官、羽場崎
主任安全審査官、藤原主任安全審査官、新井安全審査官、小野安全審査
官、上出安全審査官、山口係員

日本原燃株式会社

技術本部 土木建築部 部長 他5名

三菱重工業株式会社

原子力セグメント 安全高度化対策推進部 主幹プロジェクト統括

富士電機株式会社

インダストリー事業本部 原子力・放射線事業部 MOXプロジェクト部 主査

5. 要旨

(1) 日本原燃株式会社(以下「日本原燃」という。)からの令和6年2月2日
及び2月6日提出資料に基づき、以下の事項について確認を行った。

- ・MOX燃料加工施設における溢水による損傷の防止に関する設工認分割申請
計画を踏まえた各申請回次での説明方針
- ・グローブボックスの耐震設計及び耐震評価に関する説明方針
- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の評価(MOX燃料加工施設)

(2) 日本原燃から、主に、以下のとおり対応する旨回答があった。

- ・溢水による損傷の防止に関する説明方針については、申請対象設備が出揃
う分割申請の最後の申請回次に溢水影響評価を行うとしても、申請回次ご
とに申請対象設備に対しての概略での評価内容を示しつつ、申請対象設備
が溢水により機能が損なわれないことの前提となる条件を明確にできる
よう、基本設計方針の記載や溢水源となる設備等の整理を進める。
- ・グローブボックスの耐震設計及び耐震評価については、設計概念から丁寧

に整理して妥当性を説明するとともに、加震試験の内容やその目的といった技術的な事項も把握した上で説明する。

- ・申請対象設備に係る具体的な設備等の評価については、後次回申請や他の説明グループとの関係性等を整理するとともに、評価条件として用いる各種数値等の根拠や考え方を補足説明資料も含めて網羅的に示すように記載を拡充する。

6. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発音者による確認はしていません。

7. その他

提出資料

なし

参考

- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000120.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000121.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000122.html
- ・ 日本原燃株式会社 再処理事業所 規制法令及び通達に係る文書（令和4年12月26日）
「日本原燃（株）から再処理事業所再処理施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」
https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000123.html
- ・ 日本原燃株式会社 高レベル放射性廃棄物貯蔵管理センター 規制法令及

び通達に係る文書（令和４年１２月２６日）

「日本原燃(株)から特定廃棄物管理施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/REP/180000124.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000242.html

- ・ 日本原燃株式会社 MOX 燃料工場 規制法令及び通達に係る文書（令和５年２月２８日）

「日本原燃(株)から再処理事業所 MOX 燃料加工施設の設計及び工事の計画の変更の認可申請を受理」

https://www.nra.go.jp/disclosure/law_new/FAB/180000243.html

- ・ 令和６年２月２日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

- ・ 令和６年２月６日

「日本原燃(株)再処理施設、MOX 施設、廃棄物管理施設の設工認申請に関する資料提出」

時間	自動文字起こし結果
0:00:01	寛解しました。それではただいまから日本原燃とのヒアリングを開始します。本日はヒアリングは令和4年12月26日に申請があった再処理施設と廃棄物管理施設、また、
0:00:13	令和5年2月28日に申請があった。
0:00:16	MOX燃料加工施設の設工認申請について資料をもとにヒアリングにて事実確認を行うものになります。まず規制庁側の出席者を紹介いたします。本庁会議室から、
0:00:29	コサク、
0:00:30	アライオオオカヤマグチ。
0:00:34	後程遅れて参加者来ると思うのでその時またやっぱ追加で紹介しますとその他Lからで、カミデフジワラオノ。
0:00:44	以上になります。
0:00:45	それでは日本原燃の方から出席者の紹介と本日の議題の構成の説明をお願いします。
0:00:53	はい。日本原燃事務局の中浜でございます。
0:00:57	日本原燃側の出席者紹介いたします。
0:01:01	耐震も含めて紹介させていただきます。東京側より、ノモト、
0:01:08	イシハラ、
0:01:09	豊川。
0:01:11	三菱重工様より、佐藤様、富士電機様よりイソヤマ様。
0:01:16	六ヶ所より、イトウ、
0:01:19	ヤマダ、
0:01:21	あと再処理及びMOXの事務局参加させていただいてございます。
0:01:26	本日ご確認いただきます資料でございますけれども、共通中にMOXの説明グループ1評価に関するものとなりまして、共通中に本体、
0:01:37	及び個別補足説明資料でございます。閉じ込め03。
0:01:42	搬送01。
0:01:44	0203、神吉01。
0:01:48	佐伯01、溢水43、それにグローブボックスの耐震設計及び耐震評価。
0:01:56	解析モデルに関する説明方針。以上の資料、ご確認いただきたいと思っております。
0:02:04	はい。それでは共通住民側からご説明の方開始させていただきます。よろしく申し上げます。
0:02:18	きちヤマグチです。衛藤。
0:02:21	筒井から申し上げます。はい。すいません。失礼しました。個別補足説明資料1セキ43から説明を始めさせていただきます。

0:02:31	66年2月2日に提出をさせていただきました。1043ということで、その分割申請を踏まえた各申請回次への説明方針というものになります。
0:02:44	へえ。
0:02:45	ミギタ。
0:02:46	4ページ、2ポツまでは全体の考え方を示していますので、分割申請でポイントになる部分、一つ目、4、右下4ページ3.1にあります、溢水防護対象設備に対する、
0:03:02	設計Aとしての示すことになります。
0:03:05	これにつきましてはまず一つは、
0:03:10	今回ボックスは第2回から第2回第3回第4回にそれぞれ一斉防護対象設備が申請されることになります。
0:03:20	特に第2回と第3回については、グローボックス9名、主要な設備が人生することになるんですが、この一層に対しての防護対象としての、設計として示すべき情報としては、
0:03:34	機能喪失高さ、溢水によって機能喪失しないことを確認するために条件として与える石堂装置高さ、
0:03:42	防護区画単位で溢水に対して、高さを徹底するという意味で、溢水防護上配慮が必要な高さというものがございます。後者のこの溢水防護上配慮が必要な高さについては、
0:03:56	同じ区画の中で、第2回と第3回で申請対象の対申請タイミングが分かれるものが、幾つかございますのでそこに対しての配慮として、
0:04:06	第2回の申請の段階で、将来的に第3回で新同じ防護区画で申請対象、防護対象が出ると。
0:04:15	いう場合には、その機能阻止高さも含めて、最も低い高さに
0:04:22	井清ホウジョウ配慮がよ高さを設定するというで考えております。
0:04:27	その際、申請対象以外第3回出てくるようなものについては、
0:04:33	個別補足説明資料の中で、第3回の申請対象も含めて、どういった配置になっているのか、どれが一番低い高さなのかということをお示しをし、
0:04:44	イセ、考慮防護上配慮が必要な高さの設定が適切であるかと、いうことをお示しすることを考えているというのが、
0:04:52	3.1の(1)に示していることとございます。
0:04:57	2番目のポイントとしてが、水源となり得る設備でございます右下5ページになります。
0:05:04	これについても、第2回、第3回ですかねメインが、
0:05:11	建屋の外を、
0:05:13	からの収入であります第4回も一部入りますが、

0:05:17	そういったものを、それぞれしっかりと設計情報として、溢水に足る情報をお示しをするということになります。
0:05:26	右下 5 ページの第 1 表に書いてございますが、一斉事象として想定されるものに対してそれぞれ、必要な情報としては、表の一番右側に書いてあるような情報を、
0:05:38	それぞれ、その溢水、元となりうる設備を申請する際に、今回であれば共通順位の中で、お示しをしていこうということで考えております。
0:05:49	どのタイミングどの条文に従ってということが 6 ページと 6 ページですね、第 2 表に書いてございます。先ほどあった、どんな設計情報かという①番からマグロ、⑤番との関係と、
0:06:03	対象となる設備、また、その設備の設計を、先ほど言った共通順位の中でどの条文に従って説明をするのかというのが、一番右側にあります。
0:06:14	例えばですが一番上の定例の廃棄処理でこれ説明グループさに入っている対象になりますので、その際に、この①③④に関係するような設計情報をお示しをしていくということで考えております。
0:06:30	はい。
0:06:33	ええ。
0:06:35	あとは、③は括弧 3 のところミギタ 6 ページから右下 7 ページにかけて、既燃料加工タテ以外の構築物との関係ということも、
0:06:46	堂々と廃棄等が関係するものとしてどういうことを、
0:06:50	影響ツジの中でお示しをするかということ整理をさせていただいているところでございます。
0:06:56	算定につきましては第 4 回で溢水評価をこういうふうに行っていきましてということ整理してありますがこれも
0:07:03	再処理廃棄物管理棟 MOX の関係でいきますと第 2 回では、再処理側でこの部分の説明がなされると思ってますので MOX としてはそれに追随する形で、
0:07:13	今後整理吉井第 4 回の中で示そうということで考えていると、いうことでございます。
0:07:20	こういった情報なんですけど、まず
0:07:25	申請書との関係でいきます特に(2)番、
0:07:29	3.1 の(2)番右下 5 ページの 1 水源となり得る設備、これに、やはり MOX としての水を取り扱う設備の設計の方針、
0:07:40	ていうのがやはり前提で間関係してきます。
0:07:44	例えばですが、MOX 松戸注射状態で扱うようなグローブボックスがあるエリア防護対象区画には、気泡水の配管は置かないと。
0:07:54	いうこと。

0:07:55	毎日毎日というか設計上どうしても水を使うような設備がある。特に第3回で出てくる焼結部のような冷却水を使わなきゃいけないものについては配管は、
0:08:08	地震であったり想定破損であったりと、いうことを僥倖してもいい水にならないような設計をしていきますということ。
0:08:15	また消火ですね消火についても、先ほどあったMOXのと、露出した状態で取り扱うようなエリアについては、
0:08:22	原則、ガス消火を使うということでビルの消火はしないということ。
0:08:27	こういったことを前提に、この設計が成り立ってますので、そういった情報もですね、
0:08:34	第2回の申請の関係の中で、示していくということも併せてやらないといけないということで認識をしているところでございます。
0:08:44	はい。説明は以上になります。
0:08:47	はい。議長ヤマグチフクダソネありがとうございます。
0:08:53	岡井。
0:08:57	以上で示された内容で、
0:08:59	結局具体的な評価してというのは、最後設備が全部でそれを第4回で評価結果示しますよってということで、説明があったと思うんですけども、
0:09:10	結果第4回の際には、すでにその認可済みとなる第2回3回の申請対象設備の設計がその時その結果を踏まえてひょ変更が生じないように、
0:09:22	各申請で設計の妥当性っていうのを説明してもらう必要があると思ってて、それをどう説明示していくのかっていうのが、
0:09:32	ちょっと資料だとは読めないんで、その点確認したいと思ってます。
0:09:39	と、
0:09:40	第1回の申請でも楠田とタテや、
0:09:43	最初にあった冷却塔では屋外で概略評価っていうのをやった上で、高さもちゃんと確認して、問題ないっていうのを申請書上でも明記して、確認してますよってということで、
0:09:56	示されてもこちらもそれで認可っていうところにも、
0:10:00	認可したと思うんですけども、まずモック数で今回はその建屋内の機器に対しての申請になって、
0:10:09	第2回申請3回で、これをどう扱っていくのかというところなんですけど、まずMOXの
0:10:17	建屋内のその機器設備に対して、溢水の外評価っていうのをやった上で、
0:10:25	設計っていうのはもう、

0:10:27	仮決めていると思っていいんですかね。
0:10:31	はい。
0:10:32	はい。日本原燃伊勢でございますおっしゃっていただいでるまず概略評価やった上で設計として成立性を確認しているのかについてベースです。そういったものを確認しての機能喪失が下がり、
0:10:46	改良が必要な高さについての説明をさせていただこうと思ってます。これの前提もいいんですがやはり許可の整理資料でもご説明してますが、
0:10:56	目標等を使ってるグローブボックスがある工程室のエリア、これ機能喪失高さ、基本0だと言っていますここにはもう水入れない。もともと水の配管をカナイってということは入れないということ。
0:11:07	唯一、先ほどあった清加茂が追加をやりますので、水を危惧しないといけな防護対象か設備との関係でいくと、
0:11:17	地下1階にある防護対象になる。グローブボックスの排風機が入ってる部屋、ここが消火水との関係で、水の高さを気にしないといけなところになると思ってます。そこには、
0:11:30	あそこのエリアについては、溢水、高さがどのぐらいで、それに対して機能喪失が十分上回っているという確認をした上で、今回申請としてはお示しをするということで考えておりました。
0:11:45	規制庁山口です。どうも概略評価やって確認した上で機能喪失高さも設定しているってということで、
0:11:53	その概略評価ってというのは、評価の、
0:11:58	方針とかは1第1回の申請書とかで、基本設計方針とかでもかかるすでに示されてると思うんですけどもそういう基本設計方針通りにやって、
0:12:08	ているんですかねと何かちょっとまた違うやり方で、
0:12:13	はい。
0:12:14	はい、与儀西尾でございます
0:12:18	考え方は変わりません。同じような考え方ですちょっと私の記憶であれだと
0:12:25	概略評価をするという方針がタテ新鹿建屋外の溢水のところにポーンと書いてあったような気もしないではなくてですね、ちょっと記載場所を考えないと、全体カバーできない可能性もあるのでそこは
0:12:38	方針の書き方については工夫が要るかとは思ってます。
0:12:43	一応ヤマグチです。
0:12:45	今回第2回申請でも各申請対象設備に対して、概略評価っていうのを示して、ちゃんと設計の妥当性を説明。
0:12:56	は受けるとかっていいんですかね。

0:13:01	はい。日本原燃石田でございます。結局はおっしゃっていただいて第4回の評価まできて、2回3回で認可を終えたものが、構造が変わり得る可能性があるのかないのか、そこについて我々としても、
0:13:15	ないということ、概略をお示しをして認可をいただくということが必要だと思っておりますのでやり方含め整理をして、どういうふうにお示しをするかということも、
0:13:26	アノベッシュウダ回答させていただきたいと思います。
0:13:29	はい、わかりました。
0:13:31	山木節ヤマグチです。最終的な評価っていうのは第4回でっていうことになるな。
0:13:38	出るの。という方針だとは思うので、その最後に全部木が出揃ってやる評価と私は結果で、
0:13:47	無理が出るかもしれないんですけどもそういうのも考慮して保守的に、
0:13:52	設計に変更がないように設定してますよっていうのは説明を受ければいいと思ってるのでその申請書と補足説明資料とかでどう示していくのかっていうところ。
0:14:04	ちょっと整理して、資料に入れていただければと思うので、よろしく願います。
0:14:13	はい。日本原燃志田でございます。承知いたしました。ちょっとコサクです。ちょっと。
0:14:19	若干修正しますけど。
0:14:22	概略評価は別に保守的にやる必要はないんです。
0:14:25	ただ、変更にはならないようにしてください。
0:14:30	ということで、これどう多分するかっていうと、最後、石原さんが冒頭に説明した最後に言ったこと。
0:14:37	の前提条件というのをしっかりと設計方針として示すこと。
0:14:42	それを遵守することっていうことだと思います。
0:14:45	そのあたり、どう整理をしていくつもりか、お教えてください。はい。日本原燃石田でございますはい。まず保守的にやる必要ないおっしゃっていただいたように建屋の開口歩道、中の機器になってくると、
0:15:00	保守的に頑張って何とかなるような関係でもないので、評価の示し方はご指摘ということには維持ならないと思っておりますので、
0:15:10	あとは前提の部分については、ちょっと私もどう示そうかの考え。
0:15:15	ではいるんですけど、一つこれ水をMOX末露出状態では使う区画に入れない、まず配管を設置しないとかですね。

0:15:26	消火に関しても、そこはガス消火にするとかっていうのは、もともとスタート確か臨界で説明をして、前提にするところかなと思ってますんで、臨界の基本設計方針なり何なりのところでそういうことを、今は乾式
0:15:42	で取り扱うみたいなことしか書いていないですけど、それを実現するためにどういう設計をするのかということを書かさせていただこうと思ってます。
0:15:51	実際今、いつ書いてあるのは、臨界防止上の観点でということで火災防護の方に、そういった区画の場合はガス消火を基本とする、仮想化を使いますということは書いてますけど、臨界側に特にそういったケアがうまくできてるわけじゃないのでその辺を、
0:16:07	整理しようかなと思ってました。
0:16:10	はい。補足です。言われるように、委員会での手当が必要だと思うんですけど、加えて、いつでも考慮
0:16:20	考えてください。
0:16:21	で、溢水のときには、水を入れないっていうだけじゃなくて、水を入れる場合にはどうすると。
0:16:29	いうことも必要で、
0:16:31	それはなるべく減らすとか、耐震クラスを上げるとかっていう、
0:16:36	どうも
0:16:37	あっていいと思うんですけど。
0:16:39	基本的には、溢水、
0:16:43	高さを超えるような水源。
0:16:46	としないと。
0:16:48	というようなことなんじゃないかなと思います。小口径であれば、
0:16:56	耐震クラス上げなくても、溢水で1水源としても大丈夫と。
0:17:01	というようなこともあるんでしょし、そこら辺を包括的に言うとなれば最終的にはそういう目的としては溢水高さ、
0:17:10	非常に溢水をさせないということだと思いますので、そういったその設計方針をしっかりと述べる。それは重視するというのであれば、多少
0:17:20	概略評価から、高さが上がったとしてもですね、評価としては0になると。
0:17:26	いうことだと思いますので整理をよろしくお願いします。
0:17:31	はい。日本原燃石田でございます承知いたしましたはい。おっしゃっていただいたように目的が溢水、機能喪失高さ以上のSEを発生させないということで、その手段が

0:17:42	耐震補強だったり、体制をもたせるだったり、応力でも野原しないようにするとかですねそういったことだと思ってますので、基本となる目的をしっかりと方針の中で示すと。
0:17:54	いうことで認識をしました。はい。
0:17:58	規制庁山口です。私からもう1点だけなんですけども、
0:18:03	遠い制限について、資料でいうと、
0:18:06	6ページですかね各申請会で必要な被水に対しての設計情報を説明しますということなんですけど。
0:18:15	申請対象。
0:18:17	設備にならない水源は、基本的には、
0:18:22	今回その第2号で飲料水設備とか入ってるんですけども、
0:18:27	他にもう申請対象設備とにならない水源とかって言うんですかねあとそうであればどの開示で示すかとかってどういう整理されてるか。
0:18:38	確認させてください。
0:18:44	はい。日本原燃石田でございます。詰まりすぎるといろんな施設に居室判断ですがMOXの場合右下6ページの表に書いてある水源となり得る設備これ申請書許可の中でも、
0:18:59	設備としてエントリーをしていますのでこれ以上の1清木になりうる設備はありません。
0:19:04	し、今回共通でいけば資料1の中でも、円という紙、細かい設備が書いてあるものと、大枠の系統名が書いてあるものとの差がありますが、
0:19:16	対象としては全部挙げているというのが現状でございます。
0:19:21	規制庁ヤマグチ下がりました。
0:19:24	こちらの資料について、ごめんなさい。
0:19:28	山口さんの質問の回答が足りてない。
0:19:31	なんちゅう、全部、
0:19:33	避難所いつどうするのっていうのだと、
0:19:37	これがね、これですべてだっというところからすると、いつっていう。
0:19:45	いつどう説明する。
0:19:48	井関ヤマグチですと、基本中の水田。
0:19:53	の説明を行ってあたりに限って、
0:19:58	よろしいですか。
0:20:00	はい。日本原燃石田でございます失礼しました。6ページの第2回の申請における、1000円となりうる設備の、特に冷却水設備から窒素が靴供給設備まで今、

0:20:12	説明条文第 10 条安全機能を有する施設となっております。もともとこれ全部説明グループ 4 の中に、構造設計も含めた説明をするということで考えてましたので
0:20:25	共通順位の説明グループ 4 の中で、説明をすると、もともと 00 資料でも安全機能を有する施設の中に、この基本設計方針も含めた記載を整理していたということでございます。はい。
0:20:39	古作です。そうだとすると先ほど言ったその基本設計方針で、今回入れますと言っているのであれば、なおのことちゃんと書かないと駄目だったということですよ。
0:20:56	はい。与儀ニシダでございます。はい。先ほどの委員会のところでのアキームを含めて考えると、全体どう溢水を考えたときにどう基本設計方針で、説明すべきかは、
0:21:09	はい。もうちょっと整理をちゃんとして、示し方、どういう体系になっていて委員会ですくむのその委員会での前提をもとに冷却水設備以降のところをどう設計するか。
0:21:22	また、被水のキャッチアップの考え方も含めて、全体の体系整理は必要だったと思います。まだそこまで行ききれてないのが現状です。これを含めて、ちょっと説明グループの前後関係も、整理をさせていただこうと思ってますはい。
0:21:42	はい。コサクですよろしく申し上げますそれでちょっと質問なんですけど。
0:21:46	この補足説明資料は、文化通での扱ってというようなこともあり、分割を今やってるのは、楠側だけなので、
0:21:57	モック数としてのイシハラさんが説明をされてるんだと思うんですけど、今みたいなその設計方針の書き方みたいなことになると、
0:22:07	再処理の溢水担当はどう思ってるんだっていうのも、
0:22:11	心配なんですけどどうなってます。
0:22:20	はい。日本原燃石田でございます。はい。まず、SAの情報にどんなものが必要かということについては、営推まあまあまだ決着しないですけど、
0:22:34	SEのDBの設計項目の整理の添付 1 を整理したときに、そういった情報が要るよねということで、溢水下の項目のところの基本設計をして紐づけて、
0:22:45	どんな情報が必要かということは、最終のチームと話をしながら整理をしたということで認識をしています。ただ後は先ほど山口さんからの質問にあった全部テーブルに載ってますかってところが、再処理とMOXで若干違うところから、それも含めてどうケアをするかと。

0:23:04	いうことについてまたさらに脅威共通認識で整理をする必要があると思 ってますこういったものを整理をしているということも、再処理とは共有し てますし話をしていますんで、それも含めて再処理のアクションをどうする かと。
0:23:19	いうところに近いとつなげていけるように話をしていきますはい。
0:23:27	はい、古作です。
0:23:30	推定いつより、
0:23:34	最初、最初に、うん。含み、
0:23:38	江藤グループリーダーとは言ってもですね、並行して有井ましようと言っ ていって、竜巻の方は、SAを待たずについていうのでスケジュール組み 始めてますけど、
0:23:52	溢水だって、
0:23:55	宿題はずっと残っているわけで、ずっと残したままだといっていうので一時 期、ヒアリングに上がってきたものの、
0:24:04	整理が不十分だったのもう一度整理をしてと言ったあと何も音沙汰が ないので、
0:24:10	その辺りと合流しなきゃいけないんじゃないかな。
0:24:14	と思うんでスケジュール整理を、
0:24:21	はい、人間一緒でございますはい。おっしゃっていただいているようにい たところ、1月だったか12月かわかる。もうかなり前にやったきりなので はタカヤとも相談し、
0:24:33	溢水の話おっしゃっていただいて、共通に作る前に原岩で整理が必要 なものがあるんじゃないのかと、いうことで話を始め、整理が十分じゃな いということで、前回のヒアリングで、いろいろとご指摘いただいています んで、それも含めた打ち返しをどうしていくかと。
0:24:50	いうこと、東京都中に出すタイミングの関係ということ整理をして、スケ ジュールに組み込んでいきます。
0:24:58	はい。
0:25:01	成長ヤマグチですわ。
0:25:03	一斉に関して、
0:25:05	規制庁がありますでしょうか。
0:25:12	赤嶺さん。はい。
0:25:15	はい、赤嶺です。8ページの表の一番右側の、
0:25:22	地震研料理水源の対象外にするっていうのはこれ、あれですか。
0:25:28	地震の地震で井清権がないように、BCクラスであっても、Ss数に、機 能機能維持っていうかSsで、壊れないようにしますっていうものの評価 表。

0:25:42	はい、日本イシダでございます言葉で恐縮でございますおっしゃっていただいているものになります。
0:25:48	はい。規制庁菅です。その対象となるBCクラスの配管なり機器っていうのは、
0:25:56	全部第4回の申請、それとも第2回とか第3回のものも含まれて、
0:26:03	はい、乳井石田でございます先ほど申し上げた通り1000円特に建屋内のやつは二階と三階であります。はい。それが2階のものについては、特に6ページに書いてあるような水気のところが対象になります。
0:26:20	はい、規制庁CAMSでそうなると、なんで。
0:26:24	耐震評価が後回しになるのかがよくわからないんですけど。
0:26:28	どういう考えですか。
0:26:36	古作です。上出さんが優しく言ってもらったところ、申し訳ないんだけど、ありえない。
0:26:43	です。
0:26:48	まだ申請対象外のものの評価っていうんだったら、ユリようがなくもないかもしれないけど、
0:26:56	対象のものはちゃんとやってくださいじゃないと認可できません。
0:27:05	はい。日本原燃石原でございます。はい。おっしゃっていただいていることは意識をしました。
0:27:14	何をどうするかも含めてはい。
0:27:18	考えます。はい。はい。概略評価では1水源として、
0:27:25	大丈夫だということの中、
0:27:27	やって、第4回でやっぱり耐震補強して、
0:27:32	実現しないで低く抑えますっていう、
0:27:36	方針変更するなら、
0:27:38	方針というか、現場施工の変更するならまだ、
0:27:43	わからなくもないですけど、
0:27:46	多分そんなアホなことしないでしょから、ちゃんと
0:27:52	はい、ありがとうございます。はい。おっしゃっていただいたように先ほどあった、
0:27:58	特に防護対象区画の中でも、目標が雑貨っていうところにいる配管は、BCクラスであっても、イセにならないような、
0:28:10	それ以外のところも当然水の量あんまりないですけど、補強したりするところありますので、そこも含めてはい。
0:28:18	おっしゃっていただいていることは理解をしました。はい。
0:28:25	はい。木山規制庁カミデさんの何か懸念していた通りの状況だったので、またちゃんと説明してもらえればと思いますけど。

0:28:35	配管系は、当然このピッチでしょうから、含まれるし、機器の方も、Sクラスで累計して、
0:28:47	これが代表で説明するのだから、
0:28:50	何かそこまで大きなものでもなく、何か特異なものがあれば、個別にまたこういうものがありますっていうことだと思うので、
0:29:00	ちゃんと説明する方法で、
0:29:03	また、
0:29:04	話した結果です。
0:29:07	はい、与儀西田でございます承知いたしました。
0:29:12	はい。規制庁加来です。どうでしょうか、何かあったような、
0:29:19	すいません。6 ページの一番下で、どうどうの話で、
0:29:27	何か、
0:29:28	当てやとどうどうの間には隙間がないので
0:29:33	水が入ってこないようにしてるってそういう説明ですか。
0:29:43	はい。日本原燃池谷でございます。一定の趣旨はそういうことです。
0:29:48	ただそれを丸構造も含めて、隙間がないということと、地下水の流入が生じないということを説明しようということと考えていたということでございます。
0:30:01	規制庁神です。その辺がエキスパンジョイントで接続するっていうところに全部込められてはいるんですけど、
0:30:09	もうちょっと丁寧に説明した方がいいかなと思って。いや消すパンを使うっていうことは、構造的には分離するん。まずは分離するっていうことなんでまずは繋がってないんだけど、
0:30:22	多分防水性のあるゴムなりシート上のもので、一周ぐるっと加工うから、躯体の縁は切れていても、そのカトウセイノある。
0:30:32	防水性のある材料で、囲むから、流入が生じたっていうことだと思うので、丁寧に記載をお願いします。
0:30:44	はい、乳井石田でございますはい。ありがとうございます。おっしゃっていただいたような設計だと思ってますのははい。定義確認しますはい。
0:30:52	はい、規制庁カミデサノ多分資料 3 とかになれば多分物の説明があると思うんでそういうところがポイントだと思って、エキスパについては、お願いします。
0:31:04	コサクです。すいません。エキスパンションジョイントは現地でも見させていただきましたけど、
0:31:11	だからもう、
0:31:13	水は入らないんだ以上、
0:31:15	っていうことなんですか。

0:31:18	もう1段それでも漏れたらどうしますとかつてののではないんです。
0:31:34	はい、日本以上でございます。はい。現地で見えていただいたエクスカーションのところですね今おっしゃっていただいて、それで市野家では弱いということなのかということで、
0:31:47	現地でもお話をしながら見ていただきましたけどレールがそこにあるので、どこかに設計をつけるというのも物理的になかなか難しいと。
0:31:58	ということで現状はエキスパンションのところで、食い止めようというのが設計の考え方になります。前もちょっと広く見て、何かやり方がないのかということも含めて考えますが、現状はそういう設計だということでございます。
0:32:15	小谷です。ちょっと考えといてください。
0:32:19	原子力施設の設計って新総合ですから、
0:32:24	1段しかありませんっていう説明はありえないんで、
0:32:27	検知を入れるなり、
0:32:31	何らか対策を、
0:32:33	入れておくということだと思いますんで、よろしく願います。
0:32:37	必ずしもその位置に絶対止めなきゃいけないってわけじゃなくて、どこまで進入しても大丈夫かみたいなのところを踏まえながらだと思うんですけど、整理をよろしく願います。
0:32:51	はい、弓削西浦でございますはい、承知いたしました。
0:32:55	あ、すいません、カミデですけど、多分、普通、原子力施設に限らず普通、堂々とかカルバート系は集水柵つけてるんじゃないかな。
0:33:07	何だ、絶対雨水が入らないってわけじゃないし結露とかでもいろいろあるので、何メーターかに1ヶ所ぐらい、集水するような升があって、ちょっとそこに勾配つけてみたいなことやってるんじゃないかと思うのでその辺も含めて確認してもらえ。
0:33:26	はい、日本イシダでございますありがとうございます承知いたしました。
0:33:33	はい、新地ヤマグチです。海水試料について、規制庁側からよろしいでしょうか。
0:33:41	はい。藤。
0:33:42	よろしければ、続いて、次の資料に移りたいと思います規制庁側の、
0:33:49	本庁会議室から3ヶ所の追加で、長谷川管理官とハバサキ
0:33:56	とそれでは原燃から資料の説明。
0:34:01	はい。
0:34:02	名あります。グループタカミチあ、ございません。
0:34:07	はい。規制庁から確認したいと思います。
0:34:17	規制庁のハセガワですけれども、

0:34:19	ちょっと前回先週、清選手だったっけ。
0:34:24	1回この話をしてもともと何でこういう話をしてるかっていうと今までグローブボックスの設計について、いろいろ確認を進めてきたところを、
0:34:34	説明がきちんとできてないということなんで、もう1回、設計のコンセプトとか考え方にちゃんとさかのぼっ。
0:34:45	説明を聞きたいと。その結果こういうなんていうのかな、3次元のFEMとかで、
0:34:55	いろいろモデリングするっていうこと別に、
0:35:00	否定してたり、この結果が悪いとか、やり直せとかって言うてるわけではなくて、なぜこういう解析に至ったのか
0:35:10	考え方や、きちっと見るべきところが、
0:35:17	正しくというかですね、設計的に見て正しく評価できるようなことを考えてるのかとか、そういったところを基本的な話として、
0:35:30	説明をしていただきたいと。要はそういう趣旨なんで、
0:35:37	こんだけ大変なもので皆さんは何を見るためにこういうことをしたんですかっていうところをですね、説明をしていただきたいと。
0:35:47	これ多分、見方がおつきく二つあってグローブボックスの設計として、見るべきかという、それはグローブボックスの設計に対しての花強いと。
0:36:00	それから内装する機器、飯野。
0:36:04	評価として、見るというその大きく二つの視点から、
0:36:10	説明をしていかないといけないという、そこで結局、最終的には両者の
0:36:19	多分相互作用的なものまで見ることになってるんだけど、その辺がどう、どういうふうに解析的に評価が、
0:36:31	化されてる、もともとの考え方に沿ってるかという、そもそもの考え方がいいのかっていうところと、それから解析的に、
0:36:43	ちゃんと評価できるような仕組みになってるのかっていうそういった全体像を説明してもらいたいなあとあって、
0:36:52	こんな話をしていますと、今日何か3枚かそのぐらいの資料ついてるけど、何かもうパワポの資料とは思えないような、何か字数の多さで、
0:37:06	言葉で説明してもらえばいいかなとは思ってるんですけど、まず、ここ多分資料にも書いてあるんだけどグローブボックスの方の、から見ていったときにグローブボックス当然、とじ込み機能を、
0:37:20	担保するというので、通常時は当たり前なんだけれども、地震時に、
0:37:32	グローブボックスの閉じ込め性能を維持するという多分そういうコンセプトが基本的にあるんだよね。そうすると、そのグローボックス数の、
0:37:43	どこから、
0:37:44	地震時にリークする可能性があって、最も弱いところとか、例えば、

0:37:54	全体のフレームの能力を見る。
0:37:56	必要があるのか、それとも、変形。特に開口部というかですね、
0:38:05	アクセスするような、なんていうのあそこの前面のパネルのところ、
0:38:14	の
0:38:16	要は境目というところなのとかあとは、隣のグローボックスとの連結部とか、そういう、何を
0:38:26	最も見ないといけないのかってところが、
0:38:32	その閉じ込めの観点から、必要になってくるとそうすると応力だけではなくて、そういう部分がどの程度の変形に耐えられれば、実際の物と、
0:38:43	の関係で、
0:38:45	評価が可能なのかとか、多分そんなことになるんじゃないかなっていう気がしてるんですけど。
0:38:51	まずここまではどうですか。
0:38:56	はい、吉田でございます。私の方に、はい。おっしゃっていただいたように当然米としての機能を維持するというのが、ターゲットになります。おっしゃっていただいたように、フレームがおり持つ。
0:39:12	いうことを見なきゃいけない視点と、いわゆる機能維持確認か、確認済み加速度か、
0:39:20	0.25、50%以下が、
0:39:25	はい。はい。数字の話じゃなくてまず項目の話だよ。
0:39:32	はい。失礼しました。はい。でいくと、
0:39:38	躯体が売りとして持つという話と、隙間ですね。それが
0:39:45	一定の隙間を維持できてるかというところの、二つ指摘があるというふうに、
0:39:56	はい。そうすると、要するに、例えばSクラスのグローボックスに対する、
0:40:04	小令和、自然形成多分考慮しないから弾性設計になる等、
0:40:12	思うんで、そこはだから、一般的なフレームはもう、応力を見ますと、
0:40:19	ということと変形は、
0:40:22	どの部分がどういう変形だったらいいいのかというクライテリアみたいなのがセットされてるってということですか。
0:40:46	すいません日本原燃の谷口でございます。
0:40:49	実際の構造としては先ほどおっしゃっていただいた通りで、これは応力で見ます。
0:40:55	で、変位が、
0:40:57	要求として出てくるところはパネルだと思っています。

0:41:01	パネルの部分は過去に試験をした結果がありますので、その試験の結果と、過去加速度を、
0:41:07	確認をすることできちんと変位として、そのオオキナカ加速度によって大きな変位が出て、隙間が増えることはないというそういう説明をするということ考えております。
0:41:19	規制庁の長谷川ですけど、ちょっと今の部分の最後のパネルの話が、それパネルじたいではなくて、
0:41:27	パネル自体も多分、応力になっていて割れるとかっていう世界があるパネルと、だからフレームのスキーマの部分。
0:41:39	コサクですとか
0:41:41	フレームが一アノ5じゃないということからすると、変形をしていくの先ほどの加速度だけで評価をするっていうこと自体が理解ができない。
0:41:53	ですよ。
0:41:55	その辺り何でそんなこと言ってるのかってところの根拠とかになんなり説明していただくといいかんと思うんですが。
0:42:06	はい。日本原燃谷口でございます。ありがとうございます問題意識は承知いたしました。グローブボックス艦隊そのものは中構造で入れている間に塀が出るんですけども、
0:42:18	パネルの部分にはですね、それを抑えるためのパッキンをつけて、押さえてあります。そこでその変位を吸収をして、パネル自体が架台にずれたりしないってような止め方をして、漏えいを防止するというそういう構造に、
0:42:33	なっています。その変位としては、ハッキングが、その受けられるAの範囲の中におさまってればいいと。で、その辺をどういうふうに確認してるんかっていうのが、最終的には実際試験をした時にどれぐらい揺れてるかっていうのを過去に、
0:42:48	パネルとして見ていて、その時に出てる加速度と比較して問題なきゃ漏えいしませんよねってそういう評価につなげていくってそういうこと考えておりました。
0:42:59	その試験ってというのは、
0:43:03	どういう何を見てる試験なんですけど、何のどういう試験、
0:43:12	はい。日本原燃谷口でございます。実際のパネルの取付け構造を模擬をして、アノナカをあれはB開発したんですかね。Bフナツ西田ツガネアノ。
0:43:24	これカードで圧力をかけて、その状態で加振試験をして、漏えいが出ませんよというのを確認する試験をしております。
0:43:34	それは

0:43:36	規制庁の長谷川ですけどそれは今、実際に設計しようとしているグローブボックスでや、
0:43:44	何ですか。
0:43:51	富士電機の磯山です。加振試験においては、
0:43:58	ゼロックスでいういろいろなサイズのグローブボックスがありますので、基本的には大きいものとか代表的な特徴のあるGBを、ほぼ、実規模、
0:44:09	のサイズで作成しましてそれに対して、
0:44:15	加振試験を行って加振した前後で、パネルのパッキン部分とか、GBのつなぎ目とか、そういうところから漏えいがあるかないかっていうのを確認をしている。
0:44:28	それ一を加振試験ですので加速度ベースで整理を行いまして、このフレームの加速度がこれ以下であれば、
0:44:38	漏えいが起こらなかったということをもって、機能確認加速度というのを定めまして、その機能確認活動、今回の各GボックスのGBの耐震モデルですね。
0:44:52	その加速度評価の結果、当間計良氏合わせて、このGBは漏えいは行方、閉じ込め性を確保しているという判断を行っております。
0:45:04	以上です。
0:45:05	はい。はい。
0:45:07	規制庁の長谷川ですけど話はわかったんですけど、それは加速度。
0:45:13	フレーム、多分相対変位だから、フレームの変形量とパネルの変形量の、多分そのす。
0:45:23	最大的な、
0:45:26	相対変位部分を、パッキンが吸収していくというそういう多分仕組みにしているとする、
0:45:35	変形の方が、
0:45:38	重要なんじゃないかと。
0:45:43	いう気がするんだけど、そこは変形とか速度の関係をどういうふうに考えてるんですか。
0:46:00	フリー電気のイソヤマです。おっしゃる通り、実際には変形をアプリアムとパネルの変形が行ってそれが、
0:46:10	バラバラに連携すれば隙間が応じてそれが罰金の松伏資料より大きくなってしまえば、漏えいが発生してしまう。
0:46:21	ということに、仕組みとしてはそうなるんですけども、実際にはパネル、現在使ってるポリカポネートパネルっていうものは樹脂製ですので、
0:46:33	変形としては、ほぼフレームの変形に追随してしまいます。

0:46:43	基本的には追従してしまうので大きな隙間の変化は実際はないと思っております。
0:46:53	室長の長谷川ですけれども、今のその思っているってところが、なんでじゃあ加速度なのってところとの関係が、多分説明には、今ではなっていないんじゃないかと。
0:47:06	だって追従するんだったら加速度も何もいらんじゃないですか。
0:47:10	見る必要がないという結果なんじゃないですか。
0:47:23	うん。
0:47:33	いや、全体としてね、床、アルカ速度ぐらいいいの。頭入っても大丈夫ですよっていうのは全体像としてはわかるんだけれども、
0:47:48	でもこのだから、何て言うのかな相対変位の発生の話と、加速度を、
0:47:54	説明上上手に結びつけていけないんじゃないかっていうのが僕らの問題意識っていうちょっと説明してもらえば多分できる気がするんだけど。
0:48:15	はい、日本原燃谷口でございます。
0:48:18	はい。おっしゃっていただいていることは我々として認識をいたしました。
0:48:26	そうですね。フレームに発生する経緯を、解析的に、数字としては、出ているかと思えます。今解析の話してないんだよね。
0:48:38	はい。
0:48:40	もともとそういう考え方の話をしてるんで、アカサカイトウで、
0:48:47	確認するということが、いいことの説明だから、変形の話とか速度を上手に走りつけてくださいよという、
0:48:57	ことを申し上げてるんでそこに対して、その話してもらえませんか。
0:49:03	わかりました。今、思った印象ですけれども。当然パネルにも重量があって、加速度加わると、実際にその加速度で、
0:49:15	関西で変位が出て、
0:49:17	その状態で生じる変位を、試験の時に実際に生じさせてみて、ちゃんとそれが白金のアノカトウセイノ範囲の中に入ってますよって。
0:49:29	ということが見れてるんじゃないかなと思いますのでそれをつなぐような説明をする場って思います。はい。
0:49:36	何か、交代で設計の発想が、
0:49:40	残ってるような気がしてならないんですね。
0:49:43	加速度が決まれば変形が決まると思っているようですけど、
0:49:47	10の時に、しかも制限はじゃない、特徴のある波を入れなきゃいけないって言ったときに、それ一対一で決まると思ってます。
0:49:58	どうせ説明したことになって、

0:50:01	いや、田口さんね規制庁のハセガワですけど、結局今説明できないって言ったのね。
0:50:08	あったじゃないんだよね。はい。あんたたちさ、設計してさもう現物までさなんか入れてるんだからさ、ちゃんと説明してもらわないと困るんだけど。
0:50:20	そんな笑うような話じゃないぞ。
0:50:23	もうあなたもいらないよ。
0:50:25	はいわかりましたまでさきちっと説明できないんだっただけできないと。
0:50:30	1 からやり直してもらえます。
0:50:35	うん。
0:50:37	しっかり説明しないと。
0:50:41	はい、承知しました。
0:50:45	できるのできないの。
0:50:54	あ、すいません現年ノモでございます。ちょっと今の議論でちょっとアノコウコガ足りないのかなってちょっと今私思ったところをちょっと確認させていただいてもよろしいですか私たちここが足りないということなのかなというところなんですけども。
0:51:10	えっとですね今おっしゃってるように、コンパネLower加速度でこれ消化していてそれ、今ご指摘あったように、一応の加速度がかかるもんとしての評価としてこれで十分だという話を、
0:51:25	してるにすぎないっていうのはおっしゃる通りです。で、等で、これがですねこれボウタイ的に動くんじゃないかって、それなりにモードを持って 10 として、
0:51:38	動くんだとするとそのモードの縁っとしてですね、フレームの中で、その波を打つような変形が起きるようなモードっていうのも理屈的にはあり得るわけで、
0:51:51	本当にそういうものを考えなくていいのかということの確認の上ですね、これボウタイ的に
0:51:57	はい。
0:51:59	ということを、ちゃんと前段で整理しなくちゃいけないということになるのかなと思ったんですけども、規制庁さんの問題認識と合っておりますでしょうか。
0:52:09	規制庁の長谷川ですけど。いや、あんまり入ってないんだけど、結局、
0:52:15	このグローブボックスの機密性っていうのが最終的には、コウパネルんところのパッキン掛け、結局ね、そういうところでずれを吸収してるわけですよ。

0:52:31	それはいいですか。はい。はい。す。そうすると、皆さんがこの機能維持加速度とかって言うんだけど、一般的に機能維持加速度っていうのは、動的なさ、何か、
0:52:45	友野がそれだけ衝撃を受けても大丈夫だっていう、そういうことで、ポンプとかさ、そういった
0:52:56	ものじゃないですか。
0:52:59	で、今回の場合は完全に静的な、グローボックスで完全に井清てキーだとすると、むしろ加速度というんで、
0:53:09	与えたよりも静的に押して変形が、
0:53:14	どこまでそのずれが大丈夫なんだろうと、1012センチ大丈夫なんですと、例えばね、静的に変形をそのパネルとの隙間のところにね、
0:53:26	面内も面外も返金与えたときに、このぐらいまでは気密性担保できますっていう、資料を持っていた中で、
0:53:37	ていうのが僕は多分受、そっちの方がよかったと思うんですよ。
0:53:41	そういう中で、そういう、ここまでの、例えば1センチぐらいの変形だったら耐えられますという、静的で落ちたときにね、結果を持っていますと。
0:53:54	それを今度動的で解析したらその部分は3mmぐらいの変形でしたと。
0:54:00	一手だから大丈夫ですみたいな説明の方が、しやすいですよ。
0:54:07	うん。
0:54:08	はい。結局相対変位なりそのパッキンのところが、十分気密性が、
0:54:16	加速度というより多分変形量なんだよね。うん。はい。
0:54:21	だからそういう見方の方が非常に説明しやすいからどうてキーで云々っていう井清的でおっしゃった方がよかったよねっていう気はするんですよ。
0:54:31	うん。その部分に関してはね。はい。
0:54:35	だから、そうじゃないことをやってるので、加速度の話と変形の話を手前に結びつけて説明をいただき携帯なあと思ってるんですよ。
0:54:47	はい。原因のことです。はい。ありがとうございます。おっしゃる通りですね、これフレーム全体で変形していてその中にパネルがおると。
0:54:59	いう構造ではあるので、そのフレームの変形がまずあって、それにパネルが追随といいますか一緒に押されてやってくると。この相対的な関係が本当に、
0:55:13	この閉じ込め機能を維持するようなプライドを満足してるかというのをやらないといけないということから考えると、えっとですねちょっと私たちがやらないといけないことコウかなと思ったのは、

0:55:23	フレームの、これ全体の動態動的解析で、変形量を上げていますけれども、この変形に対して、このですねフレームとパネルの構造物そのものがですね、
0:55:40	このオオキミツイをしていることをやらないといけないので、相馬さん、ごめんなさい、長くて何言ってるかわかんない。
0:55:52	すいません。ですね、ちょっと端的にお話できるように心がけます。
0:56:01	すいません、無償でやりますって言ってんの。
0:56:05	そうではなくてですねこういう説明といいますか小坪先生、加えないといけないのかなという頭の整理を申し上げている。はい。一番。
0:56:16	手っ取り早いのは、
0:56:19	このグローブボックスは、どこまで変形しても、気密性が担保できるんですかっていう
0:56:27	どこまでMACCSじゃなくてもいいよ少なくともわかっている範囲でもいいけどね。はい。はい。はい。
0:56:33	それは市わかってるんですか。
0:56:35	はい。おっしゃる通りだからですね今、Ssで変形する変形量の評価額について、皆さんは実験でやってるから、
0:56:48	多分それがクライテリアとして使うわけです。はい。そうすると結局試験で、はい。
0:56:56	変形が出た量っていうのが、多分、担保できる量なんだろうね。
0:57:02	そうですねはい。
0:57:04	データブックで何ミナミリとかさ。
0:57:07	はい。はい。わかってるんですかっていう。
0:57:11	何か速度であれですね、あそこってさ、それ周波数があるからさ、短周期で変形が出ないところでさ、最大加速度出るわけですよ。
0:57:25	うん。
0:57:26	きっとね。
0:57:27	うん。
0:57:27	なんだけど変形量は多分その最大加速度のところで出てないかもしれないんだよ。
0:57:33	うん。そこはよくわからないんだけどもどいうね、藤氏、加振試験したのかもよくわかってないし、
0:57:41	なので、結局その試験の中での最大変形量はどこまで持ったんだらうっていう方が多分手っ取り早いんだよ。
0:57:49	母おっしゃることは解決できるかできないかもしれないってあるんだからさ知ってるんじゃないですか聞いてんだけど。

0:57:58	この断層試験やってないのそれと、各部位の変形量っていうのはこれはデータがある、変形量は、加振試験するときだと、変形上直接は。
0:58:10	だいたいして測ってるっていう意味ねだから測って、ちょっと加速度ではかかれているから、そこから推算することって今できますよね。
0:58:25	そうだね。そしたらそれが試験における変形量であるというふうに見ることができて、それが今回の評価における応答解析での変形量と上がったとするというのと、
0:58:38	加速度の比較が等価であるということをお話しなくちゃいけないということなのかなと。うん。
0:58:45	どうかというように、最後ね、
0:58:49	その最大加速度で見ればいいという合理的な説明に結びつけていただくか、
0:58:55	もしくは、変形はここまで持つんですよこのグローボックスは少なくとも、相対変形なりの量としてね、
0:59:06	このぐらいいけるんですよ。
0:59:09	というのが示されればそのどちらかな。
0:59:14	うん。
0:59:18	そうですね。はい。
0:59:21	高木県の編成も来とったと。だからね、相対変位を示す必要がなくて、例えばグローボックスの実物大でやってんだったらフレームの変形でもいいんですよ。
0:59:35	はい。だからどっかの変形でちゃんと説明がつけば、
0:59:40	いいじゃないですか。
0:59:42	はい。はい。
0:59:44	承知いたしました変形量をも軸に、これが外さないっていうわけじゃない。
0:59:56	少なくともグローボックスが年内とか面外にどれぐらいフレームが変形しても、ちゃんとパネルも大丈夫でしたし、気密性も担保できてますっていうのもいいかもしれない。
1:00:11	はい。はい。そこと解析をやったんモデルの場所なりが、
1:00:21	ほぼ実物大でやってるんだったら、おんなじだよな。
1:00:25	うん。
1:00:26	そこの変形も合わせて見てやればさ、
1:00:31	いいんじゃないのと、実験で1センチまでもちますと、どっかのね、おっきな変化が出てるところが上の方のね。
1:00:39	パネルの上の方で1センチぐらいたね、出てるんですけど大丈夫でしたっていう話と、

1:00:45	解析上は、2、3 ミリしかない。
1:00:48	Ss-Dで多分 2、3 ミリしか出ませんでしたよっていう、そんなことでも、
1:00:54	できるじゃないですか。
1:00:56	うん。うん。
1:00:58	併せて皆さんが言う機能維持加速度これも聞かないといけないけどさ、
1:01:06	それも満足してますっていう方が現実度が高いよね。
1:01:11	そうねその二つをちゃんと結びつけて、物量としても結びついてるところもご説明が必要なんだろうなというふうに思います。
1:01:20	今説明できるんですができないんですが、
1:01:23	今数字としてはお餅を持っていないんですね、すべて整理させていただく必要があると思うんです。数字じゃなくても、要するにそういうね、今数字は持ち合わせはないんだけど、試験でそういうこともちゃんと測ってるし、
1:01:38	ね、今の話っていうのは、確認すれば、ちゃんと説明できるんですかっていうことだね。
1:01:45	うん。打ち合わせがあるんですがないんですかっていう。
1:01:51	えっとですね、ありていに言うと試験の時にですね、変形量をつぶさに計測しながらやっているわけではないこれ文字になります。
1:02:03	で、この後、各部のですね、加速度を見ながら、このですね全体のですね揺れ方を見ながら、これ棄権してると。
1:02:15	いうことになっていますので、今持っているデータからこれは変形量がなんぼであったかというのはこういう数字をですね整理しないといけないんですけれどもそういった着目で我々整理してなかったと。
1:02:27	いうところが今ちょっと悪かったところかなというふうに認識しましたので、そういう整理はできると思いますので、ちょっと整理させていただく必要があるかなということかなと書いてありました。いえ、だから持ち出しがあるんですかないんですかって入った。はい、いいえなんだけど。
1:02:43	そういう意味ではその辺、もちろんやってないですはい。はい。
1:02:50	ただし、何頭で、
1:02:54	ゲットすることができるの。
1:02:57	きっとそのことができると思いますので、それを少しやっていた。うん。
1:03:03	ちょっと全体の話からするとグローブボックスは、当然フレームの応力っていうのはあるんだけど、あんまり応力なんかそれほどね、あれだけごっつい

1:03:15	越後とか使ってれば、そんなでもないなと思って、全体的に多分変形をいかに抑えるかっていう方が、多分皆さんの設計ってそうじゃないですか。
1:03:27	実際上からとか横からサポート入れて、全体の変形を抑えようとするような設計思想を持ってないですか。
1:03:38	原因の方で、必要ない富士電機の専門家、おっしゃる通り、確かにD B、
1:03:46	設計だと、いかに変形をオカしてあげるか。実際パネル面がついている面の真ん中辺が大きたまったとしても、
1:03:57	基本的にちょっと先ほどの機能確認家族とを満足してさえいけば、基本的には漏れないっていうのが確認できて、
1:04:05	基本的にはいかに工事Bを、難民変形を抑えてあげるかっていうのが基本になります。そのために、大きいBであれば耐震サポートをつけて店長のイデを、
1:04:19	オカ、するような形、あとあまりないですけども、あとは野瀬がタカダすごい高いと中間が今度大きく変形し始めます。
1:04:29	で、そこを抑えるための中間サポート等を設けて、GB全体が過剰な変形しないような配慮というのは行って、
1:04:39	いいところで、
1:04:41	規制庁のハセガワです。だから、まさにそうなんですよ、変形を多分グローボックス押さえた方がいいんですよ。加速度が多少大きくなって応力が出て、変形抑えにいった方が多分いいとし、いう思想なんでだからパネルのところの、
1:04:56	そういう部分の変形等の関係で説明した方がいいんじゃないですかって。
1:05:03	だからね、今のね、説明にあったように、機能維持加速度っていう話と、変形というのを、パネルの変形っていうのを上手に結びつけるっていうことが、
1:05:18	多分一番いいということは理解されました。
1:05:26	はい、西田でございます。はい。関係者1回押しました。はい。多分、富士電機さんののが、
1:05:33	こう理解していただくことがいいのかなと思うんでここはかみ合ってるんですかね。
1:05:40	はい。そうですね。多分、
1:05:43	この今の機能確認加速度って加速度で閉じ込めを評価してるっていうところの、が、なんでそれでいけるのかっていうのちょっと丁寧な説明資料、

1:05:55	うん。そこ整理しないといけないかなと思いますけど、結局、富士電機さん、設計したものは、変形を全体として、グローブボックス全体の変形を抑えにいつてるわけですよ。
1:06:10	ていうだから変形に着目した設計になってる中、その機能維持加速度っていうのが出てきちゃって、そこがよくわからないと。
1:06:20	はい。
1:06:22	いや、そうですね実際の耐震のモデルとしては変形の2階ですか。
1:06:29	加速度になってしまうので、変形の大小イコール加速度の大小、
1:06:35	実際の耐震して確認してっていうと、加速度ベースで、
1:06:40	事実としては、いやだからね、事実は多分ね別に大丈夫な。
1:06:46	きっとね、きっと大丈夫なんだろうけど、説明のロジックというか説明のコンセプトと、そういう関係と実際にリークなり発生する時の、カノウない。
1:07:01	ていうのがそういう相対変位がかなり大きくなったり、パネルの変形量とか、そういう部分との兼ね合いなわけだから決して加速度じゃないんですよ。
1:07:12	当然加速度との関係はありますよ、もちろんね。
1:07:17	ただね1000Galまで耐えられますとかっていつてもう一度この周波数でね、各々なんかスペクトルが出るわけじゃないからさ。
1:07:28	全体として大丈夫だっていうのはいいんですけどね。
1:07:33	いずれにしろちょっと上手に説明をそこつなげてもらえれば、済む話なんで、
1:07:40	お願いしますと。
1:07:42	いうことかな。
1:07:46	はいフジキイソヤマでお話、了解いたしましたと。
1:07:52	また提示させていただきたいと思いますんで、1点目がまずそこでそういう話になって、全体的に変形を、
1:08:03	見ましょうと。
1:08:05	結局、変形がちゃんと押さえられているかっていうことですよ、変形抑えにいくと多分加速度出るんだよね。
1:08:16	その関係はどうですか。多分変形抑えにいつてるんで、加速度的には、ところ高周波。
1:08:25	要するに、
1:08:26	割と高周波の方、高周波といってももともと中構造だからあれだけ、すす。そういう範囲では多分家族とか、おつきくなってくるんじゃないですか。
1:08:52	富士電機の磯山です。

1:08:56	そうですね県警を押さえていくと。
1:09:02	or今評価してる範囲内では加速度も小さくなっていく。
1:09:08	それだけ結果とし、計算した結果としては、
1:09:15	まあまあいいです多分、比較もしてないんだろうから、トーセ、もうあれですけど、結局、フレームは応力見ればよくて、さっきのところは変形を見る、これこれそういうモデルになっていて、
1:09:29	今度は内装機器とのを、
1:09:34	要は、最終的には内装機器の重量なり、重心が効いてくると思うんですけど、
1:09:44	グローブボックスの設計に対して、内装機器は何を見てるんですか。
1:09:52	例えば受重量、要は重量と重量のかかる位置ね。
1:10:00	いわゆる重心一井なりが、をセットするだけなのか、それとも相互作用的に、内証機器の方等が
1:10:12	フィードバックされるようは相互作用をまで考えてるんですがそれはどちらですか。
1:10:20	富士電機入社まで、基本的にはナイトウの栗野総合作業を考慮してモデル化を行って、
1:10:32	規制庁のハセガワですけど、何、何で相互作用まで考えないといけないというふうな考えはどうなんですか。
1:10:41	まず、内装も氷はいつ、狭いところに入れるということで、
1:10:50	テーマ5にはならないフレーム構造体となることが多いので、そうでないと中の上のヌセルト
1:10:59	共振等を行ってきますのでその影響を確認したい。
1:11:04	ということで、入れてます。あと5の機器についても、グローブボックスの床板は必ずしも地面のように、
1:11:14	5になっていませんので、
1:11:17	ここの、
1:11:18	そのそういう場合は後で知ってんの入れてそこの、
1:11:22	ない、リピットないその他ないレベルを意図と、新しく連結して、GB側の支持点のところに、
1:11:33	正しく
1:11:35	速度が入るかどうかというのを確認するために、梶田で台数思いで、
1:11:44	話は
1:11:46	わかりましたんでだから結局、
1:11:50	素行の相互作用と言うべきなんだっけ、波及的影響をも含めて、トータルで見ますということなんですよ。
1:12:01	はい、そうです。

1:12:04	そうすると説明がだんだん難しくなってきた、
1:12:08	内装キー
1:12:12	もう、
1:12:13	の、今度はモデリングっていうのが、
1:12:17	今度設計的に、保守性とかなんかそういうのって、何か考えたりしてるんですか。
1:12:25	それはもう実物で入れてるからは、割と別に保守性が必要だとは言っていないですよ。
1:12:31	浮腫的なモデリングに何かし、工夫したのか、それとも、実際の設計に、
1:12:39	JIS実物に即したんです。
1:12:48	富士電機の田山まあ、ほぼ実物に即した形でのベルを入れて、
1:12:59	わかる。わかりました。さらにだんだん難しくなってくるんだけど今度機器のある状態。
1:13:08	いってというのが多分肝コウ。
1:13:13	容器にそのままずっと保持してたりそのあけてるときとか、いろいろこうなんか可動部があったりするじゃないですかそのあたりは、一番最も不利な状態。
1:13:26	っていうのが、
1:13:28	でやってるんですかそれとも何ていうかノーマルセットっていうのかな。
1:13:33	基本のセッティング 1 だったんです。
1:13:39	す。
1:13:41	基本基本的には通常状態、ホームポジションとか今基本的には 1 に一番長くいるところを設定してます。
1:13:55	そこが本当に厳しいのかって、例えば昇降する、掃除ですと、ポジションとしては上とか下とかもあるけども、通行持参とかあった場合は、
1:14:06	グローボックスアガワとかに厳しくなるような条件となるような上の方のポジションにして入れるとかこういう配慮はしており、
1:14:18	うん。
1:14:21	だからすべて別に配慮したわけじゃないけど、ある程度、
1:14:27	簡単なものは配慮しているっていう、そういうこと。
1:14:33	はいそうです。
1:14:36	話は大体わかりました。
1:14:39	だから、
1:14:44	それが解析的に模擬できてい。
1:14:48	ているはずだと。
1:14:50	いうことなんですよ。

1:14:54	はい。
1:14:56	うん。
1:14:59	後継ぎ 2、
1:15:02	でかいんで下の床から天井とか壁とかに繋がってるけど、そもそもこれは時刻歴は形で入力されてる。
1:15:15	どういう荷重の荷重と地震力の入れ方をしてるんですか。
1:15:22	地震力としてはスペクトルモーダル法を使っていますので、IFRSですね塩田スベンの家族の方のデータで入れています。
1:15:33	国リティではない、壁。
1:15:37	戸高床と天井と壁の関係はどうしてるんです。
1:15:42	当間ブロック長によって床だけしか支持取ってない時は床のFRSをお持ちのままですね、それはね。
1:15:52	天井とか壁とか、
1:15:55	繋がってパ後床の繋がってる場合はそれぞれの階、
1:16:00	ヤタのFRSを、大きいほうで包絡した波を入れて解析して、
1:16:08	上下階での相対量相対量っていうのはどうなってるんですか。
1:16:18	相対は実際には相対変位とかは、箇所はこのとき、そこは今は工場。
1:16:27	だから多分その相対変位量がフレームに乗っかってくるんだよね。実際には、
1:16:35	実際には上下階の水平変形とかができる、とは形で、操作なり、
1:16:44	応答量が違ってることによって、よくわかんないけど、ただそういうところっていうのは今度、今の多分ね解析ではよくわかんないんだよね。
1:16:56	の仕方だとよくわかんないんだけど、そういうのを、評価として、
1:17:02	よくわかんない部分をどういうふうに見てるんですか。
1:17:36	出る。
1:17:44	はい。すみません。
1:17:47	安倍様です。青地。
1:17:50	現状はそこ、建物としては、上下階の甲斐関井のDBに影響を有意に影響するような、
1:18:01	総合変位はない、ないという想定で今評価、
1:18:07	宇和まだ想定はないんですけど、ないんですか。
1:18:12	それってさこういう我々との関係でわからないってなっちゃうんだよね。
1:18:20	ないと思いますとか言ってもさ、じゃあったらどうかって。
1:18:25	でね、当間伊井ね、まずそういうことなんで、その答えを多分、答えとしては使えない答えになってしまいますよということと、それから最初に見の方に戻って、

1:18:37	皆さんは、できるだけ変形を抑えるようにいろんなサポートをあちこちからとって、全体の
1:18:47	後編大変なり、そういう変形量を抑えるグローボックスに仕上げたいというそういう説明があった中、結局、
1:18:58	相対
1:18:59	変形に一番効くかもしれないような、荷重荷重の入れ方で、全部そいつらがあんまり意味なくしちゃってるんだよね。
1:19:10	さらには機器も含めて、実際に近いモデルをせっかく作ったのに、
1:19:18	高評価仕様なり、最初の設計のコンセプトとして、大丈夫ですかって言ったときに、いや多分変形はじゃないから大丈夫ですよって。
1:19:30	ていう。だから、要するに皆さんは、基本的には、上下階は変身運動してると。
1:19:37	いうぐらいの感覚でしかないから、サポートがあるなして、実際にあんまり聞かないんだよね。
1:19:45	ただそこが併進するだけだから、
1:19:51	だから、正しく評価できてない可能性があるんだけど最終的にそういうのを評価上どう見込んでるんですかっていうのは、やっぱりそこは説明。
1:20:00	コンセプト等がしっかりしてるっていうのはコンセプト通りになってるかっていうのを説明して欲しいんだよね。それは設計者としてどうなんですかっていう。
1:20:20	5日。はい。
1:20:24	富士電機ですねはい。その辺に、その辺りに関してはちょっと、
1:20:30	整理して、
1:20:32	説明させていただきたいと。
1:20:37	これは建物側でさ、多分、各階の
1:20:44	床応答となり、時刻歴で多分あるんだよね。そうするとその場所場所の、
1:20:50	建物間の相対変位、いや僕は別にそんなすごい相対あると思ってないよね。結構立派な構造してるからさ、なんだけどちゃんと押さえて欲しいんだよね。それが、
1:21:03	もう高高さ、1mm2mmしか変形なんか出てないですよって言ったのかね。
1:21:09	ていうです。そういうのを押さえることによって、無視してもいいぐらいですっていえると思うんだけど、今どういう説明しようと思ってます。
1:21:34	はいとは、そうですね。あと、

1:21:37	上下か実際には相対変位が出ますので、その辺を実際モデルに与えてみるとか、もう少し一般的な、
1:21:49	形で評価して、応力的加速度的DPの評価として、考慮しなくてもいいレベルであるってことをちょっと何か追加の形で、
1:22:01	お示したいと考えております。はい。規制庁の長谷川ですけど今言ってるのは、どうやって示すかっていうのを、ちょっと1例を言ってみただけど、
1:22:13	それはもう1回だっさ、応答解析相対品を入れてみてって言ったら、最初から時刻歴保険入れちゃった方が楽だよなってなるんだよね。だから建物だけを見てもいいじゃないですか。
1:22:25	いう。だからね、機器の人はさもう建物の人と切り離しちゃってるけど、建物って実際どのぐらい変形。
1:22:33	相関変位、
1:22:36	出てるんですかっていう。
1:22:40	だけですよね。
1:22:42	はい。
1:22:43	そのぐらいは多分わかってるんじゃないの。
1:22:46	多分このMOXの地下三階のところの相関、内川さんがいて地下2階の部分の層間変位なんてそんなに出てないんじゃないの。
1:22:59	そういうあれですよ食品の安全わかってるんだから、それも考察ということで、そういう入力してというより以前にできることがあるんじゃないかなっていうだから無駄にしない方がいいよって言ってるんだよね。
1:23:15	だからもう変形量わずかですよってだから、もう1mm2mmの話はね、ぐちゃぐちゃ言わないでくださいよと。これがさ、ね鉄骨でさ、す。
1:23:25	コース海田が3メートルも4メートルもあってさ、ね船長だでさ、出る話とは違いますよと、そういう説明すれば、富士電機さんが言って多分ね、変形はね相対変位なんかそん
1:23:38	そこね、大して出てませんよ、と思いますが、思うじゃなくなるわけですよ。
1:23:45	それだけでいいんだと思うよ。
1:23:47	はい、ありがとうございます。ちょっとそこはもういただいた組織も踏まえて、性状対やはり結構、定量的なところに入ったような考察を加えたいと思います。ありがとうございます。大丈夫。
1:24:03	逆にやってみるっていうか、今日夕方っていうか、日昼市でわかるぐらいだと思うよ。
1:24:10	こういう相当時間とか、そのぐらいで確認をするような仕事の仕方しないと、

1:24:20	皆さん急いでるんだったら、
1:24:23	野本さんの的な仕事の仕方は小令和、多分 1 時間。
1:24:29	確認するだけなの。
1:24:33	ちょっとその留意点等も含めて、はい。状況に、
1:24:38	話をね、
1:24:40	だから今日終わるぐらいの仕事量と思ってやってくださいよ。さっきの話も含めて、
1:24:46	僕が今の大体様子がわかったので、基本をただこういようなところを、多分説明の中では全然されてないんだよね。
1:24:57	はい。
1:24:59	まずはグローブボックスの話としてね、何か機器は機器で、Bクラスだからもう静的でもいいよっていうだけだから、あんまり言わないけどね、日中にBクラスだっけ。
1:25:11	Sクラスの機器ってあるんだっけ。
1:25:14	B、Bですね、IBだけだっけ。だからそこは最終的には一緒くたにもう出ちゃうからさ、SSぶっ込んだとき能力でやってるんでしょ。
1:25:25	はい。
1:25:26	うん。
1:25:29	ていうことでたまに何か失点しかねえやつが、
1:25:33	モデルにいたけどさ。
1:25:38	はい。合田土肥屋なんかそれはさそこで出たさ、加速度を知ってんで、
1:25:47	出た加速度を今度静的に入れてんの。
1:25:51	そうです。
1:25:53	本当。
1:25:56	はい。
1:25:57	はい。はい。
1:25:58	いや、基本的には私からまずはとりあえず以上です。
1:26:03	他何か。
1:26:07	他の人があれば、
1:26:10	規制庁浜崎です冒頭あったグローブボックス数の耐震評価っていうことで、今後、これから説明があると思いますけれども、
1:26:20	機能維持の試験結果に基づいて評価してます。その指標が、加速度ということだったんですけど、ちょっとその試験について、
1:26:31	今後説明あるんでしょうけども、
1:26:35	ざっくり聞きたいんですけども、これ、今、Sクラスで 2、28 ぐらいのグローブボックスあるんですけども、試験自体は、

1:26:43	何体の試験体ボックス、モックアップかなんか作ってやってるんですか、 どういう試験体をやってるんですか。
1:26:53	富士電機の磯山です。
1:26:56	ちょっと弊社がやってはいないので、ちょっと私の記憶というか、見ている 範囲ですけれども、一応ジェームスにおいては、ほぼ 555GB分です ね。
1:27:09	81 件やられてます。それすべてほぼ次。
1:27:13	次、ほぼ実物大、
1:27:16	はい。規制庁、大関です。で、今機能維持確認加速度っていうのはこれ はどういう、
1:27:23	加振はグローボックスですからこの短辺の方向だけの 1 方向の加振な んですか、それとも 3 オク加振とかやってます、診療録。
1:27:32	振動台に乗せてますので、基本的には 1 方向ずつXYZの 3 方向にそ れぞれ別々に加振して、
1:27:50	69、
1:27:53	あれ。
1:27:54	規制庁ハバサキです。音声が届いたんですが、
1:28:00	すいません、富士電機須山です。加振試験においては、X方向Y方向Z 方向の 3 方向をそれぞれ別々に、
1:28:11	加振してデータをとってるという形になります。
1:28:15	はい。規制庁浜崎です計算書に出てる加速度って、コウコウノCとか一 切書いてなくて数値しか出てないとかですね今後、
1:28:25	この試験、
1:28:27	結果の試験の条件だとかですね、試験について説明をしてもらわないと これがスタートになりますので、さっきのあの辺の話もありますけれども ですね、準備の方をしてください。大丈夫ですか。
1:28:41	はい、了解いたしました。
1:28:52	これ、今の試験の結果なんだけれど、試験なんだけど、内装機器入り、
1:29:02	内装機器については、ちょっと私も治験加振試験結果でしかちょっと見 て出てないんですけれども、施工物を、
1:29:14	減免をされてない。
1:29:16	原燃が注文したんじゃないの。
1:29:19	厳命見に行ってるよねもちろんね。
1:29:27	原燃は右行ったんですか。
1:29:30	江本。
1:29:31	丸投げ。
1:29:33	すごい会社だね。

1:29:37	日本原燃、ちょっとだけ待ってください言ってます。実際、その人間も含めてちょっと答えさせ
1:29:45	すみません日本原燃の伊藤ですけれども、内装機器も含んだ状態で発振試験やって、
1:29:55	おりました。はい。
1:29:56	結局そういうのでいろんなものが佐賀市試験の評価結果が今回の設計のクライテリアとして使われるわけだから、その試験しっかり説明してもらわないと。
1:30:11	すべてが成立できなくなっちゃうかもしれないですよっていう。
1:30:17	だからそこはしっかり説明はしてくださいね。
1:30:23	はい、ありがとうございます。はい、承知しました。
1:30:33	ちなみに、その試験試験と、
1:30:37	モデルの照合みたいなのは、何かしてるんですか。
1:30:47	10年等ですけれども、自治体の試験時の原因というか、円形を介して、シミュレーションしてるんですか。
1:31:00	はい。やっております。はい。それでそのシミュレーション結果も見せてもらいたい。結局それが富士電機がやって今の詳細の設計に反映されてるんじゃないですか。
1:31:14	はい。
1:31:16	わかりました。
1:31:18	そういうこと。
1:31:22	はい。そうですね。試験、シミュレーション解析の結果をもとに、解析の仕方っていうのを、
1:31:32	見ておましてそれを今の解析に反映してるといった形になっております。ちょっと聞きたいけどこれ試験は、どこでやって、シミュレーション解析はどこでやって最終的に富士電機が開始。
1:31:47	実際の設計の解析をしてるっていう。
1:31:51	ちょっとこれ、具体的にどこやったか教えてもらえます。
1:31:58	はい。日本原燃の伊藤ですけれども、試験検討シミュレーション解析については、
1:32:10	ちょっと待ってください。
1:32:15	失礼しました日本原燃伊藤ですけれども、三井造船の方でやってたと思います。
1:32:23	そうすると今度三井造船と富士電機の甲斐セキ伊井の関係っていうのは富士電機さんはどうしたんです。
1:32:36	富士電機の磯山です。そうですね。その試験報告書とかこちらも吸収しております。あとは原電さんから提供いただいたり、

1:32:46	てますが、そこに簡易評価用のモデルカーの手法と書かれていますので、そこら辺を読み込んで、
1:32:57	モデルを構築しているという形になり、
1:33:01	富士電機ではそうすると検証したってことになるのかな。
1:33:07	主、
1:33:09	要は、試験、試験と、
1:33:12	何かを照合したりしてるんですか。
1:33:14	もう。
1:33:19	それは
1:33:21	そこまではしてないですね。
1:33:24	うん。わかりました。一応、いいです。はい。
1:33:28	いずれにしろそのあたり全部説明してもらったら、
1:33:33	わかりやすくなってくると思います。
1:33:36	規制庁浜崎です 1 点だけ、試験体は何体やったんですか。
1:33:42	池。
1:33:44	ですね、
1:33:48	閉じ公平性とか、そのシミュレーション解析を行ったっていうやつは、剛体。
1:33:56	の知見、
1:33:59	でした。
1:34:01	はい。規制庁浜崎ですちょっとご回答もですね説明の後は、後々ですね説明の方してください。
1:34:09	はいちょっと地下新知見もちょっといろんな、何段階かで行われてますので、その辺はちょっと整理した形で、
1:34:18	説明させていただきたいと思います。
1:34:24	はい。お願いします。規制庁ハマグチほかに規制庁側から、
1:34:29	コサクです。
1:34:32	資料だと 3 ページの一番下に、
1:34:35	外部から接続する配管機器。
1:34:39	その影響っていうことが触れられてるんですけど、これ、
1:34:43	書いてる内容は、
1:34:45	明確化しますってだけで、どういう考えを持ってるのか全然わかんないんですけど。
1:35:05	伊藤さん。
1:35:07	はい。日本原燃、
1:35:12	こちらについてはグローブボックスの考えるに赤が取りつくということがありますので、まずボックスの設計として、どうするのかというのを、

1:35:24	ご説明したいというふうに考えておりました。
1:35:27	いやだからどうするつもりなんですかって。
1:35:36	はい。日本原燃の伊藤ですけれども、こちらプルボックスの評価にあたって実際、荷重を乗せて評価するということをやってみてその考え方について、
1:35:47	ご説明するということで考えてました。
1:35:50	荷重を乗せるってどういう意味ですか。
1:36:03	等ですね
1:36:06	可搬外部に取りつくんですけれどもそこに配管のあれですかねそれをどう乗せるのかというのを説明するというで考えてたんですけれども、ごめんなさい。
1:36:18	コサクです。先ほど、先ほど荷重と言ったのが、
1:36:22	今度は配管をって言ったり、言葉が変わってるだけで、何も説明かは、何だろう。
1:36:28	追加の説明がないんですけど、
1:36:32	記載してるのはヘリ等による影響ってか重大だったりじゃないし、
1:36:38	一体何をやろうとしてるんですか。
1:36:49	まだ検討しないんだったら検討してないって言ってくれていいですよ。
1:36:54	すいません。日本原燃の伊藤ですけれども。
1:36:57	GB側への影響と配管の
1:37:01	配管の方での考慮というのもあると思いますので、配管側については、そのGBの変位による影響ですね、閉によって、
1:37:10	配管二次応力が発生するんですけども、それについての影響についてはご説明したいというふうには考えております。
1:37:21	今グローボックスの方なんですけど、
1:37:39	考えてないから考えてください。
1:37:42	すいませんちょっと単純に舵を載せるだけで、
1:37:49	いや一旦ですけれども、なぜそう、それでいいのかも含めて整理をして説明しますってことだったんじゃない。
1:37:59	そうですね。はい。はい。
1:38:01	ここがどう説明したいかが、今の時点で説明してできてないってことで、まだちゃんと考えられてないってことなんじゃないって。
1:38:12	はい。
1:38:14	ちょっとちょっとすいません。何なぜというところが、
1:38:18	少しまだ考えられてないかなと思いました。
1:38:22	はい。補足です。そもそも前回そういう話をして考えてきますんで、その考えてる方向性を示すのが今日の資料だったはずなのに、

1:38:32	いい加減なこと書いてるから、なぜか入っていないし、入っていないことにはならない。
1:38:38	これあの石原さんもなぜか入っていないと気づいてないのもよくないんですけど、
1:38:42	イシハラさんなり、榎本さんなり、
1:38:44	ちゃんと、
1:38:46	問題意識を明確にしてその対象方針整理してからじゃないとヒアリングできないと思いますので、
1:38:52	今後そういうことのないようによろしくお願いします。以上です。
1:38:59	はい。日本原燃石田でございます。失礼いたしました。承知いたしました。
1:39:10	とほか規定ちゃうから。
1:39:12	コメンター値ますか。
1:39:23	やめて欲しい。
1:39:29	午前中の分について原燃から振り返りお願いします。
1:39:39	はい、ユニシアでございますこれについて目 1 水の件ですが、まずは多かったのは、すいませんこちらが認識不足だところがあって 1000 円となりうる設備で、
1:39:55	8 ページにあった、地震起因で除外するといったものの設計、それぞれ設備の設計ですね。は、その申請会議の中で説明をするということで整理を進めます。あと
1:40:09	道路の部分のところの設計についても、今、かなり短絡的な記載をしますので、一般病院長の話での流入防止ってのはどういう構造になるのかと。
1:40:22	いうことと、この 1 のペアだけではなくて、全体、もうちょっと引いて見渡してですね、万が一そこでも流入した場合にはどう対応できるのかということ、整理をしていくということ。
1:40:35	あと冒頭の説明で申し上げた、溢水に対する前提となる設計というのを、理解を含めて全体井清もですね、含めて、どう整理していくかということも、整理をして、ご説明するようにさせていただきます。
1:40:51	はい。2 番目のグローブボックスの方は、院長でお話をいただきまして、
1:40:58	まずグローブボックスに対しての設計の変位を抑え、カノウナカに抑えるという設計のコンセプトと、
1:41:07	実際、
1:41:09	解析をした結果の判定基準ってのがそもそも一致してないところ、その定義をしっかりと
1:41:16	いうこと。

1:41:17	あとすべてが結構加振試験に対応しているところがありますので、その加振試験の内容なり、具体的話を整理をしてご説明をさせていただきます。
1:41:28	いうこと。
1:41:30	あと最後にあった配管ですね、考えとして、配管の影響というのをどう見に行くと見ていくのかというところを、なんでそれでいいのかも含めて整理をして、
1:41:42	他のメンバーすべて、
1:41:45	6日に出した資料の大部分などのルールだけどう考えているのかという部分がないところがあります。
1:41:51	そこを整理してご説明をさせていただきます。
1:41:53	ということが認識しております。
1:41:55	以上です。
1:41:59	コサクです。サポートが天井にもついてるってということで、そこら辺、失礼しました。はい。
1:42:08	全体的に
1:42:10	筋を通すという形での確認作業というのをしっかりやってください。他にも、先ほどの加振試験との繋がりがっていうのでも、そういう関係は多分にあると思いますので、
1:42:22	一式整理をする。
1:42:25	津守つもりでっていうか、
1:42:27	まずやってください。こちらからセキすべてやらないと、いうことのないようにお願いします。
1:42:35	はい。与儀ニシダでございます。承知いたしました。
1:42:41	規制庁山道です。そう。%タオゴシ規制庁側から、
1:42:47	規制庁カミデですけど、グローブボックスへの耐震の話で、
1:42:54	当然、こんな状況でしたけど、
1:42:57	そういう、
1:42:58	認識のもと、作った資料が今日出てきて来週ヒアリングになってるんですが、どう進めますか。
1:43:11	はい、二本木瀬谷でございますはい。
1:43:15	今日の資料定数も含めて、今日いただいた連帯根本的な
1:43:24	基本的なベースの考え方も、整理をしないといけないですので、そこも含めて、オンしたものの資料を出して、ヒアリングをさせていただくということでスケジュール全体見直しをさせていただこうと思います。はい。
1:43:39	規制庁カミデですけど、今日の話聞いててよくわかんなかったのが、試験の話をつっ込まれていてちゃんと答えられてなかったんですけど、
1:43:50	そういう補足がまずありますよねという話もして、そういう内容は

1:44:00	今補足をガツと積むんじゃなくて共通 12 の資料 4 で、まずは説明しますって言ったのがもう先週とかカッチですよねだから、
1:44:12	今日出てくる夕方にはそういうと、そういう試験は全部の試験体の話はないんだけど代表的なものってこういう試験をやってるんですよってのは当然、
1:44:21	載っていてそれでまた話してきますよっていう回答なのかと思ってたんですけど、違うんですか。
1:44:38	はい、日本原燃石田でございます今後に展開をしていきますということで代表だった代表の考え方だったり、あと加速度を見ているアノ試験ですね、の話も入れてはいるんですが、根本的に内容が足りてないというのが今日より、
1:44:59	認識でございます。今後個別の足に振るにしても、入口の部分も含めて、ちゃんと説明をしないといけない部分は共通ジンノ資料 4 としてですね、
1:45:09	あると思いますので、そこも含めて、拡充が必要だというのが現状認識、ので、先ほどスケジュールも含めて、別途考えたいということをお願いしました。
1:45:22	規制庁菅です。とりあえず紙は出てるんでしょうから、まず出してください。その上で今日のヒアリングを踏まえて、どの辺がないのかってどのぐらいは話ができそうかっていうのは明日の進め方、
1:45:36	のヒアリングまでに整理をして、話をするできるようにしておいてください。以上です。
1:45:49	はい。日本原燃石田でございます承知いたしました。
1:45:55	規制庁山内です。
1:45:57	よろしいでしょうか。原燃側も特に、
1:46:01	よろしいでしょうか。
1:46:05	はい。特にございません。はい。それでは午前中分のヒアリング終了しますので録音でしよう。
0:00:01	公開しました規制庁ヤマグチですそれで午前中に引き続きヒアリングしますが出席者変更がありましたので、改めて設置
0:00:11	ミシマセト規制庁会議室からの参加がアライをオカヤマグチ、その他、規制庁がウェブからの参加がフジムラ以上になります。
0:00:21	それは原燃から出席したんですよ。
0:00:28	はい。日本原燃事務局中浜です。
0:00:31	はい。天然側の出席者午前中とは特に変更はございませんけれども
0:00:36	主なメンバーといたしまして、イシハラ及びですね、資料作成部隊のメンバー、そろってございます。

0:00:44	あと事務局の方、参加させていただいてございます。以上です。
0:00:51	先生ヤマグチです。それでは先にちょっと溢水 43 に手続きで確認させていただきたいことがあるので、
0:01:01	確認したいんですが、まずちょっと午前中に少しあった 1 水源の話、ちょっと明確にしておきたいんですけども。
0:01:09	午前中の説明で藤。
0:01:12	藤その 6 ページの表にある資料が溢水県としてこれで全部ですって言われてたと思うんですけども、
0:01:22	その何ですかねMOX、実際に、
0:01:27	耐震で
0:01:29	例えば耐震でBCクラスでも持たせた。
0:01:32	破損させないように持たせたり、応力評価想定はその能力評価とかして、漏れないようにそういういろんな、
0:01:40	対処した上で実際に漏れるものとして想定してるものがこれだけなんですっていうことなのかそれともMOXない。
0:01:48	すべてに考えられる液体を内包するものがこれだけって言いたいのかちょっとその点もう一度確認できますか。
0:02:10	対応。
0:02:12	規制庁山内です。すいません。急だったんですけども、すみません 2 となっていました。ごめんなさい。はい。乳井伊澤でございます。6 ページの表にあるのは耐震補強云々関係なく、一斉になり得るもの、すべてを上げていると。
0:02:26	いうことでございます。ここからさらに、防護区画との関係耐震、底を持たせるとかですね、いう話をして、西縁として考慮しないというものがこの中から引き算をされていくということでございます。
0:02:42	規制庁山口です。
0:02:44	もうそれとして全部上げてるってことの回答だと思うんですけども、例えば
0:02:52	MOXの資料 1、共通 12 の資料 1 とかのリストでも、空調用蒸気設備っていうのがいたんですけども、
0:03:01	それって 1 水源として、
0:03:03	どうなん。
0:03:05	この表に入っても、
0:03:11	与儀ニシウラでございます。この、まず先ほどの会話の中でやっていたのは 6 ページにあるのが第 2 回申請の方なので、第 3 回に入っていれば、

0:03:22	この表には入ってません。ただ第3回も含めて、そういったものを全部上げるといふことで考えてました。
0:03:31	うん。やっぱり、
0:03:33	全部入ってない。
0:03:35	うん。
0:03:36	規制庁山口です。
0:03:38	であれ、シマちょっとやっぱり来私回答が違いしてたんですけど、やっぱり第3回に申請されるものとか第4回に申請されるものも含める。
0:03:51	と思って制限施設全部として考え得る制限はまだあるっていうこと。
0:03:58	はい。乳井ニシダでございます。3回も含めると3回の申請対象でまだいますので全体からするとおっしゃっていただいている通り他にも言います。はい。それを全部テーブルに乗せるということ考えてます。
0:04:10	はい。ちょっと表のつくりが悪くて恐縮でございます。
0:04:13	すいません。
0:04:17	規制庁山口ですとそれであともう、
0:04:21	の、
0:04:22	城希衣の
0:04:24	1水源の高エネルギー配管のいっす。
0:04:29	水源何かこう、唯一のみたいな話過去にあったと思うんですそれって、
0:04:34	何かイデ出てくるんで、
0:04:51	はい。ちょっとすみません、確認する時間をいただければすいません今見ると、何か私が作った表が間違ってくるので、第2階に空調用の蒸気が入っているはずで、
0:05:06	これもエントリーしておかないと、一応おかしいんじゃないかという気もしてそこ確認をさせていただきます。
0:05:11	唯一蒸気があるのはこの空調用冷水だけです。はい。
0:05:15	はい。
0:05:17	あと確認ということで、規制庁山口ですよろしくお願ひします。あと
0:05:22	この溢水に関して午前中もお話した時には没水の、
0:05:27	もう断りばっかりし、
0:05:29	集中してこうか話進んでるように思う。
0:05:32	と思ったんですけど、一応被水とか蒸気影響に対する評価も同じようにもう外、概略評価なりで確認はした、してるって思ってたよろしいでしょうか。
0:05:46	はい、日本イシダでございます概略評価溢水にならないも含めて、はい。その概略評価をして、説明、この設計の
0:05:58	配置も含めて、整理をしています。はい。

0:06:03	伊勢城ヤマグチです。
0:06:06	喜多。
0:06:07	ちょっともう1点なんですけども、
0:06:10	資料で言うと7ページの第4、7ページの3.2、
0:06:18	(1)のまた書きで、溢水対策設備最後の申請でっていうことなんですけども、ちょっと過去の資料で申し訳ないんですけど、ここのその共通12の
0:06:30	R20番。
0:06:32	で出てきてた。
0:06:35	資料なんですけれども、共通12の資料1で施設共通基本設計方針一覧の表があったと思うんですけど、そこで
0:06:45	床ドレン逆止弁と比木池が、第2回申請で丸ついてて真帆カー。
0:06:53	対策設備立ちは第4回まででそれ1回は倍になってたんですけど、この逆の連絡四面とか液いけて第2回申請で何か、
0:07:04	出てくるんですかね。
0:07:31	はい、日本イシダでございます。はい。そのの整理もさせていただきますおっしゃっていただいている通りで今、
0:07:38	6ページの表でいくと、低レベル廃液処理設備に該当する設備だと思ってます。
0:07:46	先ほどのイセゲインとならない設備の耐震評価じゃないですけど、そういうものも含めて、第4回でやっていたものがその考え方やっぱおかしいだろうということで指摘をいただいたものだと。
0:08:01	認識を午前中されていると思ってますので、これについても、第4回的时候に、対策設備として期待をしているということであれば、その前提で第2回の当該設備を説明する。
0:08:15	に、しっかりと設計を説明しないとイケないと、いうことかなと思いますので、全体含めて午前中の指摘も含めて整理をさせていただき、
0:08:26	はい、規制庁山口です。
0:08:29	そうですね、低レベル廃液処理施設
0:08:36	耐震性の対象であれば、
0:08:39	うん、すべて第4回っていうことではなく、必要な設計は2回で説明いただくと思うんですけども、
0:08:47	そんな、
0:08:48	やっぱり
0:08:50	実際、高さ、
0:08:52	さあ、次、そこ想定される溢水の高さとかも対策設備の設計に関わってくると思うのでそういうのも含めて、

0:09:05	概略評価なりで、
0:09:08	ちゃんと2回で説明するっていう、
0:09:11	学校で認識しました。
0:09:15	またちょっと整理いただいて、資料で説明いただければと思うのでよろしくをお願いします。
0:09:24	オカ溢水で、
0:09:26	規制庁側からありますでしょうか。
0:09:29	市長課ですと今、アノヤマグチからあった液位系と逆の。
0:09:34	逆止弁の話なんですけど、
0:09:36	これだって他の水防対策組織みたいに評価結果を踏まえて設置するっていうような位置付けには、やっぱりできなくて、
0:09:45	第2回で申請するっていうそういう整理にしたということなんですか。
0:09:51	はい、日本1社でございます。そうですね家、そちらに向かう経路として、流入がないっていうことを前提評価条件。
0:10:01	前提条件みたいなものであれば、そういう前提条件がクリアできるように、設計を説明する必要があるんじゃないかと。であれば当該設備の設計を説明するときに、あわせて申請としては、示すべきではないかというのが私が先ほど考えた。
0:10:17	考え方でございます。おっしゃったように、評価の結果に対しての、ある種、マルバツの最後の方で効いてくるものであれば、評価結果と合わせてということはあるかなと思いますけど、大丈夫なんでもうそれを前提に、
0:10:32	評価をしますと、経路の設定もしますということであれば、
0:10:36	あらかじめ設備の設計として説明示す必要があるんじゃないかなということでも考えました。
0:10:41	はい。大丈夫です。わかりました。その辺のときに、溢水評価は、防護対策設備も、
0:10:50	大前提となった評価を、
0:10:52	するっていうことですよ。今のおっしゃった方。はい、そうなりますね。はい。
0:11:01	例えばですけど許可の整理資料でもうあの図を470ページ下に示してましたけど、区画の間の、
0:11:11	経路があるものに対してここは、止水できるからここからここへの流入は考えませんか、ここは流入を考慮する必要がありますっていうのを前提にそれぞれの経路を見ていくので、

0:11:24	その前提としてこの逆止弁みたいなものを期待しているのであれば、そういった設計をもととから説明しないといけないのかなと思ったところでした。
0:11:34	はい、社長からわかりました。
0:11:40	新地山内です。海水について既設がよろしいでしょうか。
0:11:45	藤。よろしければ、それでは共通中に本体の方に移りたいと思います。
0:11:52	規制庁のアライですけど、
0:11:56	本当で、
0:11:57	補足するようなところがあれば、本文から説明していただきたいな思っているんですけど。
0:12:04	そんな感じでよろしいですか青字になってる部分とか下線部になってる部分は確認してますので、
0:12:09	それ以外に付加情報があれば説明いただきたいな思ってるんですけど。
0:12:17	いえ。
0:12:24	うん。
0:12:24	ございます。
0:12:27	7 ヤマグチですと、
0:12:30	音声の調子が良い。
0:12:34	はい。
0:12:35	はい。はい。
0:12:37	このぐらい近づいたので、
0:12:39	悪いやろ。
0:12:40	はい、大丈夫になります。
0:12:42	お願いします。
0:12:43	本文につきましては、どちらかというと今回復活した情報というまだ、
0:12:50	書ききれてないところの宿題として認識してる部分が残ってますぐらいが、説明としては付加情報かなと思ってます現状、書いてある内容に対しての付加情報は特にございません。
0:13:03	やりきれてないところとしては評価の資料4のところは、再処理も含めた考え方というのを整理をしないといけないって部分がまだ手がつけられてないということと、
0:13:16	あと現状資料2、資料4に対してそれぞれ代表の考え方を示してるんですが、
0:13:23	これあくまでまだMOXでやったときの考え方、再処理も含めて全体の考え方になっているかというチェックも含めてしないといけないというところ。

0:13:48	と思っているところでございます。徒歩はそれぐらいです。
0:13:56	はい規制庁です。本文、
0:14:00	なんですけど、
0:14:01	先ほどおっしゃっていただいたように、再処理との
0:14:06	紐づけというか、考え方の入れ込みができていないところ。
0:14:10	がメインになるのかなとは思っていて、それって、いつぐらいっていうか、再処理の何ら何の作業が、
0:14:20	律速になって初めてこっちが反映できるのかっていうのを、少し段取り教えてもらえますか。
0:14:27	はい、二本木瀬谷でございますボックスでやったときの段取りをそのまま、
0:14:44	その全体を見ながら、それぞれどういうグルーピングをしつつ、かつ、どういう代表の選び方をしようかというのが、MOXの例示で
0:14:54	説明できるかできてるかというところのチェックに入ると。
0:14:58	加えて、一覧表ができただけでは、
0:15:03	どのチェックってほぼ不可能で、評価の内容があらかたこういうことを説明するんだという概略がですね、まとまるのが条件だと思ってます。そういうステップで、もう久世のときと同じように作業を進めようと思ってます。
0:15:18	現状どこまで来てるかという、評価項目の一覧表がまだできていませんという状況でございますので加速をしながらその作業をしないといけないというのが現状認識です。
0:15:30	はい。
0:15:31	評価項目の一覧表を再、作るためには資料2なんですかね。海田です。できていないっていう感じなんですか。
0:15:41	はい。
0:15:44	日本エリアでございます。はい。おっしゃっていただいている通りです。かつてMOXのときも、
0:15:50	すべて資料2をセットするというよりは、後段の説明グループについては、
0:15:55	00 資料の別紙2をうまく活用しながら、そこで評価要求というフラグが立っているもの、評価要求の前提条件になりそうな設計をかかっているものってのリンクを取って、
0:16:08	整理をしておりますので、同じようなことが、再処理でもできるのかなというふうには思ってます。
0:16:15	はい。
0:16:17	わかりました。

0:16:18	再処理の方はSAのガッチャンコとかもあると思うんですけども、そこらみつ、
0:16:26	ここに、はい、共通的な考え方があればがっちゃんこして、差分があればまたこの本文の中で突き出していくっていうことは出てくるのかなと思います。
0:16:37	それで本文関係で、
0:16:39	一つだけ確認したい点は、結局、
0:16:43	今まで代表選定とか、代表との差分とかっていう説明がある。
0:16:51	あったと認識していて、
0:16:53	例えば
0:16:55	35 ページ目ですかね。
0:17:00	下線で引かれているところが、ここは評価のところなんですけども、
0:17:05	実は今まで明示的にあんまり聞いたことがなくて、複数代表する代表選手を選ぶ場合と、
0:17:13	差分を出す場合で、どういう違いがあるんですかその考え方ってどっかに書いてあったりしますか。
0:17:28	はい、日本原燃者でございます。現状でいきますと、資料 4 の評価で、
0:17:35	目標には説明グループ 1 の中で説明している範囲でいくと、
0:17:40	大ニシヤマ、それぞれでやってることは同じ、評価のプロセスを一つ一つ組み上げていったときに、それぞれの条件設定なり考え方で、
0:17:53	何ていうんでしょう、全体が一つの代表で全体がカバーできるのか。
0:17:58	それ以外のパターンがいるのかということで、代表代表以外ということの整理をしようと思ってます。耐震の場合でいくと、
0:18:07	モデルを組む時の前提の考え方だったり、その中でのモデルの組み方だったり条件設定だったりというところで、
0:18:17	複数の項目で、例えば代表だけでは全体説明できないということであれば、代表以外の、さらにもう一つの代表を立てて説明をする。
0:18:28	一つの設計プロセスの項目に対して、何らかの違いがあるという者がいる場合は、差分として説明をしようというのが現状考えているやり方でございます。
0:18:40	はい説明ははいいただいたのかなと思ってるんですけど、結局、
0:18:45	何ていうか、枝分かれするところが違うってだけなんですかねその差分のところ。
0:18:53	はい。枝分かれするところが違うというだけかなと思います枝分かれが。
0:18:59	何今日本語が難しいのたくさんあるか 1 個あって、

0:19:04	かなと思います。はい。そういったところの違いが、代表 12 と立てるか、代表 1 で、その差分がこれっていう書き方にするかという違いの部分になっていると思ってますそういったところも、
0:19:17	もう少し明示的に、本文の定義ができればと思います。はい。はい。具体例を示しつつっていう形で、何かリンクを貼ったりかしてですね、
0:19:27	わかるようにしていただければと思います。以上です。
0:19:38	他、うん。
0:19:41	はい。本文、
0:19:43	他よろしければ、
0:19:45	続いて資料 2 ですかね。
0:19:49	これもまたこういうところがまだされてないとかそういうところは、口頭であれば説明をよろしく願います。
0:20:02	はい、日本メディアでございます基本的に耐震パートがないので資料 2 としてはそれで動くパートオダ出していますが、
0:20:12	現状今、修正した箇所以上の修正がまだ今できてないということはないと思ってます。どちらかというこの後に本当は入ってなかった、なきゃいけなかった資料 3 がないっていうところが、
0:20:26	感想みたいなものでまだ足りてないところがあるというのが現状にいたと思ってます。
0:20:31	はい、わかりました。
0:20:34	その上で確認、例えば 45 ページ目で前回のヒアリングの延長なんですけど、
0:20:45	せ、設定根拠あるものの評価を、
0:20:49	タテないっていうところの話。
0:20:53	の続きで、
0:20:54	ここってくわえてるんですけど、例えば
0:21:01	3 番、青井さん、青字になってなくて恐縮でございますカシマコマツです。はい、えっとですね。
0:21:08	例えば 45 ページの下から 2、2 番目の欄、0.5 メートルパーセック以上という、許可で言っている内容を、この中に追加をして※で、前回あった。
0:21:23	許可での約束事項フィルターの制度ですね。それと同じように展開をさせていただけてます。それが、確かに岡沢大井になってないのは恐縮です。はい。ございます。はい。了解です。ここはきちんと原燃としては反映しているっていう。

0:21:40	認識でいいですかね。他のところも。はい。人月でございます。他も見て、許可で前提になっているところは、一通り足し込んでいるということでございます。はい。了解です。
0:21:53	続いて、前回も続き、
0:21:55	説明があった119ページで、
0:22:03	青字のところなんですけど、
0:22:07	説明グループの考え方のところ、
0:22:14	システム設計の19-1ですかね、一番上の段のところ、
0:22:20	建築基準法の要求と、
0:22:23	その基準法以外の要求を踏まえて、
0:22:26	そういう風量を設定するっていうところはあるんですけども、その風量の包含関係っていうのは、
0:22:34	どこで示すんですかね。
0:22:48	※書きの11条29条の97っていうのは、多分先の話なので、
0:22:56	でも、こいつを包含するような形で、
0:23:02	20、20条の19を代表して説明するって書いてあるんですけど。
0:23:18	日本原燃、打田でございますちょっと事実確認します。少々お待ちください。
0:23:37	おんなじ説明だから20条19代表として説明するっていう、そういう、それだけの話なんですかね。日本原燃志田でございます趣旨はそういうことでございます。
0:23:50	多分言われてるのは同じだということとどこで説明してくれるのかっていうことだと思うので、そこは前振りも含めて今回、何らか、動向としては、
0:24:02	付加して、全体の関係性というのを示すということで、整理したいと思います
0:24:12	資料には特には他はありません、最後のところだけ他のグループとの繋がり部分だけ、もう少しわかるようにしていただければと思います。他規制庁側から、
0:24:26	規制庁オカです。ちょっと似たような話なんですけど135ページ名の、
0:24:32	バツの、
0:24:34	このナンバーツリーの代表以外のところで、
0:24:39	前回も差し引いた
0:24:40	けれども、
0:24:43	本関係があるっていうまずはそういうことなんですよ。
0:24:54	はい。小木曾池谷でございますはい考え方はおっしゃっていただいた通りでございます。はい。はい。
0:25:01	こういう場合って、ここは西条名和はどのように
0:25:06	示していく。

0:25:11	やっぱりルールは、
0:25:12	江藤さん。
0:25:29	はい、二宮でございます。そうですね生産要求での、後損益の要求ってのは、今の説明、
0:25:39	うちでやってますし、
0:25:41	火災要求からくる窒素雰囲気っていうのは、いわゆる生産要求でやっていることとイコールであるということの関係性を含めて、火災で説明しよう。
0:25:52	いうふうには思ってますが、前段部分で、要はその要求って言ってるものが、2、20、11条29条だと、説明グループにひっくり返ることがないということの、
0:26:04	担保は、説明グループ1で何らかに触れさせていただくということかなと認識をしました。
0:26:11	はい。清町岡林ちなみに葛西常務があってもやっぱり資料に行って、こういうふうな代表みたいな話のときに、
0:26:20	ここは逆転。
0:26:23	その辺のイメージがよくわからなくて、どう、どういうふうに、
0:26:28	葛西側で説明していくんです。
0:26:42	はい。人間ニシダでございます。そうですね
0:26:47	言ってみれば、火災は火災で、窒素雰囲気にするという発生防止の観点での要求が、基本設計方針との関係で、
0:26:58	上がってきますんで、アイテムがそれに対して、課題としての代表としての説明をしつつ、各説明グループで行っている話との包含関係とか、いうのを、
0:27:10	合わせて、その設計の中でも説明していくということだと認識をしています。はい。
0:27:46	はい、与儀瀬谷でございます。おはようございます反映が勃発忘れてるというか、すいません。はい。説明グループについてやるということで、
0:27:56	はい。はい。規制庁から、この辺が
0:28:01	評価に用いるような情報を、結構前の方でやっぱり説明した方がいいと特に大枠、今回の大枠みたいなものは、前の方で説明した方がいいとか、
0:28:12	何かいろいろな議論があつて徐々に直接
0:28:16	前倒ししてるようなところもあるんです。
0:28:19	そういう観点で、
0:28:22	また見直されたりはしましたって言って、

0:28:26	はい、二本木西尾でございますはい。おっしゃっていただいている通り 164 ページの第 20 条の排気の位置なんかはまさしく全体一生懸命負圧の話をしてましたが結局、
0:28:39	風量としての要求の全体における負圧要求との関係ですね、というのも含めて説明がないとですね、何を説明しているのかがよくわからなくなってしまうところがあってこれは 101 ももともと、
0:28:55	やるにしても説明グループ。
0:28:58	菅さんでやろうと思ってましたけど、
0:29:01	やはり全体を言った上で、負圧の話の説明グループ 1 ということの中でやる必要があるということで、説明グループ今枝押尾をアノ、
0:29:09	してますただ中身としては、説明グループ 1 で書く範囲等説明グループ案で確認する範囲というのがありますんでそういうのも認識した上で、
0:29:19	補足の説明タイミングというのを定義したということでございます。他場を調べて同じような整理をしないといけないのかなとは思いますが現状こういうところで、
0:29:30	変わってるところがあるということでございます。
0:29:34	はい。鳥海さん。はい。廃棄は今回確認しましたが、ただ、耐震側なんかも結構あるのかなと思ってまして。また精査のほどよろしく願います。
0:29:47	今日、私は以上。
0:29:49	はい。
0:29:51	が資料 2。
0:29:56	関係は、はい。特にないんですね。そしたら資料 4 関係行きましょうか。
0:30:02	200
0:30:05	13 ページ。
0:30:09	160
0:30:13	68 ページ、はい。はい。165 ページ目からが資料 4 になります。
0:30:21	168 ページからやっぱ一覧表、これ一つは、前回のやりとりを踏まえて、真ん中、右側にある説明時期のところ、
0:30:32	何が対象になって、説明グループさんになるのかという、何が対象なのか明瞭になるように整理をしたということと、
0:30:41	あと
0:30:43	この後かな、
0:30:45	160173 ページ以降の別邸になってるものを、これの特に耐震のところとかでバーになっている人がいたんですがこれそれぞれの評価の説明内容とのリンケージを図って、

0:31:01	どこに関係する評価条件なのかということでひもづけを図ったということでございます。これ単品で評価をするというよりは評価の中での使う因子だということで、
0:31:14	そういう連携を図らせていただきました。
0:31:17	181 ページからが相資料 4 の(2)ということで、今回は耐震を除く評価パターン(1)と(2)について、(1)の確保について、
0:31:33	整理をさせていただいてございます。
0:31:35	書いてある、事務室とは、ページが丸々出されてるものは、なかなかオオウチというわけにはいなくて高桑家、例えば 191 ページ、第 1 回鳥飼を
0:31:46	青字にしたいということでな、何らかの追加があったかということはあるようにしたつもりですが、めくった 192 ページについてかなんだけど、違うかな。
0:31:57	はい。評価パターンについては、8 日パターン 1 ですねについては、
0:32:03	漏えい器、
0:32:05	ティザーとかの評価をする際の系統設計の情報が、説明グループ欄にならないと出てこないところを、評価のプロセスとしての妥当性を説明するために、
0:32:19	前倒しで、この中の資料 4-2、(2)の中に入れて、説明をさせていただこうということで整理をしました。
0:32:27	加えて受け皿に対する漏洩量というのをどういう考え方で設計しているのかということの考え方の確認。
0:32:35	いうこと。
0:32:37	をしたということ。
0:32:40	ですかね。はい。あと 199 ページからある欠損部の考慮。
0:32:47	についても、これは
0:32:50	以前①②③と三つ、三本柱立てさせていただいたんですが、①として書いたものが欠損部をといって 199 ページに青字で書いてある部分になりますこれは単純に
0:33:02	01 を消しただけの状態なんです、
0:33:06	総務の考慮として、共通的に考える考え方であれば、例外規定みたいなもので丸一番いいと、①みたいなフレームを立てるのはちょっとおかしいんじゃないかなということで、
0:33:16	前半部分のリード文に入れさせていただいているというので、三つあったものが二つになってます。①②は、それぞれどういう形状を今考えたのかという、
0:33:30	例がですね具体的な例がわかるように、アノを拡充したということ。

0:33:35	ですかね。はい。あと、これ根本的に添付 2 市を代表で選んだもの以外のものを入れてましたが全部個別補足のほうに振らせていただいているということが大きな変更点、
0:33:48	あと 205 ページから、風量の話が入りますが、先ほどらい廃棄時の 1 を足したと、今回申し上げた通り、風量の設計の全体の因子の話を、
0:34:01	説明をし、それでは因子で、前回も、なぜこれはグローブボックス最大のやつを使っているのか、他も同じなのかって言われたときに、
0:34:11	いや他は考え方が違うの也有ります。何でそんな考え方の違いが出るんだみたいな会話をしたのを踏まえてですね、それぞれの因子にどんなゆ、
0:34:22	ファクターがきいてくるのかということも考えて、それを示しながら、最終的に風量ってどうやって求めるのかという全体像を示させていただこうということ、
0:34:33	214 ページまで
0:34:36	かなり長いリードですが、書かさせていただいて 215 ページからかな。
0:34:42	215 ページは衡平とか、
0:34:45	だから前回は 215 ページまでがリードみたいな考え方で、
0:34:50	216 ページから、負圧の話を整理をしたと。
0:34:55	いうことでございます。
0:34:58	負圧の方は、前回の飛び回って書いてある通りではあるんですけども、
0:35:06	特には、
0:35:09	トヨタ 221 ページにあるこれは個別補足の方でも展開させていただきましたが、形状容積の下、運動の仕方、特に右側のような、
0:35:22	直方体のときにそこからみ出てる部分で結局、この黄色い枠に全部入るんじゃないのというも含めて、全体整理をしたのを、
0:35:33	得るものは入れて評価しますし、どうしてもそこの中に入らないのは、
0:35:37	その全体をカバーできるような、別の直方体を考えるとですね、そういった考え方で整理をしたということでございます。
0:35:46	あと 223 ページから、ご提出、建屋の風量の話になりますがこれも、前回、扉という扉を全部挙げてましたが、結局は、
0:35:58	差圧をターゲットに管理をしなきゃいけない、ポイントを認識をして整理をしようということで、非管理区域と管理区域の境界であったり、
0:36:11	工程室と、工程室以外のところの境界ですねこういったところを、クワタ風量としてしっかり見なきゃいけないポイントだろうということでそういったところにターゲットん。
0:36:22	開けてですね、説明をするということで整理をしました。
0:36:27	はい。

0:36:28	ええ。
0:36:31	条例が全体に展開をされて個別補足と認定人も含めて定義をさせていただいていると。
0:36:39	ということでございます。
0:36:42	236 ページからが評価パターン 2 ということで、設定根拠を関係のところ、
0:36:51	今回対象になっての搬送設備の必要容量でございます。
0:36:55	搬送設備の方は、個別拘束の方もおられると整理をさせていただきまして、
0:37:03	前回搬送 01 という個別補足で、全体パッケージ示してましたが、
0:37:08	説明各会派でもご説明させていただいた通り、いわゆる今まで言った域こといわゆる所前提の話ニノイチの構造設計とかシステム設計の話。
0:37:20	2-1の解析評価の話、それぞれフェーズが違うものを、ごちゃ混ぜにするのではなくてそれぞれに応じた、個別補足として整理をし、
0:37:30	ということでやらせていただきました。
0:37:32	搬送でウメキがいわゆる 1 ポツの対象が何かっていう整理。
0:37:38	その対象に対して、2-1 の構造設計が破損 02 ということで今回対象になっている評価の話が、乾燥 03。
0:37:50	ということでございます。今回のものも、搬送 01 で、これが搬送設備として容量とかを見なきゃいけない対象ですといったものに対して、
0:38:01	どういう見方で評価をしますということで、239 ページに入ってくるということでございます。
0:38:10	結局はですね、242 ページにある通り、
0:38:16	累計をして、いわゆる搬送設備の沖なんていうでしょう。
0:38:23	運び方というのか、設備の累計をした上で、それぞれに対してグローブボックス内外には計画、定格荷重と最大荷重が、
0:38:34	の比が厳しいもの。
0:38:37	これを対象にして、代表として扱った上で、運ぶものと定格荷重の関係性を、その低角課長が上回ってます。
0:38:47	いう説明を整理をさせていただいているということでございます。
0:38:53	はい。全体の考え方というのは以上でございます。はい。
0:39:00	特に先ほど資料 3 が足りないと言ったのは搬送で搬送 01 とかですね、に書いてるような内容が資料 3-01 とかにまだ書ききれてないところがありますんでそこを拡充する必要があるということで認識をしているところでございます。
0:39:14	はい。以上です。
0:39:16	規制庁荒井です。特に補足については、いいですかね。

0:39:24	はい。任命者でございます。補足については、搬送 01 から予算は先ほど申し上げた整理をしたというところです。
0:39:36	あと
0:39:37	前回、やりとりしてて、明確じゃないところとか等、安全機能への影響程度を書いてある日本語がですね、日本語になってないとかっていうところを修正をさせていただいたと。
0:39:49	特に個別補足については新規で作ってる閉じ込めさんですか。
0:39:55	これが整理は先ほど申し上げた資料 4 でやってる時の具体的な内容を代表設備に対して示しているというところです。
0:40:06	これ、まだすいませんこちらうまく書ききれないなと思ってるところは、
0:40:13	14 ページ以降にですね、欠損部の場所に応じてそれぞれ
0:40:22	評価の実際の寸法を使って評価を
0:40:26	6ヶ所搬送 03、搬送じゃない閉じ込め 03。
0:40:34	動かない。いや、両ページ後にやってるんですがこれSaaSとか 2 とか 1 とかいろいろ書いてるんですけど、どれがパターン 2 に該当してぱカミデ言ってることをどう具現化したのかみたいなものが、
0:40:47	まだ書き切れてないところがありますんでそこは修正をして確認をさせていただこうと思ってるというところでございます。
0:40:55	はい。
0:40:56	はい、わかりました。規制庁荒井です。そういう意味だと、他の補足説明資料も共通住民の中で、言葉の定義とか図表の定義とかしているものがあるんですけど、
0:41:08	補足のほうではそういう定義が出てこなかったりとかしててですね。
0:41:12	やっぱり説明が少し前段部分が足りてないという部分がありますので、ちょっとそういうところを計画していただければと思います。
0:41:22	はい。日本原燃一条でございますはい。ありがとうございます全体エミで、言葉を定義をしながら、繋がりを持ってそれぞれの
0:41:32	文章でですね、見ていくと、不足点があれば拡充していくということで、内容を進めたいと思います。はい。はい。
0:41:40	じゃあ、一通り説明いただいてということ資料 4 について規制庁側から確認をしていきたいと思えます。
0:41:48	まず(1)の評価項目一覧表の中で、確認、
0:41:54	したいと思っていてですね。
0:41:57	173 ページ目。
0:42:01	から、

0:42:02	その説明になっていて、青でタイトルのところを記載し直していただいたのかなと思っているんですけど。
0:42:11	やっぱりちょっと
0:42:12	ここで言ってる文言の意味とかってというのは少しわからなくて、クリアにしたいので教えていただきたいと思うんですけど。
0:42:19	このタイトルの説明書きの中で、適合性評価で設定する評価条件の中で説明するため、
0:42:27	何たらかんたらその考え方を示すっていうふうには書いてあるんですけど。
0:42:31	適合性評価っていうのは具体的に何で。
0:42:35	紐づけや考え方ってどこで示されてるものなんでしたっけ。
0:42:39	ていうところを確認したいんですがいかがですか。
0:42:43	はい。ちょっと日本語は練習させていただきますがここで適用性評価と言ってるのは、基本設計方針番号書き、その基本設計方針の要求事項に応じて、
0:42:54	5 クドウ設計を説明し、その評価をするということでこの一連の流れが適合性、
0:43:03	評価だと、ということで、銘打ってますけど、そんな略語を提示したのも前半部分じゃないので、そこも含めて丁寧にもうちょっと書かさせていただこうと思います。
0:43:13	言ってるのは結局はですね、ここで言う、どこだ。
0:43:26	パターン。
0:43:28	175 ページとかでいくと、
0:43:33	下から3番目に、評価条件の項目があって、評価パターン(3)6条27条-010に合わせて、
0:43:44	説明すると、この条件がその
0:43:48	二つ上三つの6条27条①②と言っている評価の中で使う評価条件であると、この中で説明するアイテムだと、いうことを言っているということで、
0:44:00	それを、そういうことをやってるということはこの文章で示したかったということ。
0:44:08	要するに、
0:44:10	6条①②っていうところ番号づけをしてるので、そこでまとめて説明しますっていうのは紐付けの内容ってことなんです。はい。そういうことです。はい。はい。
0:44:22	考え方はその前段、前段に書いてある、この考え方、
0:44:28	はい。はい。

0:44:30	もう少しわかるような形でタイトルのところ逆に各T
0:44:37	混乱を招くようなところもあると思いますので、お願いできます。
0:44:41	はい。ありがとうございますイソベしました。
0:44:47	はい。あとはですね、前回のコメントと、
0:44:51	の反映なのかなと思うんですけど、ステップ1とステップ2でやってることってというのは、ちょっと本文に戻って恐縮なんですけど、30ページ目で、
0:45:01	書いてあるところが、
0:45:03	これに該当するっていいんですよね、本文の。
0:45:09	はい。大丈夫ですか。はい。はい。了解です。
0:45:13	そしたらここにステップ1ステップ2って別に書いてもいいような気がするんですけどいかがですか。
0:45:19	はい。日本原燃瀬谷でございますはい。紐づけという意味ではおっしゃる通りだと思いますんで、ステップ1ステップにそういうステップで、
0:45:28	分類をしていきますよということでわかるように記載をします。はい。お願いします。
0:45:34	続いてまた173ページ目に書いていただいて、臨界のところが一番最初で始まっているんですけど、
0:45:43	臨界でも核的制限値とかって、設定根拠必要かなと思ってるんですけど、その評価がない理由って、
0:45:50	何ですかっていうところを聞きたくて、
0:45:53	例えば資料にすでにスクリーニングアウトされてるので、ここには出てこないっていう整理だとは、
0:46:01	推測はしてるんですけど、現状どうなってるかっていうのを教えていただけますか。
0:46:09	はい、日本原燃石原でございます。
0:46:14	ここの核的制限値私の認識が間違ったら本当に訂正をみんなですて欲しいんですけど。
0:46:19	評価で言って最後の答えが、まさしく核的制限値が出てくる、いわゆる事故情報等倍ですか。も含めて0.95以下とか何とかっていう時の、
0:46:29	核的制限値みたいのが答え出てくるので、条件というよりは、評価の結果そのものだと認識をしてましたので、
0:46:37	そういう意味で、若干先ほどの評価条件ということは、位置付けが違うのかなと思ってました。
0:46:49	他の意見ってあるんですかね。
0:46:53	同じなさそうです。はい。
0:46:56	そういう意味だと、結果として出てくるっていうのが、

0:47:00	いまいちちょっとよくわからなくて結果は 0.95 以下であるっていうのが多分出てくるのかなと思ってんですけど。
0:47:07	それを担保するための、
0:47:11	質量であったり富化度であったりとかっていうのは、設定根拠として普通が出てくるような気がするんですけど。
0:47:26	結局何か
0:47:27	許可の時にすでに示されているので、フィルタの捕集効率なんかと同じような扱いで資料 2 の中にスクリーニングアウトされて、
0:47:37	結局ここには出てこないのかなって思ったってだけなんですけど。
0:47:40	違うんですかね。
0:47:46	別所審議官の本体のページ、委員会のさ、委員会のっていうか許可の添付時総務なんか表みたいのがあって、核的制限値書いてる。
0:47:59	多分今、それを新井さんの言って、だから許可の義務じゃないかと。
0:48:04	そうやれば、そう。
0:48:06	でも、
0:48:07	いやあ、利己暴動倍率が何本以下になるように、どんどん計算していった答えが、例えば核的制限としてこれですみたいな答えだから、最終形だと。
0:48:20	はい、日本エリアでございますおっしゃってることは理解をしつつも、今で言って臨界計算の添付書類での説明の仕方も含めてちょっと整理をさせていただきます。はい。ちょっと先の話なのでそれまでに、
0:48:35	対応いただければと思います。
0:48:39	はい。規制庁岡です。179 ページ目の貯蔵のところでは、富化度とか、貯蔵量とかを、
0:48:47	評価条件にしている、これと同じ整理になってくんじゃないかなと思ってます。鮭なんかも、
0:48:54	同じで、そういうところはやっぱり必要、基本設計方針上の何らか振れると思うので、
0:49:01	必要になってくるんじゃないかなと思ったんですが、いかがですか。
0:49:09	はい。乳井西様でございます。はい。おっしゃってることも、理解をしています。はい。ちょっと、
0:49:17	私も頭の整理をさせていただこうと思った理由は、
0:49:21	臨界とか、基本設計をしてから、書いてることが、
0:49:30	条件というよりは、核的制限値を適切に設定するという、多分方針が出てきてそうそうなってることを評価で確認しましょうと。

0:49:40	いうことの流れかなと思っていてそのためにおっしゃっていただいたように富化度とかいろいろなものがある条件になって、出てきて、それとの連携で評価を質で書く。
0:49:52	水の反射率だ何だかんだという条件を出しながら答えに持っていくということだと思うんですけど、ちょっとその辺の説明の仕方って考え方と、
0:50:03	評価であったり、設定こんであったり、評価条件であったりというとの関係と、いうことの整理をさせていただこうかなというのが先ほどお話ししたところ
0:50:19	はい。
0:50:22	あとは、確認で 178 ページ目の、
0:50:27	11 条の火災ところですかね。
0:50:30	浅井の基本設計方針番号の 11 条の 87 と衛星笠野 29-88 で、
0:50:38	これで
0:50:39	消火設備っていうのが火災の中に出てくると思うんですけど、
0:50:44	最終的に換気設備を代表として説明っていうところで、
0:50:49	ここの代表の選定の考え方ってどういう。
0:50:55	考えで、試算したのかっていうのを教えていただけますか。
0:51:01	消火設備換気設備を、
0:51:04	耐震の機能維持の代表評価とした理由とあって、
0:51:12	18
0:51:16	二十七、八 18 野瀬 9.0 というところで、
0:51:21	乳井西様でございます。
0:51:24	令和独行紀子。
0:51:27	配管評価配管の配管系として見た時は標準支持間隔でやるということは、他の配管と変わらないから、換気系で代表にしますっていうことで説明を
0:51:39	してるってことですかね。はい。
0:51:41	ここは要するに、
0:51:44	楽とのことですかね。
0:51:47	西郷。はい。配管ダクトって配管系と配管をダクトも合わせて、その中に入れているので、配管系のダクトで代表しますということだと認識をします。カウントして、
0:52:00	類似していて、
0:52:03	ぜひ換気設備になんて入れ込んだかっていうと、そっちで、
0:52:08	メインでやるからってことなんですかね。はい、そうです。はい。そういうことです。了解です。
0:52:14	わかりましたこれ事実確認でした。

0:52:16	じゃ、(1)の評価項目一覧表で他、規制庁側から、
0:52:27	特にないようですので、(2)の評価項目の評価を、評価方法とか、評価条件等について確認を進めていきたいと思います。
0:52:38	181 ページ目以降ですかね、最初が、漏えいの話で、評価パターン 1、
0:52:45	十条の①というところで、泊に進めていただき、いきたいと思います。
0:52:51	機自体、私、
0:52:54	アライからなんですけど、アノ期 188 ページ目で、
0:53:03	一つが最初に見三つあって最後の 3 個目のポツの中で、
0:53:08	漏洩量の設定なり、欠損部の考慮を最も包含する設備として、
0:53:13	x97 っていうのが、
0:53:16	選定されてるんですけども、
0:53:19	この選定の観点っていうのは、漏えい量だけ見てるんですか。
0:53:35	包含する設備ってどういう観点で保管してるのかなと思ってんですけど。
0:53:41	日本原燃志田でございますまずこの包含しているということに対して漏えい量の設定できるかということについては、そうではありません。
0:53:54	4.1 と 3.3. 1、3.2 を見てないんだっけ。
0:54:01	結局、漏えい量の設定と経営総務部の考慮、これが一番パターンとして、大井アノ設定方針、複数パックの考え方がまず、だからこれ、だから 0102 って言っても、この中身があるから、
0:54:16	余計あれだね、個別高速と組み合わせないとわからないのでいいとか、
0:54:22	それから一はい乳井ニシダでございます。これちょっともうちょっと丁寧に書きます 3.1 と 3.3. 1。
0:54:29	が、対象で考えてはいるんですけど、特に 3.3. 1 の方で、先ほどの欠損部の評価のいろんなパターンがあった時にそのパターンを全体的に包含できるもの、一番パターンが、
0:54:43	入るものっていうかね、それをも考えて、この代表を選んでますというのが全体の考え方でございます。はい、了解です。多分そうなるのかなと思っていたのでお伺いしたんですけど、やっぱり欠損部等の種類とか、
0:54:59	あと
0:55:00	漏洩量の方って、漏えい元となる容器の、
0:55:04	パターンとかってあんま関係ないですかね。
0:55:12	いろんな種類の容器が配管があるとか配管だけのやつは選定してないとか、
0:55:18	あんまり漏えい元に対しては考えてないわけですか。

0:55:23	はい。乳井さようでございますそんないろんなものがないというのもあって、そこまでの複雑な考えまではやってません。はい。はい、わかりました。そういう意味だと。
0:55:34	共通 12 の本文側の方にはしっかり視点を変えていただいて、結果は補足のほうでまとめていただければなと思っておりますので、はいその対応でよろしくお願い申し上げます。
0:55:46	はい。日本原燃石田でございます。承知いたしました代表選り時の視点を、
0:55:52	考え方をちゃんと書くということでそれを、個別補足で言ってることと紐づけをうまくしながら全体カバーできていることを説明するということで認識をして、整理を進めます。はい。
0:56:06	続いて 193 ページ目で、余裕シロの話が、
0:56:12	あるんですけども、
0:56:15	例えば容器出口配管。
0:56:18	から、第 1 弁までの、
0:56:20	液量については、
0:56:23	より後ろに含まれていますとかっていう説明があるんですけど、
0:56:27	他のグローブボックスの容積の話とかだと、一応ちゃんと配管の寸法なり構造なり見て、そこ 0 算出される容積を比較して、含まれてますっていう説明があるんですけど。
0:56:38	そこは示されないんですかね。
0:56:50	はい。乳井イセでございます
0:56:54	何でしょう。桁が違いすぎるっていうのもわかってますし、その関係性をとるように、数字化したいと思えますはい。例えば、
0:57:05	一目で見てわかるように、配管系が、これぐらいのサイズのものがついてますっていうのがわかれば、容積をわざわざ、
0:57:12	印象ノット計算しなくても自明だと思いますので、
0:57:16	ちょっとそういう対応でよろしいしたいと思いますけど、いかがですか。いかがですか。はい、吉田でございます。はい。8 時とかの配管で弁までの距離も大したことはないということで、リメンジョがわかるように配布します。はい。
0:57:33	あとはですね、
0:57:38	ワンバッチ量の 20%一律 20%っていうところを、
0:57:43	入ってるんですけども、黄砂との関係で、
0:57:49	コウサノふれ文との関係っていうのが、ここでちゃんと示されていないのかなと思っていてですね、差分の容積を包絡してるっていうのは、どうやって説明する。

0:58:01	つもりですか。
0:58:13	黄砂分を包絡する形で一律 20%って入れてると思うんですけど。
0:58:19	等差って寸法の公差ですよ。
0:58:28	はい、乳井西平でございます。実際の公差自体は寸法になります。先方側の上振れの寸法を考えたときに、業績的にはどのぐらいの変動があるかと。
0:58:40	いうのも考えた上で、この 1 の値に対する余裕資料 20%の中に含む包含できるということ、数字の関係性で見ているということでございます。
0:58:51	はい。
0:58:52	はい。
0:58:53	それは、黄砂っていうのは、補足のほうに、はい。
0:58:59	今は、
0:59:02	書いてあったような気が。
0:59:05	ただ、
0:59:06	現状書ききれてないのでそこも含めてケアしていきます。はい。明らかに 20%足しておけば大丈夫だよってというのがわかればいい話なので、この先ほどの配管と同じような形で、
0:59:19	示していただければと思います。
0:59:27	あと最後は、
0:59:30	これも補足との繋がりの話で 197 ページ目で、鏡部の算出の話っていうのがちゃんと書き切れていないと思っていてですね。
0:59:44	例えば芳賀壬生の種類とか、あと算出根拠ですよ。
0:59:49	っていうのが、ちゃんと本文側にも、
0:59:52	何らか補足とリンクさせるような形で書いていただきたいと思うんですけどいかがですか。
0:59:58	大丈夫、補足のほうには書いてあるんですけど。はい、西田でございます。はい。ちょっと補足に預け過ぎたかもあるので、本文側でのケアというのも含めて多くの考え方だったり、まずちゃんとわかるように、
1:00:13	本文では示し、具体は、個別をするということの仕分けがちゃんとできるようにさせていただき、
1:00:21	お願いします。
1:00:22	私から、①の、
1:00:30	私、
1:00:45	何を追加したところになるんでしょうか。
1:00:51	スケジュール

1:00:52	はい。海野イシダでございます。今岡さんの指摘された代表が変わった件については配管部の影響というよりは、先ほど
1:01:03	の新居さんとのやりとりであった、欠損部の考慮のところですね、これで、
1:01:10	今 199 ページにある、でもパターン 1 個ない現場だけいただきたい。
1:01:16	そうですね。ここでいう左三つは、全部入っているパターン、ポンプだけないんですけどこれを、ポンプがないんですけど、
1:01:26	評価の仕方は、他の例示で示しますと言って閉じ込めの予算に書かせていただいたと。
1:01:33	ということで代表なんだ、下の子。
1:01:36	小円という窯元は、この欠損部例のパターンが一番多いものっていうことになります。
1:01:42	はい。
1:01:44	はい。
1:01:45	追加されたためにまだツジってというのが当時補足説明資料が結構、
1:01:52	簡単ですが閉じ込められたんです。
1:01:54	そこら辺は、
1:01:56	どう、今どういう状況なんでしょうか。
1:01:59	はい。まず、上西でございます配管が計上できてなくてツジって言ったように、33 ページに 5 って書いてるのは、大変失礼。
1:02:08	書けるわけないで書いてしまってるところは間違いです。配管についても、大枠も大体の情報はあるので、
1:02:18	整理をしてかけさせていくということで、これからさらに何かをしないといけな追加でどんどんやっていかないといけないというような状況ではないという意識でございます。はい。
1:02:31	ちなみに、これのためなんですけど、
1:02:38	はい、与儀の資料でございます。はい。どちらかというと、もともと見てるタンクの方がでかくて、つかないというのが現状でございます。はい。
1:02:52	なんでこれ、
1:02:54	何を追加する
1:02:57	患者さん。
1:02:58	はい、日本エリアでございます。これはですね一つは、すみませんちゃんと元からケアしていけばよかったんですけど、191 ページみたいな系統を変えたときに、
1:03:09	溶液受け皿の設定の考え方で、どういうところで漏えいしてどういう漏れ方をする部分をカウントするかということ、ちょっと最初に昔やったときのことも含む紐解いて、

1:03:22	考え方を合わせにいったと、いうことでございます。
1:03:26	はい。社長。
1:03:30	ベンダーになんなりで、漏えいするっていうのがあって、はい。
1:03:47	うん。
1:03:50	ホデてるとバッチ管理処理
1:03:53	から、まず一番自分の処理を前提にあってあるんですが、
1:03:58	前回もちょっと触れたがいたんですが、結局その、
1:04:03	この工程の中で複数バッチは入らないっていうことは担保されてるんですけど、
1:04:16	はい、与儀の伊勢でございますまず、この
1:04:22	当て運転であるということも含めて、どういう流れになるかっていうのは、この
1:04:29	まずは増益イケダの評価の前提になるところなので、現状各課の
1:04:34	前倒しでいろんなことを書き書かさせていただいてますが、
1:04:38	説明グループさんでの対象物がまさしくそういった設備になりますので、
1:04:44	先ほどのイセではないですけどそういった条件を付すんであればその構造設計システム設計の中でしっかりと条件として示させていただくということで考えてました。
1:04:55	あいつ超過して、それを、第一グループで説明する上で次回でちゃんと説明しますよっていう、一定の担保をとって進めるっていう部分は、
1:05:08	何かとっていて、
1:05:13	はい、日本インダでございますそのケアもそうですねうまくできてないですアノを持っていながらうまく文字化できてないので、今、7 ページ、7 ページの 191 ページとか 192 ページに書いてあるものも、
1:05:28	結局、説明グループ 1 でこの漏えい液受け皿の評価を説明する上で、その上に乗ってる設備って系統どうなってるのということを前提に説明しないといけないということで、
1:05:41	本来は今の説明グループのあり方でいくと説明グループさんであるところを、そういう前倒しで前提として説明させていただいていると。これの詳細については例えば 191 ページとか 2、
1:05:54	詳細の系統設計システム設計構造設計については、説明グループさんの何々設備の説明の中でさせていただくということを、この中でも、
1:06:05	進めさせていただくということが必要なのかなというふうに認識をしました。
1:06:14	漏えい量がどれも
1:06:17	一番
1:06:23	のように設置機器が

1:06:26	漏洩量
1:06:34	この
1:06:40	繋がり
1:06:41	ような定めが、
1:06:49	えーと、
1:06:51	2割、
1:06:52	入らないっていうことが多分おっしゃられる。
1:06:55	説明されてこそその条件だと思いますので、
1:06:58	この辺を
1:07:01	ケアしていただく必要があるのかなと思った次第です。
1:07:04	お願いします。
1:07:12	規制庁から、
1:07:13	右の正誤で承知しました。はい。
1:07:18	ポツ、
1:07:19	そのところが、これが説明のキーになるような、
1:07:23	部分なんですけど、
1:07:25	イマイな表現が、
1:07:28	散見されてなお書きの
1:07:33	漏えいガス、漏えい等、
1:07:36	ヨリキ等の液体を貯蔵貯留する機器からの漏えい量に比べて少なくと か、
1:07:44	なんか、
1:07:45	考え方というよりは、言い張ってる形の表現が結構、
1:07:51	あるので、ここは結構気になるので、少し
1:07:55	根拠を持って説明
1:07:58	か。
1:08:01	はい。日本インダでございます先ほどの配管部分のリメンジョの関係も 含めて、どういう関係者なのかという
1:08:11	含めて、全体整理をしないといけないと思いますので、言い切りになっ てるところは考え方も含めて設計上の前提だったりも含めて、整理をし て、
1:08:23	記載を修正をして、するように行かせていただきます。
1:08:27	はい。
1:08:31	いや、
1:08:35	トレイトして帰ってたものなんですけど、
1:08:40	容器類の
1:08:42	説明だから、そのあとに出て、

1:08:45	オカテのものは、
1:09:05	どこだっけ。
1:09:09	6月。
1:09:11	だからこの、
1:09:16	でもあれだよ。
1:09:17	結局、みんなが知りたいのって、ここで最大のところを取ってますって。
1:09:24	流れも含めて知りたいのに、細切れされて、結局ろ過装置のやつは、他のページを見てください。結局その大小関係が、
1:09:36	見ようと思うと、194ページを見て、
1:09:39	これ、数字等197ページの数字を3日止めてそういうことねみたいな話やね。
1:09:46	それはちょっと余りにも不親切じゃないのかなというのが多分今のご意見じゃないかと。
1:09:52	同じ、同じ様に乗っかってるのに、
1:09:56	なので、もう多分、191ページ全部通じてのところ、医療圏か。
1:10:04	全体のろう塩基受け皿に対する漏洩量として見るべき数字が、どういう関係性があるかを、今日で最後学校にして示すか。
1:10:15	かな。
1:10:17	はい。で一番厳しいものを選んでますっていうのがわかります。
1:10:21	ちょっとそこは工夫しようか。はい。日本インダでございますおっしゃっていただきたいところで理解しました。ちょっと整理をして、説明が、
1:10:32	流れるようにさせていただきます。はい。はい。規制庁、
1:10:46	198ページ名からとって、
1:10:52	受け皿の面積の話なんですけど、これ資料3では、
1:10:58	テーブルに漏えい検知ポットなんかもついてるんですけど、
1:11:01	そういったところ、今回、
1:11:03	名なくこうフラットなものとして、
1:11:20	下のインダでございます。私の認識が合ってるかどうか、下水道、資料3で、検知ポットみたいなものもそこについているということの形状を、
1:11:30	構造設計を説明してたのに、いきなりここに来ると何もなかったように、イケダのお話だけ面積だけを計算しているということで、そういうものは構造上、系統上あるけども、この漏えい液受け皿の
1:11:44	面積自体をカウントするときには、考慮しませんよというのか、なぜそうなのかも含めて、はい。考え方を書いておくということかなと認識しましたがそれでよかったですか。はい。
1:12:02	はい。
1:12:04	はい。ということ。

1:12:12	うん。ちゃんとわかる
1:12:25	の。
1:12:27	だから、この添付図面構造図っていうのは結構
1:12:33	申請書の添付図面のことを多分、
1:12:37	おっしゃっているんですよね。
1:12:40	はい。その通りでございます。はい。規制庁、
1:12:43	共通 12 の枠組みで示す時に、急にぱくっとう出てきているので、
1:12:50	そういう場合どうするのかなっていうのが、やっぱり、
1:12:54	あるんですが何かお考えっておりますか。
1:12:59	はい、ニューシアでございます。
1:13:02	申請書の構成については、共通シリーズでいくと共通 06 の中で添付書類というのが、添付書類には、適合性を説明するための添付書類等、
1:13:15	構造等の添付図面と、何々がこう配置図みたいなものがありますみたいな説明をさせていただいてますんで、その申請書の中のその構成物の一つの話、
1:13:27	しているんだと、いうことのキックがわかれば、全体、補足の中では繋がるのかなあというふうには思っていました。
1:13:38	はい、清光岡です。
1:13:40	申請書上、共通の添付図面に今なってるので、
1:13:44	そういう、
1:13:46	ところを少しケアしていただいた方がいいのかな、いけました。はい。
1:13:52	そうしましたら、このマイナス公差は、構造ズー上、ちゃんと表現されるんでしょうか。
1:14:06	結局マイナス公差をどこで知り、こちらが知り得るのかっていうところが、
1:14:13	になっているんです。
1:14:19	はい、宮城西尾でございますちょっと確認をしますが、原発について審査表を見れば、認識ができると思いますけど本当にそうかっていうところを今並行して確認をさせ
1:14:37	そんな分も、
1:14:39	x97 を今回代表として、公共ツジの中で説明しているので、もう少し具体的にx97 ではこういうものがあってっていうのを、
1:14:51	提示いただいた方がいいかなと思ったんですが、
1:14:55	高速の方にあるんですが共通住民の中で一連の説明を意識するっていう、
1:15:04	そういうところはちゃんと配慮

1:15:09	はい、西尾でございます冒頭、荒井さんから、代表の説明で今欠損部 いただくクロマル書いてるだけなので、これがまさしく、
1:15:21	今ご指摘あった 199 ページの欠損分についてはパターンが多いもの と、いうことを説明しようと思うとですね、その次からすると 199 ページ に、
1:15:31	どのパターンがこの代表にあって、どういうふうに評価をしているのかと いうところの、ある程度考え方とか、ポンチ絵的なものとかですね。
1:15:41	閉じ込め 03 までいかない具体にしても、考え方なりがわかるようにしな いと、全体が繋がらないのかなと思いますので
1:15:51	整理をさせていただきます。はい。
1:16:01	埋めて、
1:16:02	床面に勾配はなくて、
1:16:07	グローボックスの程度にも勾配がないんですという説明は、
1:16:12	あったんですが受け皿をグローボックスに、
1:16:16	これ溶接だと思うんですが、設置して、
1:16:21	それでもコウ。
1:16:23	勾配が、
1:16:25	ないというか結局、
1:16:27	施工公差みたいなものも含め、
1:16:30	高さ方向、今回、結局何も不確かさを考慮しない状態でコウ、
1:16:36	アサノっていうか交差的なものを考慮しない状態で
1:16:41	評価も進んでいるんですが、
1:16:43	本当にそこをちゃんと担保できますか。
1:16:59	課長。はい、日本インダでございます。ちょっとなぜこう考えたのかの考 え方は書かせていただき
1:17:07	実際施工の手順からいくと、
1:17:11	水平をとって、施工の確認なんかもすると思っておりますので、そういうと ころからしても勾配っていうのは考慮しなくてもいいんじゃないかなと思っ てこう書かさせていただきました、
1:17:24	なのでそういうことも含めて、なぜこうなのかというところの前提を書かさ せていただければ、
1:17:50	にしたいので、
1:17:51	そういう情報を追加いただければ、
1:17:56	を、
1:17:57	そのまま閉じ込め 03 の花Cもよろしいでしょう。
1:18:03	関連するところで、
1:18:06	先ほどアライ等もありましたが、9 ページ目の、

1:18:09	当局。
1:18:11	野原
1:18:12	系の話ですね、そういう判断。
1:18:15	丁重やっぱ、
1:18:18	の、この方式ってあんまり一般的にはないので
1:18:21	文献とか必要なんですが、あと、
1:18:25	下の注記にある。
1:18:28	容積の公式な方がわあ、
1:18:31	の
1:18:34	一般的な片側の分、
1:18:36	の
1:18:37	公式集なんかにあるようなものだと。
1:18:40	それで、
1:18:41	ウノは、ちゃんと量、⑧ですね量がわーもあって、道具は、
1:18:48	ちゃんと道具全部考慮していて、繋がりが悪いというか、注記に書いてるものと、
1:18:54	評価の内容が整合してないってところもありますので、
1:18:58	その辺のケアをしっかりといただければと思いますが、理解いただけました。
1:19:16	はい、日本イシダでございますはい。全体そうですね⑧番で見てるのは、
1:19:23	片側だけじゃなくても、2ヶ所分のカウントをしながらそれぞれ計算をしているということに対して公式で引っ張ってるところっていうのとのリンケージは確かに一対一にうまくってないので、そこも含めて、ケアをしていきます。
1:19:48	補足の方で、大分
1:19:50	詳細に説明してくれ。
1:19:53	てると思うんですが、
1:19:55	まず
1:19:57	ちょっと図面、
1:19:58	の中で、漏えい器受け皿の位置付けがすごく小さくてですねで、
1:20:04	どの範囲の欠損になるのかっていうその台座
1:20:08	みたいなものは、
1:20:11	これ
1:20:12	12 ページ目の上なんか見てもわかりづらっていうのと、あと次、
1:20:17	そのあとの説明、続く説明で、どこまでの高さが欠損分として考慮されているからこの分

1:20:26	そういう範囲がちょっと今の説明だと、
1:20:30	わかりづらいので、その辺ケアして、少し歩。
1:20:34	情報を補充していただきたいんです。
1:20:38	はい。はい、日本イシダでございますまず、12ページの上についてです。大分全体カバーしてますんで、これに対して、ウエキ受け皿って一体どこのパートをやっているのかっていうところを拡大して、
1:20:53	何かお見せしないと、余りにも引き過ぎな感じもするので、そういったケアをするということと、
1:21:02	あと例えばずれ行っている、欠損部として考えるべき形状と言っているものと、私もそう、先ほど、
1:21:12	パターンってどう考えたかっていうのと、実際図面をバーンツて聞いているわけなのでその関係性がよくわからないなというところはケアが必要だと、冒頭申し上げましたが、
1:21:22	まさしく、14ページとかいろんなところに図面のパートをつけてるんですけど、
1:21:28	どっからどこまでが欠損分として2件なきやいけない。
1:21:32	物のパートでそれに対してどう、テスト分として考えたのかと。その中に、評価パターン評価パターンじゃねえや。算出パターンの①、②、どれをカウントして考えて結果こういう。
1:21:47	経常で見えますみたいなどころまで一連流れてないと。
1:21:52	何見ればいいんだろうっていうことになるなというところは、正直思っていましたのはい等だったら直したという
1:21:59	はい。修正をしていって出しますはい。はい。部長。
1:22:04	shall、うん。
1:22:11	だね。
1:22:15	理解はできる。
1:22:17	例えば14ページ目の、
1:22:20	マスキングは、
1:22:21	この下の図の方で、
1:22:24	ダスキンはどこからどこまでのマスキング範囲。
1:22:27	なりますでしょうか。
1:22:30	これ全部マスキング情報なんでしょうか。
1:22:39	いろんな広げれ視野でございます
1:22:43	まずこれ通常やるんであれば矢羽根で飛ばしてる日本語は残す感じに至るとは思うんですけど、この
1:22:52	順番ですね、この順番で、全体のその調整式の調整も含めてやっていくということも含めて、

1:23:03	ノウハウということなので、全体をマスキングさせていただきました。はい。
1:23:22	は、
1:23:24	やっぱりノウハウになるんでしょう。
1:23:28	ものと出てないものがあるので、それなりに検討されてやってるのかなと思って。
1:23:34	今の順番のところで、やっぱり
1:23:40	はい。日本原燃土屋でございます。説明がなかなか難しいですが 14 ページのカー枠が入っている中の、
1:23:51	言葉は直接言いません、右側にある、MIC矢印で飛んでますけどその真ん中の 1、
1:24:00	この人が全体の調整役でして、これの寸法が寸法とかこれがいるということも含めてのはウダということで、これに関係する寸法は全部マスキングの対象になります。
1:24:11	それに関係しないもので、特段そのノウハウ云々に影響しないところはあの数字をマスクの中から外しているということです。
1:24:19	はい。
1:24:33	本当に
1:24:34	どこまでか。
1:24:49	あと、15 ページ以降のズーでも、x97-98 の範囲とかがですね、
1:24:57	初めにちょろって書かれたただけであとは、准教授。
1:25:03	ここ、
1:25:04	範囲がわからないままだったり、あとX29 を例にしてポンプの位置とつけてる。
1:25:11	もう、
1:25:12	XP等同様ポンプのどこ、どこから
1:25:17	欠損部なのかとか、そういう情報っていうのを徐々に更新していっただければと。
1:25:22	思いますので、よろしい
1:25:24	お願いします。
1:25:27	乳井イセでございます承知いたしました。
1:25:33	以降の
1:25:34	結果になるんですが、
1:25:37	まず、
1:25:41	何か
1:25:42	12 のフォーマットなんかと結構違う。
1:25:46	ているんですが、

1:25:48	衛藤さん 12 ページ目はいいんですが、結果ですね 33 ページ目。
1:25:54	共通順位で、例えばこういう同評価みたいなのやってる
1:26:09	すいません。代表を除いて、
1:26:14	記載されてるんですが、代表はここに追加した上で、これが代表ですということをお知らせできるようにしていただきたいんですが、いかが。
1:26:23	はい、与儀石田でございます。はい。承知しましたまず、全体がカバーできている中から代表だけを今、紙本体側で書いているという位置付けだと思っておりますので代表も含めた、
1:26:36	表にさせていただきます。はい。はい。
1:26:41	いる内容と同じ内容の大事なこう書かれている必要があると思いますので、そこら辺のケアをお願いします。
1:26:50	はい。240 イシハラでございます。今言われてるのは、例えば 33 ページ、表でいくと、先ほど本体側で言うと、
1:27:00	いや、204 ページで言ってることと、同じような順番なりで、
1:27:06	それぞれ書かれていると、いうこと。
1:27:09	この関係性ってことで、理解は正しいですか。
1:27:14	あれケーター商品の考えか
1:27:21	同じようにやってますということで、共通中にはドイ表だけこの部分を抜粋して
1:27:28	わかるようにお願いします。
1:27:30	はい。日本原燃石原でございますオオキいたしました。
1:27:34	はい。土佐さん 14 ページ目に、前回ちょっと伺ったX9 人。
1:27:40	798 の、タテタテ寸法の
1:27:44	話を追加いただいてわかったんですが、
1:27:47	本当にこの管台なんかも、
1:27:52	全体の 3 項を調整するために、片方を少しずらして、要はパッキン分ずらして、
1:28:02	施工してるってことなんですか。
1:28:14	はい、日本インダでございます。院長のこうした確認はしていきますが基本、同じようなやり方だと思ってました。はい。
1:28:25	例えば今後その前で確認するときは、本当にこの値が仕様表に書かれていてそのあたりとの整合をこう見ていくっていう、
1:28:42	はい。日本原燃石田でございます今使用上の受け皿のない形なり何なり、書いてますんで、それを実際見ていくということかと思えます。はい。
1:28:53	はい、規制庁カセ
1:28:55	何かこういう
1:28:57	フジイ。

1:28:59	反対を二つつけて、
1:29:01	つけた方が何かシンプルな気はしたんですが、
1:29:05	どっちかに偏らせ
1:29:08	ん。
1:29:14	はい、ヤギニシウラでございます。調べておきますすいません即答できません。はい。
1:29:21	はい、わかりました。
1:29:26	以上です。
1:29:28	はい。
1:29:31	が規制庁側から、
1:29:33	特に、
1:29:34	なければ、神吉の方に行きたいと思えます。
1:29:40	環境は 205 ページ目からですかね共通 12 で、
1:29:48	それで 207 ページ目に、
1:29:52	目次みたいな、書いてありまして、
1:29:56	それで廃棄 01 との関係を整理したいと思っているんですけども、
1:30:02	短気な排気管廃棄 0 ー 2 廃棄 01 で、
1:30:07	廃棄 01 だと換気対象の話が、
1:30:11	補足説明に入ってるんですよ。
1:30:13	ただ共通中に顔見ると、喚起対象の話が出てこないの、
1:30:20	ちょっと喚起対象はこれですっていう、
1:30:23	アウトラインカーアウトラインという概要を入れていただいてそれで廃棄 01 につなげるような形で、
1:30:29	207 ページ目以降のどこか適切な箇所にですね入れていただきたいんですけどいかがですか。
1:30:45	はい。与儀西尾でございます。はい。
1:30:50	そうですね。あれだから、どこのシステム設計
1:30:56	設計でやったよねはい。
1:30:59	その対象の話の関係の 1、
1:31:09	イセ
1:31:10	イトウニイツ。
1:31:12	基準上で、最初をくれたんで、それが鹿庭コウ。
1:31:19	ユキどっか
1:31:20	システム設計は 0.5 との関係性も含めて、対象と今回やってるイシタ野瀬を、連携として説明を紐付けて、
1:31:31	うん。はい。4 目ニシダでございます。はい、承知いたしました。はい。

1:31:35	要するに搬送設備とかと同じような形でまず何が対象かっていうのが、こういう評価ものっていうのは出てくると思いますので、ちょっとそこが差されるような形で整理をお願いしたいと思います。
1:31:50	あとはですね、207 ページこのページの最下段ですね、※1 の前の下段のところ、また書きのところなんですけども、
1:32:00	閉じ込め機能に係る風量の設定の考え方必要な風量についてって書いてあるんですけど、ここでいう閉じ込め機能維持に係るっていうのは、
1:32:09	因子のうちのロックあるニシノ内のシートでっていう理解でいいんですかね。
1:32:19	はい。日本イシダでございます。はい。この括弧書きで書いてる通りでございますし、その次が対象です。はい。
1:32:26	はい。
1:32:27	それで
1:32:31	10 ページ以降とってます。
1:32:34	これか。はい。はい。
1:32:36	そうですね、これ。
1:32:43	上記で言うCとDっていう形でやるイメージ。
1:32:48	前野。
1:32:49	メインはここなんですよっていうのをもう少しわかるように思います。はい。はい。人間ニシダでございます承知いたしました。
1:32:57	はい。
1:32:58	それで、続いて 208 ページ目は、グローボックスの話なので、少し 6 因子っていうところには至ってないのかなと思うんですけど、
1:33:08	前の目次のところは 6 インチっていうのを掲げられてる一方で、ここでは 4 インチになってる理由っていうのが、
1:33:17	もう少し書いていただきたいなと思うんですけどいかがですかね。
1:33:20	例えばグローボックスでは、
1:33:25	何だっけ。
1:33:28	EとFかは、こういう考え方で、適用外なんですよっていうの。
1:33:34	前段で入れてもらえたりしますかね。
1:33:42	ちょっと多分、多分わかって書いてる、カナイあって、はい。蟹江がグローボックスでいいというか、いや、いやだってわかってればそうなんだけど、パンって次にいって、グローボックスに関することですよって言われたら、
1:33:57	さっき残っていなかったっけ。
1:34:00	その前段の話をこのリードでもちょっと補足して書いてある。

1:34:07	でこれがだから、だから 280209 でそれやっぱ六つを 4.2 で分けてますって話なんですね。
1:34:15	いや、いや、だからその辺の関係性はやっぱり、
1:34:21	ぬか。
1:34:22	なんか今細切れになっちゃってる場所。はい。はい。
1:34:26	はい。二本木西尾でございますちょっとつなぎをもうちょっと工夫をして、はい。つなげられるようにします。はい。はい。
1:34:32	その上でFっていうのは、
1:34:34	絶対ないっていう考えでいいですよ、グローボックス。
1:34:38	有害物質の話。はい。ウエイトございません。はい。
1:34:43	わかりました。
1:34:44	それで、
1:34:46	208 ページ目を確認して、その次に 109 ページ目以降ですかね、各因子の説明が、
1:34:54	ポツから、
1:34:56	概要は説明されると思うんですけど、
1:34:59	例えば換気回数の頻度の話とか書いてあったりするんで、
1:35:06	これの根拠ですよ、根拠っていうのは、ここに示していただかなくていいと思うんですけど、今後のどこでどのグループで説明されるのかっていうのは、
1:35:16	この時点で明らかにしといた方がいいと思うので、そういったところでかけたりしますかねとかね、はい、吉田でございます。もう、評価項目の説明でこれをやろうと思って、
1:35:30	その関係性を明確にさせていただこうと思いますはい。はい。
1:35:34	お願いします。これポツに限らずですね、例えば、
1:35:38	続けての、
1:35:40	210 ページ。
1:35:43	の方がいいですと機器は入ってますけど、その発熱量の積み上げの話であったりとか、
1:35:50	あとは入口温度とか、所定の出口温度の設定根拠だったりとか、
1:35:55	についても、どのグループでどの資料でまとめるのか。
1:36:00	米田比嘉なんかで飛ばして、リンクづけをお願いしたいと思います。
1:36:06	はい、宮城西原でございます。承知いたしました。
1:36:10	はい。
1:36:11	続いて 211 ページ目で、ここが、
1:36:15	今回の
1:36:17	メインの話に入ってくる場所だと思うんですけど、

1:36:20	Cポツの 2 パラ目ですかね。
1:36:24	0.25 っていうのは許可の受けたものなんですっていうのを明示いただいて、
1:36:29	そのあとに工程室に対するグローボックスの差圧が-700 から-500 っていうこれって合ってますか。
1:36:38	表現として、
1:36:40	差圧は 20 じゃなかったでしたっけ。
1:36:45	20 はあれか。
1:36:47	コウ提出タテヤノ。
1:36:51	D-令和絶対圧はもう皆さん 700 から-500。
1:36:57	はい。が正しくて差圧はって言われると、多分マイナスとかっていう表記にならないっていうのが、そもそも疑問点だと思ったんですけど。
1:37:06	いえ、脇の話を言ってます。
1:37:12	カナイト、
1:37:13	変わったというと、部屋とBの間は、
1:37:22	アベ入ってきます。
1:37:25	を、次の工程室に対するグローボックスの負圧が、
1:37:30	すごくおかしくない。
1:37:34	今サーチとして純粋に
1:37:37	嵯峨昆だけですっていう説明だけじゃ、
1:37:41	ここはちゃんと言いたいこととか白戸を整理し、
1:37:45	600 ぐらいなってるんで、はい。
1:37:49	で、20 パスカルはこの間 1 点が部屋と、
1:37:53	管理区域と非管理区域の境界、
1:37:56	前の子はい。
1:37:58	はい。日本原燃志田でございます。ちょっと全体、言いたいことと、数字の書き方が合うように、整理をさせて、
1:38:06	はい。
1:38:07	それで、
1:38:08	その上で、※書きで、通常は、
1:38:13	※書きの表現も少し変かなと思うんですけど、通常グローボックスの負圧度っていうのは-400 から-200。
1:38:21	にしてて、それよりも高い。
1:38:23	ところを設計に使っている、-700-500。
1:38:28	この-500700-500 っていうどっからきた数字なんですか。
1:38:50	はい。少々お待ちください。
1:38:52	はい。

1:38:52	今、
1:38:55	いずれにしろ、根拠は書いていただくと思うんですけど、
1:39:03	はい。実際、これもまた気になってるので、根拠も含めて書かさせていただきます。はい。はい。
1:39:11	お願いします。
1:39:14	20 パスカルって結局根拠ってわかったんですけど。
1:39:18	建物と。
1:39:20	基本
1:39:23	Aさんといろいろなところでやってるものを、それを、について、2、PASCALぐらいだろうが、にしようということで設定した値ですね。
1:39:36	コウではいけない、来なきゃいけないというようなレベルのものではないです。
1:39:40	はい。
1:39:45	系統切り換え時とかに、負圧の変動とかあって、その後圧の変動を見ると、20%かかる程度におさまるからかなっていうふうな、
1:39:54	ことだと。
1:39:56	推測はしたんですけど、違いますか。
1:40:00	抜けない閉マツオも高くなるような気がしますけど、系統に検討を入れて、はい。
1:40:09	ただ再処理とかでも、閉じ込めの条文で原則負圧維持っていうところになってて、例外は何だって言われたら、許可では系統切り換えりに逆転することがあるんですみたいな。
1:40:21	子供 2 人であたりしたんで、
1:40:24	わかったらいいんで、調べておいて後で教えていただけるとありがたいです。
1:40:30	はい。基本、通常の状態、どのぐらいの差分を設けておけば、ということ設定しているものだと思いますんで、
1:40:40	おっしゃっていただいたようにどこの施設も原則呉圧を維持するってその時の設定をこうします。
1:40:47	原則から外れる場合は、いつかという時期は、異常時の時、いわゆる系統の切り換えで、例えばどっちかが落ちたときみたいな時は、
1:41:01	さすがにそれでもうぐ間内の場合はグローブボックスは維持でも、ある程度負圧を維持して基準を確保します。ですけど、それ以外のところは成り行きになりますということだと思っておりますので
1:41:13	どこをターゲットに 20%と言ってるかは明確にして、記載をしようと思います。
1:41:19	はい。あります。はい。

1:41:22	続いて、212 ページ目ですかね。
1:41:28	211 かまだ 111 ですね。
1:41:33	211 で、
1:41:40	失礼 212 ですね、212 で、
1:41:43	Dぽつの説明として、開口部の風速維持ってところがあるんですけど、
1:41:51	その中で、式が、
1:41:55	いろいろ出てきて、
1:41:59	1.25 をかける理由とか、
1:42:01	いろいろあると思うんですけど、ちょっと先ほどと同じようにですね、KIRIN になってる部分はちょっと根拠を、つぎ足してお願いしたいんですけどいかがですか。
1:42:14	はい。日本原燃志田でございます説明いたしました。基本的にどういふことをやりたいか、こういう式の形態にしてるかだったり、あとですね係数をつける場合にはその根拠をしっかりといたしますと、
1:42:28	ということで、整理を進めます。はい。
1:42:31	わかりました。続いてちょっと戻ってですね、211 ページ目で、
1:42:37	一番図の中でグローブボックスのところ赤塗りされている部分の風量 Q3 っていうところなんですけど、
1:42:45	ボリューム掛け漏れ率、Kakehi。
1:42:48	最後は百分率かけてるんですけど、
1:42:52	ところを、
1:42:55	維持できてれば負圧にするっていうことは可能だと思うんですよ排気量に。
1:43:00	その上で負圧の設定値であるマイナス 400 から 200 ってどうやって、
1:43:07	設定されるもんなんですかね、ちょっと関係性が。
1:43:11	わからなくて、教えていただきたいんですけど。
1:43:21	モリ率以上を引けば負圧になるっていうところわかるんですけど、そっからねらってる。
1:43:27	フナツ度にするにはどういう操作をして、
1:43:32	これに至るのかっていうところまでが説明になってないような気がするので、
1:43:57	このねらってるように、解約の範囲に維持するための評価式とか仕組みって、
1:44:04	あるんですか。
1:44:07	日本原電石田でございます。どういふ

1:44:12	ご懸念を持たれていて何を私が説明すればいいかがいままだぴんときてないんですけど、結局この外構部の附属ってあまりて2号の漏れ率ですね、これが、
1:44:25	成立するためにはやっぱりここに工程とご要望SARRY差圧がないと駄目だと、その差圧が成立しないと、当然空気の原因もないわけで、
1:44:37	差圧が出なかったら当然空気動かないので、0.25分も何もないと、いうことプラスのサービスを受けることの前提が、このマイナス。
1:44:47	200から400っていう数字だと思ってます。
1:44:51	アライフカワんの。
1:44:53	ご懸念の部分は、私は何を説明したらクリアできます。
1:44:59	-400-200っていうのを、
1:45:03	ある意味評価条件として入れて、
1:45:07	何か差圧を出してるんですか、ちょっと
1:45:10	どこがどうなってるのかっていうのがわからなくてですね。
1:45:17	-400から-200にするための間にするための、
1:45:22	仕組み、
1:45:26	兵庫県
1:45:30	一つは答えになってるかどうかわれですけど、全体これ、どのみち最後くみ上げて、負圧っていうののバランスっていうの取りに行かなきゃいけないときに、
1:45:41	排風機をまわして、系統つないだ状態で配付金まわしてですね、結局それぞれの系統についてダンパーを開度調整しながら、それぞれ必要な差圧が、
1:45:51	学校できてるかって言うのを、ここに差圧計。
1:45:55	多分現場でたっぷりつけていってみるパターンだと思いますけど、測りに行くということで、ここで言ってる負圧目標値にそれぞれちゃんと入ってますよね。飲みに行くというのが、
1:46:07	実際の現場での調整にはなりますけど、
1:46:10	この-200400は一体何何ものたいっていうのは、いわゆる
1:46:15	こういう差圧があるということを前提に、いわゆるその開口部の風速だったり何なりっていう計算をしているというものと認識をしています。
1:46:27	そうすると、
1:46:30	マイナス400から200っていうところが、
1:46:34	植野式、そのQ2の式とかで等あんまり出てこないような気がしていて、ここは二重、二重の差圧をかけてるだけなのかなと思ってんですけど。
1:46:47	結局、何ていうんだろうな。

1:46:52	ちょっと全体の位置付けを、
1:46:56	それぞれのパーツの関係性を一度ちゃんと整理しないと多分、疑問を思われてるところはクリアできない気がして、
1:47:05	それぞれSURCと言ってみたり、最後は風速だと言ってみたり、いろんなやりとりしてるんですけど、結局空気が入り出してることを前提に、どれだけの空気で引っ張れば、
1:47:18	この0.25がクリアできるのかっていうところを、最後、ピンポイントで見てるのが、9-3だと思っててですね。
1:47:27	それが全体の差圧との関係ってどうなのかっていうところを、ちょっと整理をして説明しないといけないかなと思います。
1:47:36	空気のレーリーを前提に、ピンポイントでその数字をクリアできるかどうか、クリアするために必要な風の量というのをカウントしているのが、今の開口不足ところで負圧も結局は、
1:47:48	ある呉閉空間のところに空気の入りがありますと。
1:47:52	結局入ってくる空気をよく言ってくれば、5月になると、どれだけ空気を多く引っ張り入ってくる量に対して多く引っ張れば、どれだけの負圧になりますかみたいなことをただ計算してるだけなので、
1:48:05	そこが、多分全体の何ていうか、やろうとしてることとやってることとの関係性っていうのを、もうちょっとちゃんと説明しないと辛いかなと思います。はい。はい。
1:48:15	最後の後段の部分をどうやってやってるんですかっていうのを知りたいっていう、ずっと聞いてたっただけです。
1:48:22	どれだけ風量日になるのかっていうところは、体制がわからない。
1:48:28	わかりました。はい。はい。
1:48:35	ちょっと、
1:48:37	時間がキタノなので、
1:48:40	この概略のところまでで、
1:48:42	1回切ろうかなと思ってます。
1:48:48	続いてなんですけど、
1:48:51	212ページ目で、
1:48:54	バランスを保つっていう話が書かれてると思うんですけど、
1:49:04	この評価のスライドで示したいことっていうのは結局何なのかっていうのを、
1:49:10	端的に。
1:49:12	知りたいんですけど。
1:49:14	結局は入口と出口の風量が同じになるようなシステム設計をしていて、
1:49:22	その式がこれですってことを言いたいんですかね。

1:49:28	はい。宮城イシダでございますその通りです。はい。
1:49:32	そうすると、
1:49:34	吸気設備からのラインがあったりしますよね。
1:49:41	一番左側から、はい。
1:49:44	9期の具体的なスペックとか、もう前提条件に入ってくるのかなって思ってるんですけど。
1:49:52	いかがですか。
1:49:56	それで結局、
1:49:57	排風機の容量はこうなんですっていうところに繋がってこないのかなと思うんですけど。
1:50:03	はい、弓削李線でございます。ちょっとだけ待ってください。
1:51:45	単純に言うと、崩壊熱量とかの話って崩壊熱の除去に必要な風量を出して、
1:51:51	それに、その除去に必要な排気量ってこれだよねっていうことを説明すると思うんですけど、それと同じで、
1:51:59	救急がこれだけ入ってくるので、
1:52:01	今具体的にこれぐらい。
1:52:03	廃棄すればいいよねって、説明すればいいだけだと思うんですけど、その具体的な数値とかは球菌のスペックとかも出てこないの、
1:52:12	はい。
1:52:13	はい。
1:52:16	はい。おっしゃっていることは
1:52:19	何となく理解をしました。はい。ちょっとですね全体。
1:52:25	新居さんが今言われてる質問を私が最初に進むか、ナカでした質問とあんま変わらないので、はい。そこを解き明かしますはい。はい。はい。
1:52:37	わかりました。じゃあ、まだ、中で確認してるっていうことで、
1:52:42	はい。
1:52:44	はい。西田でございます。
1:52:48	おっしゃっていただいている、私が最初、
1:52:52	このやりとりをしたときに、
1:52:55	普通にある呉箱、
1:52:59	の中にですね、を負圧にしたいといったときに、
1:53:04	崩壊熱行も同じですけど、
1:53:06	入ってくる空気と、その体積だったり、引っ張る空気の量と、全体のバランスでこのぐらいの負圧になりますよみたいな説明をすると、
1:53:17	ということのかなと思いつつながら、多分今の説明は、9月のバランスが取れてることを前提に、あるボックスに対して、

1:53:27	そのこのデイリーがある分のデータをエリートでタケノバランスを見れば、必要な風量が確保できてますっていう説明をしようとしているということで、
1:53:39	ある種、もともと見たいところを全部前提条件に押し込んだっていうところがあるのかなと、そこを多分紐解いていかないと、新居さんの疑問には答えられないような気がしてますのでそこをちょっと整理をさせてください。
1:53:53	はい。
1:53:58	そうですねこの李ポツは、今回あわせて負圧維持に必要というところで、示されるっていうところですので、フカホリは必要になってくると。
1:54:09	いうのはお互い認識してると思うので、
1:54:17	この概要にとどまらずですね、今後も拡充はしていただければと思います。
1:54:26	その中の一つで旧勝見のスペックとかって何だっけっていうところもあると思いましたのでコメントした次第です。
1:54:35	はい。稲毛西尾でございますはい。頭に書いてるの、6 因子それぞれに対する考え方は全体それぞれに対して同じようなボリューム感で書いてますけど
1:54:45	負圧、閉じ込めに関することはこの後 2 本あれで評価の話を書いていますんで、おっしゃっていただいたようにその中でも、先ほどの議論をいただいた部分がちゃんとわかるように整理をして書いていくと。
1:54:59	ということで認識をします。はい。
1:55:03	最後に、213 ページ目まで、とりあえず切ろうかなと思ってんですけど、213 ページ目も、後段で示すっていうところで、例えば蓄電室、
1:55:15	蓄電池室、
1:55:16	に関する設計指針に従う。
1:55:19	っていうところは考えてあるんですけども、
1:55:23	安全係数や反応効率の考え方とか何かっていうところも、実機条件に照らしてですね。
1:55:29	説明できるように、補補足なりのリンクかなんかを使ってですね、
1:55:38	明記いただければと思うんですけど。
1:55:41	いかがですかね。
1:55:45	上の※1 っていうのは、それと同じなんですかね。
1:55:49	そういう意味だと。
1:55:55	はい、ありがとうございます。はい。米 1、火災の中で説明する。
1:56:02	IT。
1:56:04	課題は何インプットやるか、換気設備を設けるが葛西AA、

1:56:11	蓄電池タムラ分は、
1:56:15	いやだから、説明グループさんの中で説明しますということでもいいのか。はい。はい。
1:56:22	コミュニティ含まれますということです。はい、わかりました。
1:56:27	他、規制庁からすみません時間はないですけど、概要の因子のところまででお願いします。はい、そうでした。少しだけ、ちょっと 209 ページ目で、
1:56:41	建築基準法施行令の一般法令に基づいてやっていますってところなんですが、こういうケースで共通中に何か、
1:56:53	建築基準法の何の、
1:56:56	基準に基づいてるのかとかちょっと追えるようにしてもらいたいんですが、ここに限らずなんですがそこら辺いかがですか。
1:57:05	はい。はい。
1:57:11	どうぞおっしゃっていただければ。今までも同じような議論をさせていただいてケアがうまくできてなくて恐縮でございます大枠で、
1:57:20	の対象しかわからないような法令の書き方だと大丈夫か何かがわかりづらい。
1:57:27	ですから、どこに準拠したどこを使って考えたのかっていう対象がわかるように記載をさせていただきました。はい。
1:57:37	名のB
1:57:51	実際
1:57:52	オノアノちゃ。
1:57:55	ブッセンになってるんで、
1:58:04	はい、宮城西田でございます窒素循環設備等からとか来なかった救急あったデータの場合、中身は空気で、
1:58:15	代替という認識をしています。
1:58:18	規制庁は快速ありましたあと、
1:58:22	詳しく聞いて、
1:58:24	実際、
1:58:31	はい、大上。
1:58:33	強化です。あと、213 ページ目のポツに関してもこれも、後のグループで聞くような話ではあるんですが、前々から思ってたんですがこのNって、
1:58:46	何かあんまり与えられてなくて、1 人当たりの専有面積、これどういうふうに、
1:58:50	考慮してるんでしょうか。
1:59:05	はい。イノウエニシダでございます。はい。いつものパターンでいくと、
1:59:11	そこにいる人の人数を、床面積

1:59:16	で割った値が、1人当たりの専有面積ということになると思ってます。そういうことをちゃんとの説明で書くのかなというても、
1:59:27	それでもまたF令和の意味わかんない。
1:59:30	AAFからで求めているのに、かと言えば、
1:59:36	うん。そう。なんかよくわかんなくなってきた。はい。
1:59:39	ちょっと。
1:59:41	はい。全体含めて考えますはい。室長からよろしく申し上げます。とりあえず、
1:59:48	確認したと。
1:59:52	12時間経ちましたので、10分間休憩とろうと思いますがいかがですか。
2:00:02	はい。よろしく申し上げます。
0:00:01	はい、支店長のあれそれでしたら214ページ目からですかね。
0:00:07	関係する補足説明資料もあわせて確認していきたいと思っています。
0:00:13	まず214ページ目で、グローブボックスの実態っていうかを知りたいんですけど。
0:00:20	ここではグローブボックス内で四つの因子というところで、四つの因子の最大のそれぞれ風量の積み上げにイメージっていうのを示しているんですけど下のところで、
0:00:32	実際のグローブボックスの構造とかグローボックス同士の接続とかっていうところを踏まえると、
0:00:38	例えば
0:00:40	bポツで示すような所熱源が存在しないとか、
0:00:45	あとは
0:00:47	グローボックス。
0:00:50	排風機に接続されてないグローボックスっていうのは存在するんですかね。
0:00:56	そもそも接続されてないグローボックスみたいな、二本木ニシナでございまず接続されてないオオキセイノアリマ線はないですよ。はい。
0:01:07	除熱機能の拡大図にあるんですか。
0:01:11	んよね。結局発熱って意味ですかね、機器の発熱っていう意味で。
0:01:15	アイ・ケイ・ケイには発熱はあるものないもの、あります。そういったは柘植通。
0:01:22	考慮しないといけないような機器が入っているものもあれば、そうではないグローボックスもあります。
0:01:28	あそこはそうなんですね。
0:01:31	そういう意味だと、

0:01:34	この積み上げのときに、
0:01:36	例えば、
0:01:38	Q2 のBとかっていうところについては、
0:01:42	どれがどう対象のグローボックスかっていうのは、どこかを見ればわかるものなんですかね。
0:01:49	日本原燃志田でございます。これ最終的な四つの因子、それぞれのグローボックスに対して、どれがジャンパになるかっていうのは説明グループさんのIT01 の中に、
0:02:03	全体のグローボックスのハウジョウで、それぞれのECに必要な風量ってのはどういうもので、担保がどれだということは示そうと思ってました。了解です。廃棄ゼロ。
0:02:15	1 の今申請開示しか示されていないように、だんだんと次出されてくるイメージそれから別の表は次出されるイメージっていうことですね。はい。
0:02:25	はい。そんなイメージで思っていました。わかりました。
0:02:32	続いては、215 ページ目で、
0:02:44	cポツの必要な風量を、
0:02:48	cポツの負圧維持に必要な風量を算出してというのが、文章の中で、2 行目に書いてあるんですけど、
0:02:56	dポツの飲酒の観点ってどう整理されたんですかここで、
0:03:02	工程室建屋については、
0:03:17	二本木西原でございますイマイというのはありますよね。
0:03:21	ABCが文書であって、Dがそもそも稲井 1F、
0:03:28	リンに対してでも'タテヤノ。
0:03:34	これ、
0:03:35	はい、大上のポンプの。
0:03:38	これ、
0:03:42	それは、
0:03:44	Dの話はどこに書いてある。
0:03:50	俺、
0:03:58	今多分言われてるのは 215 ページコウムラの集配法評価情報提出提案取り込み、
0:04:04	必要な表として、Cポツを算出してあるけど、
0:04:08	上にはABCDFってあったんで、Dはどこ行ったんですかっていう。
0:04:15	閉じ込め機能維持手先シート 2 だったら、日経でやろう。
0:04:23	要は結局んで、
0:04:25	アビルですね。

0:04:27	はい、じゃあその説明を書かないとわかんない。だから、開口部みたいなものがない、ないので、AとDは対象になりませんと。
0:04:38	だからCを見とけばいいんですと。
0:04:41	日本イシダでございます人に対して対象にするしないも含めた考え方がそもそも書けてないので、ここに記載を追加します。はい。はい、お願いします。
0:04:53	続いて 216 ページ。
0:04:57	目で計算で確認したいんですけど、
0:05:02	0.25 かけるものって、
0:05:07	グローボックス。
0:05:09	の利用セキの話なんですけど、
0:05:14	グローボックスの代表を選ぶじゃないすかまず 106。
0:05:20	立米ていうのが多分最大で、それが 300 個近くあるってところだと思ってるんですけど、それに 0.25 掛けたやつが、
0:05:28	必要換気風量になってくるという理解でいいんですよね。
0:05:35	はい。乳井ニシダでございます。はい先ほどの式で、悪化、何ページ。
0:05:42	212
0:05:44	4 ページ 1 ページか、211 ページの中さのところに書いてある通りですね。
0:05:51	類掛ける $0.25 \times 0.097\%$ なので、100 分の 1 になりますか。はい。
0:05:59	ここでグローボックスの個数っていうのもかかっているってことでもいいんですよね。
0:06:04	はい。はい。掛ける 301 かな。はい。了解です。
0:06:10	わかりました。そういう意味だと、容積の方に乗じるとかかっていうのを書いといた方がいいのかなと思っているウダ委託だけですが、各グローボックスの容積、
0:06:22	というよりも、
0:06:24	はい。最大のやつで、容積率、それを必要な個数分、立ち合わせているということが、実際やってることがわかるように記載をします。はい。
0:06:36	もう、
0:06:40	あとは少し飛んで 221 ページ目。
0:06:45	0
0:06:47	補足説明資料の喚起 01 の方で、
0:06:52	何か小規模焼却炉の容積の算出パターンっていうのが、
0:06:56	書いてあるんですけど、ちょっと共通、12 の方では、それが読めなくなっているんで、
0:07:03	221 ページ目の※書きか何かの記載をもう少し膨らませてですね。

0:07:11	例えば附属品についても、
0:07:15	任意の直方体で覆って、
0:07:17	算出しますよっていうのも読めるようにしていただきたいと思うんですが、いかがですか。
0:07:22	はい、井上志田でございますはい。承知いたしました。
0:07:29	続いて 223 ページ目で、
0:07:34	評価対象とする扉っていうのがあると思うんですが、
0:07:44	例えば
0:07:46	グローブボックス等を収納しない工程室、現場監視室等っていうのが、
0:07:51	左側の赤塗りであるんですけど、この扉の扱いって、
0:07:57	どうなってるんですかっていうのと、あとはこの工程室、
0:08:03	負圧維持の対象。
0:08:07	なるんですかね、他の工程室と同じような形で、
0:08:14	負圧維持という意味では、建屋の方に、
0:08:17	カテゴライズされるのかそれとも工程室の方にカテゴライズされてるのかっていうのを教えてください。
0:08:44	ふうん。
0:08:51	コウ。
0:08:54	イデという方って、マイストロー課の関係と同じじゃない、飛び上がってこれ。
0:09:00	ミキする。
0:09:03	ホーム協会として見なきゃいけ。
0:09:05	終わっていいの対象で、
0:09:10	現場管理してきた伊賀前だった。
0:09:13	やって嫌でもCさんって言われちゃうと困っちゃう。
0:09:19	日本の井清でございますちょっと、前提確認をして整理します
0:09:27	おっしゃったように負圧維持の対象にはなりませんし、あとはこの間現場監視室と言っているものだったり、
0:09:36	いわゆる
0:09:39	前の枚数と同じようなイケダ同じようにこれも対象にしないと意味がないかな。
0:09:45	うん。
0:09:46	はい。ちょっと整理します。はい。すいません。はい。お願いします。
0:09:52	あとはですね、200、
0:09:54	26 ページ目に飛んで、
0:09:59	扉の面積の話の、

0:10:02	算出っていうのが考えられて、黄砂の話とかも考え、書いてあるんですけど、
0:10:09	結局、
0:10:11	この開口部の部分の扉の話って、
0:10:15	扉もチャンピオンを選んでっていうわけでもないんで、
0:10:19	個別に、
0:10:20	ここの建屋の面積を算出した上で、
0:10:23	必要換気風量を算出するっていうところまで明示していただきたいんですけどいかがですかね。
0:10:32	はい。乳井の市田でございます。はい。承知いたしました。はい。はい。
0:10:40	あとは、228 ページ目で、
0:10:45	ここも言い切りのところをもう少し加えて欲しいなっていうところで、
0:10:49	開口面積に一律 5%を加えて、十分だっていう考え方。
0:10:56	交渉し、
0:10:58	その関係を含めて、これでいいんですっていうのを、補足かなんかで示せるように、
0:11:04	いただきたいんですけどいかがですか。
0:11:11	交渉じゃない復習あれアベんか。
0:11:17	はい、日本イシダでございますはい。なぜそれでいいのかの根拠考え方を示すようにさせていただきます。はい。
0:11:25	さっきの貯層は 20%で、こっちは 5%っていうのは何か
0:11:31	面積と体積で変わってくるのかなって思ったりしたんですけど、何かあるんですか。
0:11:44	はい。統一感がないのは、認識をします。はい。先ほどのタンクの方はもともとタンクなりの設計をするときにそういうふう考えていたものを、
0:11:55	そのまま展開をさせていただいたというところでございます。ここはそれでいいというのはどう考えてやったのかっていうのは、整理をして説明をさせていただく必要があると思ってます。
0:12:07	はい。その上の文章でちなみにここなんですけど複数あるコウサノンがありますっていうところで、
0:12:15	ポンプの開口、
0:12:17	ぶって多分同じ。
0:12:20	サイズじゃないかなと思ってんですけど、複数のサイズっていうのは、
0:12:25	どういうこと一般的にっていうことなんですけど、ここに書いてるのは、

0:12:32	複数施設の開口部ってほぼ同一でございます。ご要望があればレポートはおっしゃっていただいて同じ形状です。それ以外にも開口があるので、その開口も含めも含めて、
0:12:46	説明をしようと思ってます。
0:12:49	実際、そういった開口の話は、02 ですね。そうですね。はい。説明をしているものでございますけどもその辺との関係も含めて、
0:13:03	説明がしっかり通りオギの拡充をさせていただき
0:13:06	はい。
0:13:09	わかりました。
0:13:13	頭閉じ込めはざっと。
0:13:16	取り込みじゃない環境はざっと以上で補足も。
0:13:27	補足は先ほど言った通り廃棄ゼロイチなんかは例えば汚染区分の話とかって出てくるんですけど、
0:13:33	やっぱり汚染区分がC3 までであるってところが、補足の前段のところが示されていなかったりとかちょっと共通 12 とばらつきがあるので、
0:13:44	そこは丁寧に書いていただきたいと思います。
0:13:49	はい、三浦でございます。はい、ありがとうございます。全体のストーリー、それぞれ、
0:13:57	本ぐらい、60 人をさらに根拠も含めてオギな補足で足りないっていうのはないと。はい。はい。はい。整理をします。はい。
0:14:05	どうぞ。ちょっと一番聞きたかったことを思い出したのが廃棄の 01 で、11 ページ目ですかね。
0:14:15	一番最初の話に戻るんですけど、換気対象っていうのがここに書いてあって、
0:14:21	他の申請開示も含めたすべてのグローブボックス等を、オープンポートボックスフードを対象としますって書いてあるんですけど、
0:14:32	まずは、焼結炉とかも、
0:14:36	おんなじなんですよ。
0:14:43	グロドックと同等の絶対なかったね。はい。そうですね。はい。はい。グローブボックスと同等の閉じ込め。
0:14:53	機能を有する設備も対象です。はい。
0:14:57	それはそれでちょっと拡充っていうか、記載を見直していただきたいのと、そのあとのなお書きのところがよくわからなくてですね。
0:15:07	グローボックスにおいては、各ブロックボックスを単位とする連絡シャッター等で区切られる単位を管理対象とするっていう意味がわからなくて、

0:15:17	最初の方の質問に戻って、何か喚起されてない部分があるんじゃないのかなって思ったのはここの部分の記載からなんですけど。
0:15:27	実態ってどうなってるんですかね。
0:15:31	シャッター等で限られた単位って何なんですかっていうところの説明があまりないので、
0:15:41	八尾さんから示してもらわないかん対象とするじゃないんでしょう。
0:15:47	換金としての、多分、管理の仕方、単位がちゃったところがあればそこで区切って見てますっていうことだけでしょ、繋がって、
0:15:57	これ。
0:15:59	冬、
0:16:00	逆に言うと、
0:16:02	オオキノロボックスね、こちらで区切る部分、
0:16:06	あまりアンピックいるのは、コマタかどうか。
0:16:10	うん。
0:16:11	そうすると、シャッターで区切ったら、その両側で、
0:16:15	これから聞くってことね。いただくってことだよな。
0:16:19	だよな。
0:16:21	だから、
0:16:22	環境の繋がりをふやすほうの話をしてるんだけど、減らす方の話に見える。
0:16:29	短期対象にならないようなグローブボックスはいますっていうふうに、
0:16:34	言い方は逆に言うと何て言うんだろ。
0:16:39	繋がってるやつがいたら、ちゃったとかで区切るやつはそれでいい嘛んで、宮里で組合からずっと繋がったやつがいいかな。
0:16:47	これ、もう1個だけ見て、あと知りませんっていうふうに見えるっていうだけだと思う。言われてるので、そうではないよねって、ブロック単位で見ますと、ただ一つ僕例えばシャッターで途中区切られちゃった場合は、
0:17:00	ざっと挙げ区切って両方の所領域に、それぞれ関係で、院長、記者会で見ますっていうことが言いたい。
0:17:07	はい。ちょっと丁寧に記載をしますはい。ちょっとこの部分、図示か何かでわかるようにしていただきたいんですけど、例えばグローブボックスを単位にする場合を付けて、
0:17:20	成年シャッター等で区切られた場合を、その右側につけてこういうことなんですよ、こういう排気ラインで引いてますよっていうのが、資料3の図か何かを使って、
0:17:31	示していただくと、100と。
0:17:35	わかりやすいかなと思うんですけど、いかがですか。

0:17:47	はい、乳井の市田でございます。はい、承知しました。はい。
0:17:51	はい。
0:17:53	わかりました。じゃあ、
0:17:56	とりあえず私から環境わざと以上で、ほか、規制庁側から何かでもお願いします。はい。木曾医長からです。
0:18:05	藤。まず共通 12 側、本文側なんですけど、
0:18:10	214 ページ。
0:18:13	の、グローボックスの説明のところ、さっき荒井からも、
0:18:19	全体見回して、
0:18:21	AからFの人しか説明されてないところとか、ちゃんとやるようになっていう関連してたんですがここFの説明が、
0:18:29	ないって言うところだったんですが、いいわって言うのがなかったはずなんです。
0:18:39	一段落名で、
0:18:44	何か人の立ち入りが無いって言うことが書いてあるんですが、Fの説明がないんですねというところで、そういうところもしっかりケアしていただければと思います。
0:18:58	はい、逃げる所がございます。はい。上に上げてる、今は何ページ、214、214ー
0:19:14	だからさっきのあれだよ、ヤノ國西だって言ってるうちの四つになるってことが、なぜかどうか、どういう姿勢なのかをちゃんと前売りつなげて、
0:19:26	はい。
0:19:27	はい、宮下でございます。承知いたしました。はい。議長。
0:19:33	これらのところがちょっとわからなくて痛いことが、
0:19:39	AとCを比較してるんですがまず何でAとCを比較してるんでしょうか。
0:20:00	なんで業績で風量が決まることは、
0:20:07	予定されてる。
0:20:10	凹凸ですかね。
0:20:12	まずう。
0:20:17	この考え方を変えた。
0:20:21	理由が、一つは、
0:20:25	前回のやりとり
0:20:29	負圧を見るときには、結局グローボックス 301 個あるけども、一番大きいやつで、全体見ますよという。この考え方は全部一律かと言われた時にそうではありませんと。

0:20:42	なぜなら、容積の聞き方がみんな違うんで、その考え方に応じて、のやり方を考えてますということで、その実際その容積が効かないっていうのを、
0:20:55	一つの項目として、こういう因果関係にありますお互いについていうのをここで示したかったということなんですが、
0:21:03	そのコーラブルかグローボックスに対し計算し最大となる流木と関係を設定すると言った後に、いきなりこれが来てもう何のためにこの文章が入っているかが、よくわからんというのが多分今のご指摘かなと思います。
0:21:18	全体流してみた時にちょっと確かにバランスが悪いので、ちょっと書き方を含めて考えます。はい。
0:21:25	何か微小となるっていうところなんかもここは結構若い
0:21:30	たとえば
0:21:32	約 6 回と、0.2。
0:21:35	違い運行基準のものを、
0:21:38	比較していて、それで微小という説明も、
0:21:42	若干弱いかなと思いますのでもう少し、
0:21:46	言い切りじゃなくて、
0:21:50	この約 6 回がどんなもんなのかっていう、
0:21:53	ところですね。
0:21:55	少し、もう少しわかるようにしていただきたいんですが、その辺は可能でしょうか。
0:22:05	乳井西田でございます。承知しました。
0:22:08	はい。容積を単純に 6 倍するっていうのと、単純に言えばそこに%ウノ大田で、
0:22:18	100 分の 1 するというもので、業績の寄与率ってのはどう
0:22:24	人目にどのぐらい違うかっていうのを言いたかっただけなのでアノとはいえいきなり微小だというふうには、今のお話ですと、繋がりが無いという、悪いということだと思います。その認識をもとに、
0:22:36	整理をさらに進めました。はい。はい。規制庁、よろしく申し上げます。
0:22:41	あと最後、これら文章を踏まえて、
0:22:45	最後シートに達してるんですけど、
0:22:49	ここまでの説明だと、どれ、いずれかを最大となる一つを選定してるんですが、
0:22:55	達するんでしょ。
0:23:15	猪野モリイ麻生繋がらないね。
0:23:18	出さないよね。

0:23:21	はい。いや、そう。それが多分できるからやりましたって他はなくなるわけですか。だから前提の考え方はあくまで、それぞれの自然のグローブボックスごとにチャンピオンを決めて、
0:23:33	キャンプの水路を全部足し合わせたら、それが必要な数量ですって言うてるよね。
0:23:40	聞かないからここは達成しますのでちょっと話がおかしいな。はいもうちょっと整理しますはい。
0:23:59	後の話でもう少し
0:24:02	頃とは思いますが、
0:24:04	主要先方、
0:24:06	今回、
0:24:08	ちょっと主要寸法という言葉だけで収めようとしてるんですが、この使用寸法って具体的にどういう考え方で設定されたのかっていうと、
0:24:18	何か考えてあるんでしょうか。
0:24:36	過温じゃ、これか、機器の主要先方で大田直方体っていうところですかね。
0:24:42	はい。これ
0:24:47	是枝から、将来の仕様表で、各数字を持ってきてますっていうふうにしてます。
0:24:53	なんかそういう値ですっていう根拠を書きしかない。
0:24:59	はい。ちょっと第3回の申請対象なのでまだ出てないのであれですけど第3回で仕様表に書こうと思ってる人等を持ってきているということが実際です。
0:25:11	その場合
0:25:13	配管。
0:25:14	今回、キーになって、
0:25:18	配管。
0:25:20	等主要寸法の関係。
0:25:54	ああ。
0:25:56	はい。与儀ニシダでございます。イワイというのは私の理解としては、主要先方でオオクマで仕様表に書いてある何々設備と言っている設備の、
0:26:07	公道上の例えば、コウオクウエキかな、書いていてそこには、
0:26:13	管台とかが続きましてその配管部分は信奉機械1回、はい。
0:26:21	じゃあその寸法は、
0:26:24	あなたたちはどっから入ってきたんですかといえば、これも今出ていない。

0:26:30	構造となり、
0:26:32	うん、将来やろう構造から持ってきましたというのが多分今の答えになるような気もしてますけど、はっきり言って、大枠を取りにっていう話なので、あまり
0:26:43	現状に聖書的にはあまり担保はないですね。
0:26:46	はい、規制庁カセわかりました。
0:26:50	ここはだからもう、将来、第3回申請で、具体的な構造を示しますっていうことが、
0:26:58	はい。あればいいのかなと思いましたのでそういう提案はどっかでされてました。うん。
0:27:02	はい。日本イシダでございます。少なくとも、この評価用の容積というときに、
0:27:11	例えばグローボックスでも、301個とって第3回のものにするということに対して、第3回の対象については、もともと将来申請しようと思っていた。
0:27:24	構造図なりの寸法、仕様荘内銀行から持ってくるで比較をする。
0:27:30	消去なんかの設備も同じ。
0:27:33	というようなことのケアをしようと思います。はい、規制庁、それで十分。
0:27:44	なんです。
0:27:50	228 ページ目のなお書き。
0:27:54	一段落目の、
0:27:57	グローボックスの4閉じ込め機能を有する設備は開口を設けないっていう設計コンセプトがあるんですが、
0:28:04	メンテナンス時はどうするんでしょうか。
0:28:23	はい、宮城ニシウラでございますグローボックスの中に入ってるみたいにメンテナンスを考えて開口がついているわけではない。
0:28:32	実際よくどこの説明もありますけど、そういったものを分解して見に行かなきゃいけないときには、それをさらに覆うグリーンハウスみたいのを立てて、そこに局所排気なりをつけながら、
0:28:46	メンテナンスをしていくということかなと認識をしています。はい。
0:28:53	施設を止めて、
0:28:55	そういう時にちょっと溶融してっていう
0:28:59	はい運転中にやることはないと思ってますので昨日やるとなると、施設のマックリ的に、分解なんかの点検も含めてやるということ等認識をして、
0:29:14	ないんですが、8 ページ目から、
0:29:22	この説明の中で具体的に附属品ここですよ。

0:29:26	モンマは、
0:29:28	これ全部網羅的に書かれていますか今、
0:29:32	その方で、
0:29:43	イノウエニシダでございます。今言うと、まず現状は、マスキングしちゃってますけど9ページのもの、ある種、概略右下8ページの関係と、
0:29:56	はい、規制庁、とりあえず、今こういうふうに挙げられているもので、
0:30:03	アノ
0:30:04	わかるんですが、
0:30:06	例えば10ページ目。
0:30:08	の、
0:30:09	附属品、
0:30:12	ていうのが、土工のことを附属品って呼んでるだろう。
0:30:20	もうここはパーツの名前とか一つもない、ない部分ですけど、どういうものなのかっていうところを、
0:30:29	Wordいかない。
0:30:30	はい、二本木西尾でございます。ちょっと記載を終わりですよ。今、ここで附属品って言ってるのは、
0:30:40	俺新野氏カクウがアノ駅にあると思うんですけどマスキングなのであまり細かい、
0:30:46	オレンジの四角の左右、下側に飛び出ているものを、声を附属品とを呼んでます。
0:30:53	それをどうカバーしようかと言って考えているのが、その下側の、さらにそれを全体を得るような直方体を考えるということの整理になってます。
0:31:05	はい、規制庁下ですけども
0:31:07	わかるわかるんですが、例えばですね、右側そ右側面図ってというのが9ページ、10ページ目の上の方に、
0:31:16	ありまして、
0:31:18	これ、下の方。
0:31:20	評価結果されてるんでしょうか。
0:31:25	その下にも何か線が延びていたり、
0:31:28	何か、
0:31:29	図面との整合がわからない。
0:31:44	を、
0:31:45	これ、
0:32:18	失礼しました一本、多くなった、この右側ですけど、従いのみというところこれグローバルIIフレームを含めた指示の部分。
0:32:28	であると、ということもあると思うので、全体対象等の関係どうなのかが、

0:32:35	補足も含めてわかるよう注釈も含めてわかるように記載をします。はい。はい。施設のその辺の関係がわかるようになっていうところのコメントですので、
0:32:45	はい。よろしくお願ひします。あと9ページ目とか、
0:32:49	11ページ目の、
0:32:51	表の方で、範囲外の要素と範囲内の要素っていうふうを書いてあって、
0:32:58	これは図の方で言うと、
0:33:02	どういうふうに、結構見分ければいいんでしょうか。
0:33:10	色、色、
0:33:12	合っているんでしょうか。これ、説明は違うんですよ。
0:33:15	うん。
0:33:39	ばできること。
0:33:41	でもさ、色違うんだよ。
0:33:43	色、これ。
0:33:45	これ、コウ大会にあるのはさっきのギャップ。
0:33:50	そんでここが、
0:33:54	もう色自体が減ってる、こいつと。
0:33:58	ここはこの黄色に包絡されるんで、
0:34:02	そうですそうです。
0:34:06	説明が35。
0:34:07	名倉委員が許斐青井。
0:34:14	もうちょっとわかりやすく、
0:34:20	広見は、
0:34:22	業務用もちょっと本当にどんどん違うようにして、
0:34:26	あとドコモは言うどう考えて言ってるかわかるよ。
0:34:30	しますか。はい。ちょっと工夫します。はい。
0:34:36	からのグローボックスの話なんです先ほど、
0:34:39	いろいろ拡充していくっていうことでしたが、
0:34:44	これババ部門の連番で打ってあって、そのグローボックスのこの順番っていうのは何かで決まっているんでしょうか。
0:35:03	はい。この順番は。はい。申請対象説明書入れてくる順番です。ただ、その番号が書いてないので、リンケージが取れない。もうちょっと工夫します。はい、わかりました。
0:35:19	土佐委員、22ページ目の、
0:35:23	ところ、これも先ほどから言って、
0:35:26	ているところなんです、
0:35:29	T270から272は、

0:35:33	切り上げの考え方とかあるんですが他のところも含め、
0:35:39	受けた処理の考え方っていうのは、
0:35:41	ちゃんと書いていただきたいなと思いますのでよろしくお願いします。
0:35:48	はい、二本木西平でございます。承知しました。おっしゃっていただいてない今、
0:35:55	270271270 イイダ家アノ米って書いてますけど、全体的に池田処理どうしてるのかっていうのがちゃんとわかるように説明をするということで認識をしました。
0:36:07	規制庁、例えば 13 ページ目で、
0:36:13	第一位を切り上げて表記さ
0:36:17	14 ページ目からの表は、
0:36:20	小数第 1 があたりなかつたりっていうような、
0:36:24	状況で、この代表とポリシーを合わせて書くなり、
0:36:28	何か
0:36:29	だったり、代表。
0:36:31	で計算したことと違うことはしないで欲しいというところだったんですが、ただ、
0:36:38	はい、乳井西田でございます承知いたしました。今おっしゃっていただいてる通り、
0:36:44	あれして、
0:36:54	何かで、
0:36:58	この部屋は、この区画区分ですとか、
0:37:20	いえ、
0:37:23	松沼ババ君まず、適合性の説明書閉じ込めの中に汚染区分の説明は出てきます。図面、配置図で、
0:37:34	ここが審議ですかって言って、
0:37:40	うーん。
0:37:42	でも、考え方があったところ、根井愛智量はどこかにある。
0:37:48	こういう若生知事自身にします。
0:37:56	はい、米田でございます。ちょっと今、添付書類だったら一応II12 の資料 3 だつたりも含めて、シーイーシーさんの設定する考え方は書いてあるんですけど、またそれも含めて、
0:38:11	その考え方にとって配賦上どういうエリア設定になってるかまでは多分図面はないので、そこはちょっとどう、何らかつけるように整理をします。はい。規制庁、よろしくお願いします。
0:38:22	あと先ほどアライともあった 11 ページ目からの、

0:38:27	シャッターの考え方で先ほどの議論でわかった分かったんですが、こちらは、
0:38:32	この番号、一つの番号の中に入っている部分というのは、
0:38:37	シャッターの区切りでまず入ってるんですか。
0:38:43	例えば2番なんかは、このこれらのグローボックスはどういう単位で、同じ番号が作られてるんでしょうか。
0:39:07	わからない。
0:39:09	そうですねこれだから、これ、お母さんズーなんか何らか示して、こういう区切りになってこういう名称なりなんなりのつけ方になってますっていうのを、
0:39:21	実際の形を見て喚起との関係はこうなってますっていうのを何らか示さないとならないって。
0:39:29	やろうか。
0:39:30	はい、わかりました。はい。そこの整理します。はい。
0:39:34	清長です。あれ、サトウ例えば13ページ名、D粉末一時保管装置グローボックス5が番号5の中に入っていて、
0:39:44	こいつにくっついてる注釈が第3回になったりしているんですが、これは正しい情報ですか。
0:40:04	大変失礼いたしました5期ですね。はい。はい。
0:40:08	あとこの番号の5-1とか5-2っていうのは、この
0:40:12	ーで見られたやつが下に続くんですが、これって、
0:40:16	どういう、
0:40:18	ものなんでしょうか。
0:40:22	この5ババ5の中で、
0:40:25	ーで分けて、
0:40:36	短期セト笠野その辺の考え方とかをもう少し、
0:40:41	はい、与儀西田でございます。これらの作業の関係上、差し込んだ関係でこうなってますけど、ちゃんとします。全体的にこの表が、
0:40:56	見方が、まず難しいなっていうところでしたので、そういうケアをしていただいてどういう単位で見られてるかとか、そういったところをわかるようにお願いします。
0:41:07	はい木戸市まで私から以上。
0:41:11	はい。
0:41:13	この換気設備、
0:41:16	について、
0:41:18	規制庁からございますか。
0:41:24	はい。そしたら搬送設備の方に移りたいと思います。

0:41:30	資料としては、共通事業 236 ページ目以降から、
0:41:38	です。
0:41:40	それで、
0:41:42	うん。最初は搬送設備の設定根拠の容量の設定根拠なりというところ で、私から、数点確認が先行して、
0:41:53	あって、共通するコメントなんですけど、
0:41:57	例えば 240 ページ目で、
0:42:02	対象とする核燃料物質等っていうのをここで言ってるんですけど、この 範囲っていうのが、共通 12 条では書いてなくて、一方で、
0:42:12	補足説明資料を見ると書いてあるっていう状況なので、
0:42:15	基本的な考え方についてはしっかり今日共通 12 の方で明示いただいて、 その根拠となるような感、データみたいなのを補足で映すなりという 仕分けをしていただきたいと思いますと思うんですがいかがですか。
0:42:37	2 本目のイシハラでございます。まず、
0:42:42	あれですかね、対象設備のところ、これ
0:42:49	かなりすみません乱暴には整理をしてしまっていて、本来であれば資料 3 をちゃんと直しに行き、それとの関係で、資料 3 で対象としたもの に対して、
0:43:01	こういう評価をするという繋がりで持ってくるべきいけないところを、
0:43:07	ドーンとここに書いているのでその繋がりとか、前提の考え方だったり が共通にうまく表現できてないっていうので今認識をしています。
0:43:15	搬送元の位置に、整理したような考え方をしっかり資料 3 の①で展開を させていただくということで、この資料 4 に繋がるように、整理できれば というのは今思っているところでござい
0:43:34	米の注記 1 っていう書いてあるところが資料 3 とのリンクも図られるという イメージになるんですか。はい。日本原燃伊勢でございますそう思っ てます。逆に言うと個別補足 0、搬送 01 は、
0:43:47	資料 2 資料 3 のいわゆるシステム設計構造設計の中では、やはりリン クがひもづけがされて、実際資料 4 のここに来ると、資料 3 側の資料と のリンケージだけになるのかなというふうには思っています。
0:44:01	はい。
0:44:02	わかりました。リンクを貼るって意味では資料 3 の方の内容がないと意 味がないので、
0:44:08	拡充をお願いしたいと思います。
0:44:11	あと 2 点ほど搬送については、あってですね続いて 241 ページ目で、
0:44:18	ページごとをふやしていただいたと思うんですけど、設備を類型化する っていうところが書いてあってですね。

0:44:25	ただ類型化の視点ですかね、何に着目して振り分けたかっていうところは書いてなくて、石原さんから、
0:44:34	運び方みたいな形で一言だけ言ったと思うんですけど。
0:44:37	運び方なのかそれとも
0:44:40	椅子、運ぶための小構造までちゃんと
0:44:45	答えるものなのかっていうところを、もう少し共通 12 の中でエッセンスと入れてですね。
0:44:51	それで具体的な類型の仕分け作業っていうのが補足で展開されるように、整理をお願いしたいと思いますがいかがでしょうか。
0:44:59	はい。与儀ニシダでございます。はい。承知いたしましたこれも実際今、搬送 01 のところで対象物を示す時にやる種。
0:45:11	どういったものを運んでどういう家へ体というか形状というか、搬送設備があってというところから始まって、
0:45:21	いわゆる構造設計で説明するような搬送 02 にある落下防止対策等とのリンケージを図っていくという流れで最終的にその
0:45:32	分類を、評価の中でも使いますということなので、先ほどと同じで、資料 3、①②との連携を図りながら、そこでの前提の、
0:45:44	分類を評価の中に持ち込んでいるということのつながりを、
0:45:48	しっかりここで書いてあげるのが資料 4 の役割かなということで思ってますので先ほど同じように資料 3 が拡充をしっかりしないと、この辺の紐づけもうまくできないということで認識をしています。はい。はい、わかりました。
0:46:03	最後に、242 ページ目で、
0:46:10	定格荷重と最大荷重の比で代表ですっていうところあるんですけど、
0:46:19	これはどういう意味なのかっていう、これを元に何かを説明するのかっていうのは、
0:46:25	で、
0:46:26	言おうとしてるのがわからなくてですね。
0:46:29	要するに代表設備をここで選んで、
0:46:33	その後何か説明することってあるんですけどつけるところを確認したいんですけど。
0:46:46	はい。与儀ニシダでございます
0:46:50	逆に特にございませんというのが現状でございます結局、累計とか分類せずに、容量を設定してるものを全部並べて、定格荷重が、
0:47:03	最大の運ばなきゃいけないものを上回ってますという整理だという答えを出すっていうのが答え、やることなんですけど、これを全部示すというよりは

0:47:17	厳しいものを選んで、まずはピックアップして書いてみましたというのが、ここでやってることです。そこからかなり何か進展しようとか、発表するとかいうことではないと思っています。はい。
0:47:29	何か、そう想像をめぐらせると、これを
0:47:34	使って耐震評価の方につなげるとかそういうところで使うのかなと思ったんですけど、これはここで代表として示すっていただけなんですね。要するに、
0:47:46	一番厳しかったんだけど、はい、はい、そうですね。わかりました。
0:47:52	搬送については、とりあえずは以上です。
0:47:56	他は規制庁側からよろしくお願いします。はい、規制庁を借りるじゃ発想も幾つか、まず 239 ページ目の一行目。
0:48:07	これサインコメントというか、その前回もちょっと、
0:48:11	聞いたところだったんですが、必要な容量括弧定格荷重として取り扱う最大の重量以上の低角価値を有する設計っていうのは、
0:48:20	もう少し言葉を補足しないと多分、
0:48:22	言いたいことは伝わらないような気がするんですが、
0:48:26	これ、定格荷重。
0:48:30	何か
0:48:33	このままで意味通じますかねっていうところなんです。
0:48:45	はい。乳井インダでございます。はい。前も同じ議論をさせていただいてはい。私が直すとお約束したのに直ってないですか。失礼いたしました。はい。日本語に側として成立してませんので、
0:48:58	確実に修正をさせていただきます
0:49:01	はい。
0:49:13	ものをやるところは、
0:49:23	少し、全体を見回していただき、
0:49:31	はい、乳井エリアでございます。失礼いたしましたはい。今回補足で搬送 02 とかを作る時には落下防止対策以外のものもやっているものがあるので、
0:49:42	すべて落下防止対策等ということで、個別具体の話をするときに、何か防止対策についてはこうですという説明をするということで整理をしましたそれに合わせて、こちらの
0:49:53	今回はもう修正をさせていただきます。はい。
0:49:56	はい。規制庁多田です。次、241 ページ目で、先ほどもあったコウ分類。
0:50:04	なんですけど、資料 3 の方でしっかり書いて、なんでこういう五つが出てくるのかっていうことを明記するということでしたが、今回搬送 02 の方に資料 3 の、

0:50:18	ところの記載が、
0:50:22	搬送 02 の 36 ページ目から書かれているんですが、
0:50:26	ここ例だけではないですよ。
0:50:46	規制庁かですがもしこれだけ、この分類にかかわらないので、もう少し必要じゃないかなと思ったんですが、
0:50:55	ありがとうございます。
0:50:59	ちょっと整理をさらに進めますはい。唯一、整理しながら、個人的にも、もう 1 押し必要だなあと考えていたのは、
0:51:12	おっしゃっていただいている 9 ページアンドウ 02 の 9 ページと、
0:51:17	10 ページの間がですね、
0:51:22	9 ページでやってる。
0:51:25	ある程度、5 分類があんまり 10 ページ以降生きてないので、
0:51:29	その整理がちょっと弱いなとされていたので、紐づけをした上で、
0:51:35	この分類に入らないのがいるのであればオオモトに立ち返って、分類をふやさなきゃいけなかったりということも必要かと思います。はい。はい。
0:51:46	その通り。
0:51:53	本次の、
0:52:03	と共通 12 のほうに戻りまして 242 ページ目で、先ほども少しありました。
0:52:09	災害を分けているこの考え方っていう、
0:52:13	のがどこにも説明がなくてですね、そもそもこれ何で内外分けたんでしょう。
0:52:35	握り者でございますこれもととの
0:52:41	搬送 01 ですかね。だとするともうちょっと紐づけをしないといけないんですけど、特にMOXの場合、搬送、落下防止等々の関係で一番重要なものが閉じ込め機能との関係なので、
0:52:56	そういう意味で、
0:52:59	以前、
0:53:01	閉じ込め違う案いうか、
0:53:05	あれ、近傍とかにオカが言ったの。
0:53:08	はないですね寒さ勧誘だな、安全機能を有する施設の説明の中で、
0:53:16	グローブボックスの近傍には両方とも使うようなものをカナイという、説明もしながらも、結局は閉じ込めとの関係でいくと、グローブボックスの中で扱っているものと、
0:53:29	それ以外のものという仕分けがベースかなということも考えて、仕分けをしたということ、また

0:53:39	重量物、特に重量物を扱うよという線引きにしまうと、グローブボックス等消えていって閉じ込めの関係ってあんまりなくなっちゃってですね頭がゼロイチで整理したものってのが、
0:53:52	あまりレベル 3 まで含めて生きてこないっていうのもあって、こういう整理をさせていただいたということでございます。
0:53:59	わかりました。あとはわかりましたがそういうところが全体の大枠としてこう見えてきてかつ考え方が共通中にしっかり示されてることが必要だと。
0:54:11	思いますので、そういったところを
0:54:14	拡充いただければと思いますのでよろしくお願いします。
0:54:19	はい、新美石田でございます承継いたしました。
0:54:22	規制庁甲斐です。同じページ 242 ページメーデー定格荷重or最大荷重の比が今回追加されて、これは何でこの分子分母の関係に、
0:54:33	なってるのかっていうのをうかがわせてください。はい。与儀ニシダでございます。
0:54:39	私も逆だと思ってます。はい。
0:54:42	はい。はい。センスがないことがわかってます。普通は 100%に未滿何倍と 100%大丈夫っていう部分だと思います。
0:54:53	はい。はい。
0:54:56	三角。はい。
0:54:58	共通 12 月。これ、後は今後その添付、補足にちょっと振りスギタ分を戻すと、特に考え方みたいなところを戻すということと、
0:55:08	資料 3 をしっかり拡充して資料 3 からの繋がりだと思っておりますので、
0:55:13	はい。
0:55:14	はい、日本イシダでございますはい。認識しておりますはい。はい。
0:55:27	5 ページ目の最後の、
0:55:31	フォローです。
0:55:33	2.1. 3 のニイツ。
0:55:38	そっか。
0:55:39	書いてあって、この人はないんですけど、
0:55:43	これって、動きで 7 ページ目の、
0:55:47	図の動きなんですかね。
0:55:51	この図がないっていう。
0:55:59	はい、日本イシタでございます。大小、
0:56:01	あんたたち、

0:56:03	6ページの図もともと3-1にして、7ページを配布-2にしようと思ったけど、2分の1、2分の1にしちゃったから、意義がなくなったんじゃない。
0:56:13	動きやね。はい。
0:56:14	人間ニシダでございますカノウ修正しますはい。はい。
0:56:19	江藤坂。
0:56:20	呈しているっていうことの説明との関係は、基本的にはその凡例で示された。
0:56:28	グローブボックスとかオープンポートボックスとか、あと容器とかをどっか集合体、この辺は、
0:56:34	結局この色で組み、
0:56:37	分けて凡例としてバウンダリっていうことを説明しようとしてるんですよ。
0:56:43	はい、二本木西田でございますはい。その通りでございます。逆に閉じ込め、とじ込みじゃないというコメント。
0:56:51	取り込みのシステム設計で入れたこの図で、もともとバウンダリーからのいわゆる、
0:56:57	これももともとこの閉じ込めでこういう、例えば燃料棒が閉じ込めの境界ですっていうものに対して、どういう落下防止とか機械装置側で見ればいいかなっていう、
0:57:08	ひもづけをやると思ってこの図をもともと作っていたので、そういう点も含めて、この図を再度つけさせていただいてました。
0:57:16	はい。社長から、
0:57:18	スクラップの扱いなんです、スクラップは、
0:57:25	今、
0:57:26	グローブボックス内で全部使われると、いうことで、
0:57:32	燃料棒買いたいが、
0:57:35	これ色ちょっと波打ってますが、グローボックス領域とオープンポートボックス領域があるということなんです。
0:57:46	それに弊社でございますが燃料棒を解体したやつのですね、燃料棒かな、単品のやつで、汚染検査するみたいなやつがですね確かオープンポートボックスでいいかと思ってますという意味で
0:57:59	両方の医療はわかるようにさせていただきます。
0:58:06	うん。
0:58:07	へえ。
0:58:08	等8ページ目。
0:58:10	それから、また、ちょっといろいろ拡充いただいた安全機能、

0:58:16	に対する考え方なんですが、
0:58:18	やっぱり(1)のdポツの崩壊熱除去のところの記載がちょっと気になっ て、
0:58:27	基本的に核燃料物質によって決まるから落下の影響はない。
0:58:34	という説明で落下の方は書いていて、
0:58:37	次の方で、
0:58:40	換気風量落下したら崩壊熱除去できなく形状維持できなくなるから、
0:58:46	落下防止対策をやりますっていうふうに書いてあって、これ。
0:58:50	搬送設備でピットから動かそうとした時に容器が落下したりして、換気風 量に影響を与えるような、
0:58:59	状況はあるんじゃないですかっていうところは、
0:59:02	表現、
0:59:03	できてますか、これ。
0:59:24	入ってますかっていう。
0:59:27	うーん。
0:59:28	はい、与儀西田でございます。ちょっとそういう意味では、言葉が足りて ないという気も
0:59:36	結局、前提が、
0:59:40	何て言えばいいんですよ。一つの物が動いていくということで経路上、 例えばどこかで落ちたとしても、そのPPのものがそこに置かれたとして も、
0:59:51	発電所としても全体のバランスに対して聞くものではなく、影響がないっ てことを前提に書いてはいるんですけど、そういう前提の設計が、
1:00:02	のこの結論だと思うので全体の流れがわかるように記載を、
1:00:08	したいと思います。
1:00:10	はい、規制庁そうですね、全体の流れという意味で、落下によって、換 気風量は、
1:00:19	関係ないっていう説明なんですが、実際のところ搬送領域で、その搬送 する物質の崩壊熱を除去するぐらいの風量が流れてるんですよ。
1:00:42	今おっしゃった通りだろうなと思いますので。はい。日本原燃一緒でござ います。さっきの何行運ぶか言ってですけども、
1:00:54	先ほどの風量のやつのもともとと言っていたBポツですかね。はい。
1:01:02	この中に入れて考えてるっていうのが、もともとの前提です。
1:01:07	はい、規制庁。
1:01:08	なので、ここは、
1:01:11	関係ない。
1:01:13	という。

1:01:15	ポリシーではなくて、まず前提として、ちゃんと換気風量ノモトで、この容器のオカイケダ状況できるんだけど、
1:01:24	そういうのは、換気のほうで説明してまして、トラック、
1:01:32	そんな影響を与えるものじゃないっていうことがまず前提としてタダ換気不良を調整している部分ピットのところなんかでは、
1:01:41	ちゃんと流路があることが前提になるのでそういう流路を、
1:01:45	邪魔するような落下とかはよくないよっていうことが説明されると思っていたので、
1:01:51	今、先ほど全体をっていうふうにおっしゃっていただいたその流れに沿ってまずでしょうか。
1:01:59	はい。日本原燃石田でございます。はい。
1:02:03	おっしゃっていただいている通りだと思います私が最初考えたらもっと乱暴だったので、はい。今の、もともと前提として、換気風量の設定の中で、搬送設備で持ち運ぶ。
1:02:18	発熱量を持ったものとして前提で考えているということ。それが落下等したとしてもその前提に影響を与えるものではないということ。
1:02:29	もともと私もっと乱暴だったんで、そもそもそこで落ちてても排風機壊れるわけじゃないっていう、乱暴なところ考えてましたけど、そうではなくて、前提として考えてる範囲の中で収まりますっていうことに加えて、クラタず、
1:02:42	とはいえ、貯蔵状態を考えたときには、その空気の流れ流路っていうのを、何らか変形によって崩されれば、崩壊熱除去の設計の前提が崩れるということで、落下防止等の対策も含めて考える必要があると。
1:02:58	というような整理にできればと思います。はい。社長課長その認識。
1:03:02	だと思いますのでよろしくお願いします
1:03:04	別に。
1:03:07	2のAの、
1:03:08	閉じ込めのなお書き。
1:03:11	稼働キーのことが書いてあって、
1:03:14	これ、この可動機器って具体的にどんなもの。
1:03:18	該当するんでしょうか。
1:03:23	はい、日本インダでございますペレット1個ずつ移動して野瀬変えるような案みたいですね。わかりました。ちなみにこういう方を切って、搬送の観点では、確かに、
1:03:40	事実閉じ込めリスクを与えないかもしれないんですけど、
1:03:44	ナリタの水産物の回転機器、あと回転機器の回転防止とか、
1:03:49	そういうところではエントリーされ、

1:03:53	出ました。
1:03:59	つよない。
1:04:05	はい、日本イシダでございます内部発生飛散物の発生元として見るか見ないかという時にもともとまず土壤に上げた上で、そういったECになるかならないかというスクリーニングを、
1:04:18	確かダイバーシティさんが出してるので、そのもともとのまずテーブルに載ってるかどうかというのを確認をします。はい。多分載ってるということが前提で私も語ってますけど、そういうことも含めて、抜けてないようについていうこと。
1:04:31	はい。はい、規制庁、わかりました。はい。
1:04:35	あと10ページ目の、
1:04:38	(2)のdポツの崩壊熱助教のちょっと末端機関、
1:04:44	また書きのところ
1:04:47	基本的に、容器の蓋を閉じて搬送するということなんです、二つの容器を用いて搬送するということなんです、
1:04:58	蓋を開けた状態で搬送するかどうかということだったと思うんですが、そういうケースはあるんでしょうか。
1:05:32	はい。日本イシダでございます。まずちょうどの、
1:05:37	に持ってく前にですね、蓋をして通りエリアの方に納めると、実際負担をしてないものってのは、各プロセス機器が入っているところ、例えば、
1:05:51	ミキサーみたいな悪いやつですねそのミキサーに粉末を入れるようなグローボックスのところには、
1:05:58	ふたがない状態で昇降をするような装置乗っけられて、上でフィルターみたいなもので判定してミキサーに出るというような流れで物が動いていきます。当然
1:06:10	そのミキサカイでくるやつをキャッチアップする時もふたがない状態での粉末缶が粉末を受けるといったような形態になってます。ただこれも別に
1:06:21	これもどっかで全体書かなきゃいけないですよ。満タンに入れるというよりはある程度のカワセ割合でしか物が入らないので、
1:06:30	そういったとびきりとかですね舞い上がるとかということの影響がないようなことだと認識をします。はい、規制庁アカシてそういう配慮を少しやっぱり、追記いただいた。
1:06:42	いただきたかったってところでしたので、そこら辺もう少し拡充、
1:06:47	いただいた方がいいかと思えます。
1:06:50	はい、稲毛西田でございます。承知いたしました。
1:06:54	うん、長官です。

1:06:57	12 ページ目からの分析のはなCなのですが、結局、バックアップ
1:07:07	とかそういう考え方はわかったんですが、グローブボックス内の移動について説明がなくて、
1:07:14	グローブボックス内を移動するとは書いてなくて、後の方の図なんかも、
1:07:20	クドウ駿とか何か、どういう動きで、何でどうやって搬送するのかっていうところは、
1:07:26	全体的に抜けてると思うんですが、
1:07:29	実際のところどうやって動かすものなんですか。
1:07:34	二、三種類、多分搬送機はあったと思うんですね。
1:07:40	日本原燃石原でございます大変申し訳ない。
1:07:43	オカが今何ページを言われました。
1:07:45	12 ページ目の 3 ページなのですが、
1:07:50	用いて、
1:07:52	18 ページ目の辺り、はい。はい。
1:07:57	数値が少しあるんですが、これ。
1:08:03	この辺を教えて。
1:08:05	はい、少々お待ちください。
1:08:36	日本インダでございます 18 ページで言って緑の矢印ですね良い、ここが動く範囲、さらに 19 ページでも解説してる、ピンクの丸からBに伸びてるヤノ矢印、これ
1:08:51	自分でモーターを持って実装するような形態の設備になってますその辺ちょっと確かにこの間議論になって、どういうものですか、首藤ですが自動ですかみたいなものも議論があったんでちょっとクドウ元をどう考えてるかっていう。
1:09:07	ことも含めて記載を拡充させていただこうと思いますはい。はい。
1:09:12	前回の説明なんかほとんど手動でほとんど運用というふうに説明しましたね。
1:09:21	だろうなど。
1:09:22	思っていたので、
1:09:25	もう少し、ちゃんと、どうやって搬送するのかっていうことを、
1:09:30	示していただいた上で、
1:09:33	あと、
1:09:35	この例えば 18 ページ目の図で、19 ページ目の図で、上の分析第 1 室の方で、
1:09:43	左側バーの、
1:09:45	各分析装置グローブボックスへの感想のところとか、

1:09:49	これはどういうふうに、高さの段差があるんですがどういうふうに、
1:09:54	持っていくんですか。
1:10:10	はい、上西でございますちょっと内容を確認して、答えられるします。ちょっと待ってください
1:10:50	うん。10日ですさま時間かかるようでしたら、結構時間費やしてますので。はい。わかりましたちょっと理解、ちゃんと示しているようにしますはい。はい。分析、
1:11:08	大丈夫なのかっていう説明のあたり。
1:11:11	から、
1:11:15	全体を通じて何か、
1:11:17	整合性す、一貫性がないというか曖昧なところが多いので、例えば、
1:11:24	10、
1:11:27	16 ページ目の説明でも
1:11:36	超臨界か。
1:11:42	遮へいの観点で
1:11:45	あれ、12 ページ目の説明ですね。
1:11:49	遮へいの観点で、
1:11:51	12 ページ目の紙。
1:11:55	cポツなんかは人による作業を前提に被ばく量の計算を実施しておりとかあって、
1:12:01	先ほどか確認すると、
1:12:06	ちゃんと搬送設備でクドウげもあってみたいなのところもあったので、
1:12:11	そういう、
1:12:13	全体的な整合性をもう少し、
1:12:16	見直してもらおう。
1:12:19	いかがですか。
1:12:20	日本原燃市田でございます。ちょっと、一応まずは言い訳だけさせていただきます。
1:12:27	あれがあとは質問を受けたやつで搬送系のグローブボックスから、
1:12:32	隣の受け払い
1:12:36	文体装置グローブボックスみたいなもの間は、人の作業グループでの受け渡しみたいな人作業になりますのでそういったところの前提を明確にさせていただきます。
1:12:46	いうのと、今言われた、
1:12:50	12 ページからついて分析資料のところ確かに 13 ページ、最後のところについては、分析資料については人による作業前提示と書いてあるので、ここは、例えばですけど 19 ページで言う、

1:13:04	グローブボックスの中で行われる作業を見たときに、
1:13:08	最も遮へいを考えなきゃいけないものが何かと言われると、この
1:13:14	相双力といったものの運びとかですね、置台から前処理をするとか、そういったところが人の作業になるので、そういったメインの作業に対しては、
1:13:25	被ばくとしては、そういう評価を前提に考えてますということをもともと書いてます。ただおっしゃっていただいたように搬送設備として見る見ないっていうところの整理をするのに、
1:13:37	そこにターゲットを絞って書いてしまうと、本当に見なきゃいけないところとずれてくるので、そこはちょっと前提の整理が上手くなかったなというふうには思っています。
1:13:50	あと、
1:13:58	2リットル程度のポリおっけい
1:14:00	ねだって軽量だからとか書いてあるんですが、
1:14:06	だったら、
1:14:08	だったらどのぐらいだったら考慮しなきゃいけないんだみたいな話にもなりますので、
1:14:14	ちょっと微妙なところではあるんですが、
1:14:19	そういう説明ってできるものなんですか。
1:14:28	例えばどんと何キロから今考慮してますよとかそういう考え方ってあるんですか。
1:14:36	はい。乾瀬谷でございます。結局くうおっしゃっていただいたように量による線引っていうのは非常に曖昧イデ基準があるわけでもないの、各ここも、
1:14:50	もともと許可の中でもう人がいるような作業とかいうものだったりっていうのを分析試料のやりとりみたいなものをある種、他の搬送。
1:15:01	携帯とは切り分けて、核燃料物質の移動に対する考慮みたいな話ですね書いていたりというのも含めて、分析資料の扱いを若干差別化しようと思って整理をして、
1:15:15	そこに対しての整理の仕方が、本当に量だけで本説明し切れるのかっていうのは、若干まだ弱いような気もしています。あるし、
1:15:26	その整理を、このまま進めて、本来、やるべきことが見えてくるのかっていうのが、のぜひも含めて整理をさせていただきたいと思う。
1:15:37	はい、規制庁変わりました。
1:15:41	そうですね。はい。
1:15:43	bポツなんかの理解増進も結局複数ユニットのことは書いてなかったりして、

1:15:48	あと臨界についてちょっと聞きたかったのは 19、18 ページ目から 18 ページ目の、
1:15:56	ユニットが、
1:15:58	何かと、全額、
1:15:59	広がってなかったりもして、この辺で、
1:16:02	どういう扱いになってるんでしょうか。
1:16:05	はい、日本エリアでございます黄色い色の発注をですね移動したりしてるうちに、
1:16:12	抜けてしまいまして、はい。線繋がってます。これちょっと的にまだ、まず謝らなきゃいけないとかまだ他にあって、
1:16:21	左側のボーグルボックス群で線が出てるのに何も書いてないとか、そんなのがありますんで全体先ほどご指摘を反映する時に合わせて定義をもう一度します。はい。
1:16:34	はい。社長からして、そこら辺は直していただきたいのとで、
1:16:39	分析、
1:16:41	資料を取り扱うときに、複数ユニットに対する配慮みたいなものって実際はあるんですよ。
1:16:50	はい、ございます。
1:16:53	はい。政調会で全部説明してて分析だけあえて説明していないように今は見えてしまっているんで、そういうところの配慮も、
1:17:04	全体の流れとしてわかるようお願いしたいんですが。
1:17:08	はい、承知いたしました。はい。規制庁加賀です。分析の話はスペックが、
1:17:15	あと 14 ページ名の、
1:17:19	許可からのところの話で、これ前回向きで検討されたのかもしれませんが遮へいの
1:17:27	扱いが、
1:17:29	アンリュウ、
1:17:31	としゃ計上分で値、
1:17:33	説明しますというふうに、
1:17:36	なっていて、
1:17:37	しゃべり条文では搬送設備、
1:17:43	例えば個別設備で説明するっていうふうに、
1:17:46	整理していて、お互い飛ばし合ってる状況になっているんですが、
1:17:51	その辺で、結局どういうふうに整理しようとされたかって、何か検討されました。

1:18:17	はい、日本イシダでございます。一応おっしゃっていただいたように遮へいでの遠隔での操作とかいうのは、
1:18:28	基本的方針上もう安全機能を有する施設の業績方針に振って展開をしています。ここも許可との展開でいくと、
1:18:39	まずは、放射線遮へいという項目で展開してるのもあったので、一旦遮へいに振って、今もともと遮へいから安易に振っているものと抱き合わせて、全体カバーをしていると。
1:18:53	ということで整理をしたということでございますんで、理由はもともと、前第1回時遮へいで、
1:19:01	あまり書いてなくて万ぶりを安全機能を有する施設にして、考え方全体の共通的な大枠の考え方は遮へいにも囲んでるみたいな、
1:19:11	話があったようとも記憶してたので一旦遮へいに来るのがいいかなということでこういう整理にさせていただきました。
1:19:18	はい。
1:19:21	していてで、
1:19:23	遮へい側でその個別設備で遠隔自動操作を説明しますというふうに、
1:19:30	な、
1:19:31	て言って、衛藤。
1:19:34	家で、
1:19:36	遠隔自動操作のその考え方とかを書かれるんですが、
1:19:40	実際の遠隔自動操作の具体的な内容は、
1:19:47	第2項の方で展開しますっていうふうになっていて、一方で搬送設備は代行し、
1:19:55	共通の方に含まれてるので、そこら辺はどういうふうに扱われるのかわかっていうところが気になっていたんですが、
1:20:18	はい。二本木ニシダでございます。今言われているのは、
1:20:28	搬送もう搬送は確か8ポツの設備の要求事項だけ、に入って8. 幾つかにぶら下がっているって。
1:20:39	遮へい案いうも第1条に共通の考え方があって特に案いうの場合は、個別の説明が、それぞれの条文にぶら下がる設備でないものは全体、
1:20:53	左右で受けることになっているので、案いう第2章の個別設備の説明としてそれぞれ、
1:21:02	共通から受けた個別の設備の展開を変えていくということで、今大岡さんが言われているのは私は認識としては、
1:21:12	第2章同士で飛ばしあって、ああいうに最後行き着いたときに、第2章の案の個別の方で受ければ、最後は決着するのかなと思ったんですけど、そうではないんじゃないかということですか。

1:21:24	はい。政調会でその個別の中に、搬送設備
1:21:29	でどうなん。
1:21:30	どうするのかなと思った次第です。
1:21:37	第2章の個別説、
1:21:40	1、個別項目の方に、
1:21:43	搬送設備って入ってくるんですか。1回の搬送は全部第1項で、第1章で、
1:21:51	はい。そうですね。はい。言ったので、
1:21:55	搬送設備自体の、
1:21:57	遠隔操作とか自動操作っていうところを、
1:22:02	が遮へい上の条文要求に対してちゃんと、
1:22:06	成立しているというところをどこで説明するのかなっていうところ。
1:22:10	の観点だったんですね。
1:22:12	わかりました人っていうことはわかった上で、えっと私は思っていたのが、
1:22:19	遮へいとかの共通的な考え方も、と一緒に、搬送設備としての第1章に書いていることは、搬送設備に要求する共通的な方針をうたっている。
1:22:31	実際、遮へいに振ったりしているやつも、結局は共通的な方針を受けて第2章の衛生系施設、何々設備、
1:22:43	野中新居、これは、こういう構成にします。これは、例えば中央監視室ダテ第一技術部からの遠隔で操作をする設備がで構成されますとかっていうところが、
1:22:56	個別設備として展開をされていくということで、第2章と第1章と第2章のつながりができているのかなというのが今までの認識でした。
1:23:07	はい、規制庁、
1:23:13	の中で、
1:23:13	搬送設備って登場しました。
1:23:18	はい、日本イシダでございます
1:23:25	唯一わあ、第2章の頭に出てくる、共通的な設定方針についてはこの第1章の何々を基づくものですよというところに、肥後だけが多分されるだけで、
1:23:38	あれだね。
1:23:39	ケアとあれなんだよ。
1:23:41	この個別の設備の設計の中に、
1:23:44	搬送設備に関するようなキーワードがそもそもあるかって、
1:23:49	そういう、

1:23:50	ないんで、状態監視とか運転操作オダ井清you代決でやりますって言ったら多分、遠隔で言いますと、大変の要件は満たされる。
1:24:00	でも、搬送設備に基づいてやりますっていったものが具体の設備展開された時に読めるかって言われたら、
1:24:13	今回例えば落下防止対策みたいにやりますって言って、
1:24:18	それっていうこういう設備が構成しますにその手続きの名称が入るんだよね。
1:24:24	ただ落下物等対策をこれ皆に講じますみたいな話は、
1:24:29	出てこないんで、
1:24:33	だから言うは根井でも臨界は出るし、閉じ込めでも追加要求はできるね、何らかあれば、
1:24:39	特別な要求があれば、
1:24:42	ちょっとURLキャッチアップの仕方を整理するか。
1:24:48	大分許可で書いたことからあまり膨らましてないので、
1:24:52	第2種、
1:24:59	はい、ちょっと整理をします
1:25:04	とはいえというのもあれですけど、
1:25:08	うん、そうだな。
1:25:13	あまり他の施設を持ち出して駄目ですね、再就業の話をしようと思ったけど、被害が広がりそうですのでやめてください。ちょっと整理します。はい。
1:25:29	の話。
1:25:32	ちょっと説明の例えば
1:25:35	対象外の
1:25:39	部分。
1:25:42	でちょっと、
1:25:44	取り扱い
1:25:46	多いので、
1:25:48	すごく
1:25:50	説明になってないので雑固体って、
1:25:52	具体的にどんなものかっていうところの観点で、
1:25:56	もうちょっと説明いただきたいんですが、わかるようにというところです。
1:26:01	はい。二本木ニシダでございます。はい、承知しました通常雑固体という時に使う表現は他の施設見れば、
1:26:10	人が使う、手袋ですかね、とかウエスとか、そういったものを、雑固体になりますみたいな説明をしているので、そういった、どういったものがそれに含まれるのかがわかるような、

1:26:25	表現を書きます。はい。はい。所長課長はい。
1:26:31	本 25 ページ目。
1:26:34	の劣化ウランのところで、
1:26:38	えーとですね、下の括弧 2 のラッパ方。
1:26:42	防止対策等のところの一行目ば、
1:26:45	必要に応じ落下防止対策を実施するってあるんですが必要に応じて、何か整理されてますか。
1:27:12	はい、日本インダでございますちょっと次回のものの書き方がうまくいってできてなくて、恐縮でございます 22 ページに今回の申請文を書いていますけど同じように、やるべきことはやってると理解を
1:27:26	していますので、必要に応じ云々ではないのかなと思います。はい。はい。ちょっと曖昧な表面があると、何ですかって聞かなきゃいけないので、そういうところもし考えがあるんであればちゃんとしっかり、
1:27:40	明確化しておく必要があるかと思えますんで、
1:27:43	お願いします。
1:27:44	あと 21 ページ目の、
1:27:47	これ収納パレットってなんかも入るものなんですか。
1:28:15	上西家でございます。パレット 1 枚に 4 缶分になります。はい。
1:28:23	この施栓だと、
1:28:26	二上。
1:28:28	見えてて、かつその 4 館って結構な重量。
1:28:32	プランなので、結構な重量物になると思うんですが、
1:28:35	その貯蔵とか搬送状態のときに、何かこう、
1:28:41	工事を実施しているようなものってあるんですか、古事記の。
1:29:00	クロダなんて、B、C、
1:29:03	C、
1:29:05	D1、
1:29:10	ちょっと行動、また確認をして、ここに貯蔵状態でそれなりの重量物が置いてあることに対する設計上のケアが、
1:29:21	何らかされているかどうか、もしされてるんであればここに
1:29:25	絵を出して説明書きをしたいと思います。はい。社長。
1:29:32	24 ページ名で、
1:29:34	前回少し触れた
1:29:38	ポリポリビニールの中にあるウラン粉末を手作業で取り出すっていうところを追加。
1:29:44	思うんですが、
1:29:46	ここって、

1:29:48	粉末を投入した後の、
1:29:51	ところがここはもうグローブボックスになるんですよ。
1:29:58	このブルーの部分。
1:30:18	はい、日本エリアでございますここ別で、老木セントリートよりは、そういう開梱用語ボックスみたいな形で、下のホッパーと繋がっているような、
1:30:31	イメージです。これご要望が何か困難だよ。
1:30:38	みんなグローブといってグローボックスと言わないところがすげえな。
1:30:43	グローブついてるけどこれは機器なんだよね、こういう開口用のボックスだって。
1:30:49	どういうことですか。はい。院長おっしゃったので、
1:30:54	作業で、
1:30:55	ポリビンと思うんですが、
1:30:59	はい。
1:31:00	それってどうやるんですか。はい。海風ハバノ使うんですか。
1:31:07	はさみで切るイメージの図を見たことがあります、
1:31:11	はい、規制庁。
1:31:13	基本的にグローブボックスではない井清をグローブで、
1:31:18	ここで開墾作業っていうかツカモト使うっていうことは、
1:31:22	ですね、ここは負圧は引いてるんです。
1:31:27	当然。はい負圧引いてます。はい。はい、わかりました。ちょっと。
1:31:34	もう少し
1:31:35	このブルーの部分の扱いを、
1:31:38	今おっしゃったようなことで結構ですので、
1:31:41	わかるようにしていただきたいと思うんですが、
1:31:48	ということを確認にして、はい、宮城西浦でございます。はい。承知しました。逆にこれ、オープンポートボックスの開口の関係にもなるので、
1:31:57	閉じ込め 02 との関係で、タテと説明するかも含めて紐付けがあればこっちからそっちに飛ばしてみたいなことも含めて整理させていただきます。はい。
1:32:08	やはり一番気になるところ
1:32:11	そういう
1:32:13	中をお願いします。
1:32:15	搬送、
1:32:17	なんですか。
1:32:19	はい。
1:32:20	の 2 は、
1:32:21	3 ページ目で、

1:32:26	最後のまた書きのところですね。
1:32:34	第3回で新たに
1:32:39	搬送機構みたいな話、落下防止機構とか、そういう機構で今回共通12でまずは説明いただいたと思うんですがそういう機構が増えるようなことってあるんで、
1:33:10	これ日本一でございます。何かあるようにも、とはいえ他の不足等々がちょっと変わってしまうので、全体の資料を、
1:33:21	整理をさせていただきます。少なくとも全体の方針として設計方針を述べる時には、1回全部をテーブルに上げると、それには2回も3回もかかる。
1:33:33	上げた上で、対象になるところを、その改善に応じて説明するとかですね、何か考え方を統一させていただきたいと思いますはい。はい。よろしくお願いします。
1:33:43	あと4、
1:33:45	先ほどからある通りなんです、そこそここちらでは細かく、
1:33:52	帰っていただいているんですが、やはり、
1:33:54	何でこの小分類なのか。
1:33:57	この説明を見ても、ちょっと、
1:34:00	わからないというか、家事機能とかも、
1:34:05	重なっていたり、
1:34:07	あと、移動方向も重なっていたり、明確にこの分類を、何かこう分けた理由って今のところあるんです。
1:34:20	はい。日本原燃相でございます。まずは、
1:34:27	あれですね順番が、クレーンスタックークレーンリフター台車になってますけど、まずは上下方向に動くもの。
1:34:35	水平移動がある細かいのか、水井戸だけなのかみたいなものの移動の、
1:34:42	方向性ですね、それとあとは、設備として
1:34:52	ワイヤーで取り上げてやるようなタイプなのか、いわゆる台車みたいなもので下に可動部があったの駆動部があってそれで持ち上げたり、下がっていきたくと。
1:35:03	というようなことなのかという、
1:35:06	重量物を動かすときの搬送形態というものを考えて、5位、この分類しましたが、
1:35:16	もともとこのクレーンスタックークレーンでの同じような名前が並ぶものを順番に並べているので、その考え方と、この順番がうまく一致してないというのが現状、

1:35:28	なんででしょう繋がりが悪いところかなと思ってますのでもともとこの5分類を考えた考え方によって分類すると順番にこういう順番で物が出てきますよねみたいな流れで、
1:35:41	説明ができればと思ってました。はい。
1:35:46	わかりました。まずはそういう考え方を、
1:35:51	明確にさせていただくんですよね。はい。
1:35:55	7ページ目。
1:36:04	2.2. 1 の(7)。
1:36:11	上の方ですね、2.2. の上のところで、ここストップ等っていうふうに頭がついてて、これストップ以外に何かあるんですか。
1:36:21	丸さんのなの。
1:36:22	話。
1:36:26	ガイドローラーですか、53 ページ目のズー。
1:36:30	燃料棒でいくと、そうですねあり得るのはあるガイドローラーとストップの話だと二つだったらそうじゃなくて、ものを確定の整理をしていきたいと思います。はい。
1:36:45	搬送設備側に飛び
1:36:50	帯が、
1:36:51	貯蔵がついてる。
1:36:53	長南ですね。
1:36:59	え。
1:37:01	うん。
1:37:02	境界に扉がついている。
1:37:04	項番 4、
1:37:06	どうせちょっと、
1:37:08	どこにある。
1:37:12	えっと今の、
1:37:13	扉と言われているのは、どこの場所を言われてますか。はい、53 ページ目を見ていただいて、上の方に扉っていうのがあってそれが貯蔵設備側の、
1:37:26	貯蔵棚側の、
1:37:27	どこを指してるのかとか、何かこれが、
1:37:31	結局どこについてるのかちょっとわかんなくて、おそらく、貯蔵の一番上の、
1:37:36	棚の扉が今入った状態を、
1:37:40	書いてるのかなと思うんですが、
1:37:43	アノはあるのかなっていうところを伺ったんですね。

1:37:48	右上にイセでございますまず 53 ページの絵の真ん中ですね、扉とかいうところをおっしゃっていただいている
1:37:56	搬送設備側でこの扉部分を引っかけて持ち上げて、あの中にも入れるようにすると。
1:38:04	という意味で書いてます。おそらく言われるとすると、この貯蔵マガジンを入れている側、右側ですね、右側の、
1:38:13	ここに、
1:38:14	スライドがあるものがあんじゃない。
1:38:18	54 ページで、
1:38:24	それから 54 ページの上からで、
1:38:28	違うところ、
1:38:32	これだからこれを上げるときでね、これはこっち側に同じような扉が要るのか。
1:38:37	右側はもうこのまま、はい。
1:38:40	それは逆に言ったら、逆に言ったらあれだね。
1:38:45	搬送設備側のラフタテが扉をオビタと言われるようなものを上にフライトさせることによって、貯蔵設備や、
1:38:55	扉を開けにいつていう構図で、
1:38:59	だからこの 54 ページで最初に動いているものが、ちょうど設備について扉等、
1:39:04	の搬送設備側ですみたいな、
1:39:07	イメージでいい。
1:39:10	はい、日本インダでございます。私はそういう認識をしましたがそれでイメージ合いますか。はい。もしそうだとした場合、落下防止対策の、
1:39:21	一つとしてこの扉っていう、
1:39:23	動いているんですか。
1:39:25	日本原燃石田でございますそれはいわゆるあれですね搬送設備がこの扉、53 ページで扉を仕上げる前は右側のものは、下側にいるはずなので、それは閉まっている状態が、
1:39:40	貯蔵マガジンがこの搬送設備から飛び出てこないという、落下防止対策に寄与しているのかっていう意味ですか。はい。そのように整理されていますかっていうところ。
1:39:52	現状を拾いきれてないと思うので整理をさせていただきます。はい。
1:39:59	この中に含まれる
1:40:05	などは
1:40:06	名。
1:40:07	2.2. 4 の(5)。

1:40:13	2.2. 5 のウエダと思うんですね、これー。
1:40:17	サイン強度上問題ないガイドっていう、
1:40:20	表現は、
1:40:22	入っているんですが、
1:40:25	とか。
1:40:26	どういう観点で強度上問題ないっていうことなのかって、こういう表現があると、大体、
1:40:33	聞かれる話だと思うんですが、ここではどうなんでしょう。
1:41:03	逆に言うと強度上問題ないって、この共同評価するんです。
1:41:10	(9)、下、研究、
1:41:18	逆に協働上影響がないように、その行動を設計しますっていうことが言いたい。
1:41:27	しっかりはまった時にその買い取って、
1:41:32	来ても、
1:41:33	うん。
1:41:35	あります。
1:41:37	もうちょっと何か日本語が要るな、これ。
1:41:41	これもともと資料 3 の前で書いてあったこと。
1:41:46	うん。
1:41:48	はい。日本原燃池谷でございます。ちょっとはい。おっしゃってる趣旨は理解をしつつ、じゃあどう、
1:41:56	技術として書くかは、整理をさせていただきます。はい。はい。室長、64 ページ目でご説明があるんですが。はい。今回追加する
1:42:07	ところになってますし、
1:42:10	あと運転時間の合理化のためっていうのは、遠くまで持って行かずに、近くに置くということですね、一時的に起きたっていうことですよ。
1:42:22	はい。あまり、これもう大前提の理由にはならないです。はい。そうですね。はい、そうですね。
1:42:30	はい。その辺の表現を少し超えないように変えていただける
1:42:47	2002 のタダシマPのところが、
1:42:52	ここで稼働設備がいろいろ稼働機器がいろいろ説明されてるんですが、
1:42:57	稼働切って搬送ゼロイチとか搬送 02 の中では、ちゃんところら辺も含め説明されてましたでしょう。
1:43:31	ふうん。
1:43:35	今 4 ページですかね。はい。4 ページ目の 2.2 の 2 段落目、正しいからのところで、

1:43:44	下どうせ稼働機器の話がAからDがあつて、これらは評価とは関係ありませんっていう
1:43:50	評価の対象外にしますってあるんですが、
1:43:53	ここで評価の対象外にするっていう、
1:43:57	ところだと、搬送する市なんかでエントリーをされると。
1:44:01	いうところだと思うんですが、
1:44:02	実際のところはその 01 なんかでこういう
1:44:07	これ日本イシハラです。これがですね先ほど、どういったものが対象でしたというご質問をいただいた、
1:44:20	系列搬送 01 の 9 ページのなお書きで書いてあるものですね、これと、
1:44:26	イコールのことを言ってますが、
1:44:36	以降のものを言ってるようにあんまり見えないですね。はい。ちょっと整理はしますけど。はい言ってることはこの 9 搬送 01 の 9 ページのと同じみにあるなお書きのものです。はい。
1:44:49	これらも、
1:44:51	はい。
1:44:52	はい。実際のこの資料 3 なんかで、この辺の説明って、ちゃんと包絡されてるんですか。
1:45:01	はい。与儀でございます。もともとですね資料 3 の①で、なお書きだけを一生懸命書いたのが前の資料 3 の①です。この前提になる全体の整理も含めて資料 3 の①を拡充しつつ、
1:45:16	だからこれも第 2 回には、こういったペレット単体扱うようなものしかいけませんっていうことで今もともと資料 3 の①にも書いていたところなんです。なので、
1:45:28	全体の整理等、このなお書きのお話との関係ですね、もうちょっと整理をしていかないといけないと思ってます。はい。
1:45:44	はい。
1:45:46	6 ページ目の、
1:45:49	3.1 からの評価のところなんです、
1:45:53	ここに湯
1:45:56	えーっとですね。
1:45:58	誘導とか、
1:46:00	はどっかでコウ。
1:46:02	先ほどの話です。
1:46:05	ここは、共通住民側でしっかり、まず整理していただいたものを、
1:46:13	こちらでも反映していけるっていうところお願いします。
1:46:17	はい。先ほどの、

1:46:21	この変動の書き方がおかしいというのもあるので整理をすると。
1:46:25	融度が最も厳しいものを選んでいる理由は何かということでその融度が、
1:46:31	融度が厳しいと言いながらそれなりに
1:46:35	単純にまず、定格荷重と最大荷重の差で、比で裕度がちっちゃいかどうかというのを見ながら、とはいえそこにもちゃんと裕度は見えますよってという説明をしてるので、
1:46:47	融度というのが掛川さんって何言ってんのかよくわかんないっていう状態にはなっているので、そこは整理をします。はい。はい。その辺は、全体的に整理、
1:46:56	9 ページ目から、その結果もう、
1:46:59	先ほどから同じなんですけど、共通住民側でこう表現したことを、こちらでも表現していただきたくて、
1:47:11	例えばここは、
1:47:14	ですね、グローブボックス内外の区別とか融度とか、あと代表設備とかそういう
1:47:23	あと同じポリシーで記載いただきたいという
1:47:29	はい、宮城石原でございます承知いたしました。
1:47:41	結局類型化する。
1:47:43	何なんですかっていうところを聞きたいんですけど。そうですね。
1:47:47	ちょっと。
1:47:50	書いてないのが 5 分類 2 シマ
1:48:01	はい、与儀西田でございます。
1:48:06	全体的にどういう整理をしていくかということに、見たときに
1:48:13	何て言えばいいんでしょうかね。まず落下防止対策等といって 2-1 の構造設計等を見るときに、どういう視点で見るかということ。
1:48:25	あとは容量という観点で見る時に、どういう視点で見るかということ、整理した時に整理の仕方としては、もともとの対象を選んだときから首尾一貫同じような、
1:48:38	考え方で分類していった方がいいんじゃないのかという前提でまず考えて、誠意を今回しました。
1:48:46	特に搬送 02 で先ほど、この分類が出てくるころの考え方がないというのはご指摘いただいたことでそこを拡充をし、整理をしまして、
1:48:58	実際ですね、搬送 03 の容量の評価までくると。
1:49:04	あまり、五つに分類したことが効いてくると言われると、あまり効いてこないかなあとは思ってます。実際

1:49:15	中の本当のこのクレーン本当に大丈夫という細かい設計をしようと思えば効いてくるような気もしますが、
1:49:22	我々、見なきゃいけない視点からすると、そういった重量のものが適切に運べるような容量定格容量を持った
1:49:33	クレーンですということの確認を、実際の設計設計当初を見ながら確認をしていくということからいくと、この分類があまり容量の評価に効いてこないかなというのが、
1:49:45	現状の結論ではありますけど、もうちょっと分類額と紐づけて、どう整理したかがわかるように、まとめていければと思います。はい。はい、わかりました。
1:49:56	そうですね。何となく類型化してその先に繋がらないっていうものも、今後出てしまうと。
1:50:03	あんまり、
1:50:04	時間の効率っていう、
1:50:07	ところに立ち返るとあんまり意味がなくなってしまうのかなと思ったので、ちょっとその辺については留意して今後作業を進めていただけるとありがたいです。以上です。
1:50:23	他、
1:50:24	一応全体的に今日の
1:50:27	説明は終わりましたけど、
1:50:29	今後の、
1:50:31	振り返りとかってどうしますか。
1:50:36	いいですかね。
1:50:41	はい。一応一つ一つ、ご質問いただいたをさせていただいたコウ中こういうふうに直していきますというのを、ご説明させていただいたと思っているので、
1:50:52	こちらそれを抜け漏れなくキャッチアップして、作業に展開をしようと思います。はい、わかりました。それで、今後なんですけど、
1:51:02	結局、会合、次回会合をやる場合に、
1:51:08	どうなりますかっていうところろをもう1回整理して教えていただきたいなと思ってんですけど、今この場では、こういう感触っていうところは説明いただければと思うんですけど。
1:51:20	あれですね次の進め方部屋とかで、説明できるような形で、準備を多分してると思うんですけど、よろしく願います。
1:51:32	結局、
1:51:34	どこまで進められますか。
1:51:37	はい。

1:51:38	会合のデータとしては、今回は耐震除くってところをほぼやらしていただいたんですけど。はい。はい。
1:51:48	もう、もうドイツウし、理論武装をしないといけないところとは思ってますけども。
1:51:56	少なくとも動いてる様やってる様をお示しをして、公開の場で議論をさせていただくという意味でも、
1:52:08	レベルにはなってきたのかなとは思ってます。評価パターン(1)(2)ですね。はい。はいもう等今いただいたご指摘受けて修正をしています。
1:52:20	1回、
1:52:21	次もヒアリングをセットしてます。進めさせていただければと思います。
1:52:28	結局できてるところ
1:52:30	でないところっていうところをですかね、おすすめご説明いただくっていう形になるんですかね。
1:52:37	はい。日本以上でございます。認識としてはそう思ってます原料こうまとめてきていて、整理ができてるところ、まだここはA評価であったり、視点であったり、根拠であったりという視点で、
1:52:51	不足していて拡充をしないといけないと思っているということも含めて、公の場で広く説明をさせていただいて、議論かなと思ってました。
1:53:05	具体の進め方部屋ん中とかでまた確認したいと。
1:53:09	規制庁が、
1:53:12	はい。特になければ、
1:53:14	録音
1:53:15	停止して、